Panasonic

パーソナルファクス
取扱説明書

品番 **KX-PW601DL** 親機 KX-PW601 ····1台 子機 KX-FKN510···1台

KX-PW601DW 親機 KX-PW601 ····1台 子機 KX-FKN510···2台

KX-PW601DL

Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

このたびは、パーソナルファクスをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

保証書別添付

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

なまえや機能の名称からページを探すときは
「さくいん」が便利です。(☞ 106〜107ページ)

ナンバー・ディスプレイ

モデムダイヤルイン

おたっくすEメール

もっと便利に

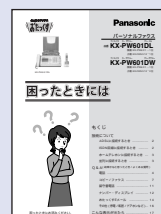
増設子機／ドアホン

記録紙／原稿

必要なとき

困ったときには

● 使いかたでお困りのときは、**添付の「困ったときには」をお読みください。**

（内容）
ADSL／ISDN回線／ホームテレホンに接続するとき／並列に接続するとき
故障かなと思ったとき／よくある質問／こんな表示が出たら

はじめに

本書は、KX-PW601DLとKX-PW601DWの2機種を共用して説明しています。
機種によって使える機能や操作が一部異なります。本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

KX-PW601DL ： 子機1台付き	KX-PW601DW ： 子機2台付き

■ **必ずお読みください** ☞ **12～16ページ**

■ **必要な準備** ☞ **6～ 9ページ**

■ **すぐに使いたいとき** ☞ **10、11ページ**

■ **困ったときは** ☞ **添付の「困ったときには」**

● パソコンを使って、本機の製品情報などをインターネットのホームページ上で見ることができます。

パナソニック　パーソナルファクス・電話機ホームページ　**http://panasonic.jp/fax/**

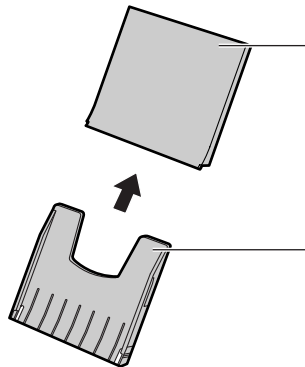
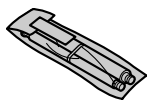
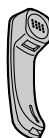
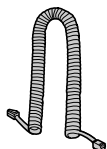
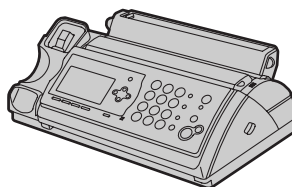
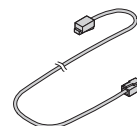
本体と付属品・添付品

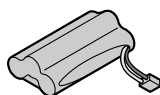
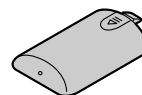
付属品・添付品を確認してください。万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

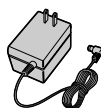
本体と付属品

☐ **お試し用インクフィルム**
(約10 m) **1式**
(☞ 6ページ)
(別売品 ☞ 裏表紙)

☐ **記録紙カバー......1個**
(☞ 7ページ)

☐ **記録紙トレー......1個**
(☞ 7ページ)

☐ **受話器 ...1台**
(☞ 8ページ)

☐ **受話器コード**
...............**1本**
(☞ 8ページ)

☐ **本体 1台**

☐ **電話機コード**
(長さ約1.8 m)..**1本**
(☞ 8ページ)

☐ **コードレス子機**
.................**1台(※2台)**
(別売品 ☞ 裏表紙)

☐ **子機用電池パック**
................**1個(※2個)**
(☞ 9ページ)
(別売品 ☞ 裏表紙)

☐ **子機用電池カバー**
................**1個(※2個)**
(☞ 9ページ)

☐ **子機用充電台**
................**1個(※2個)**
(☞ 9ページ)

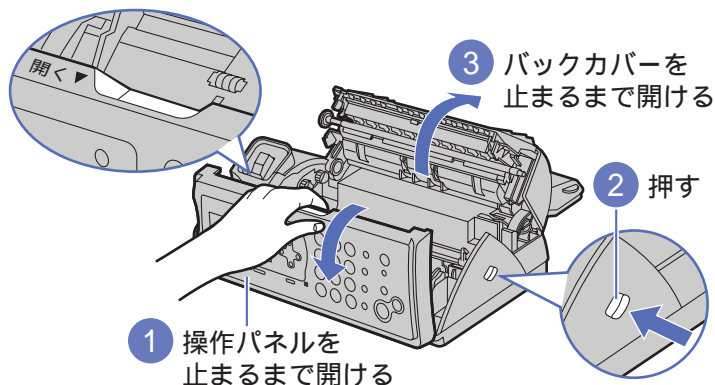
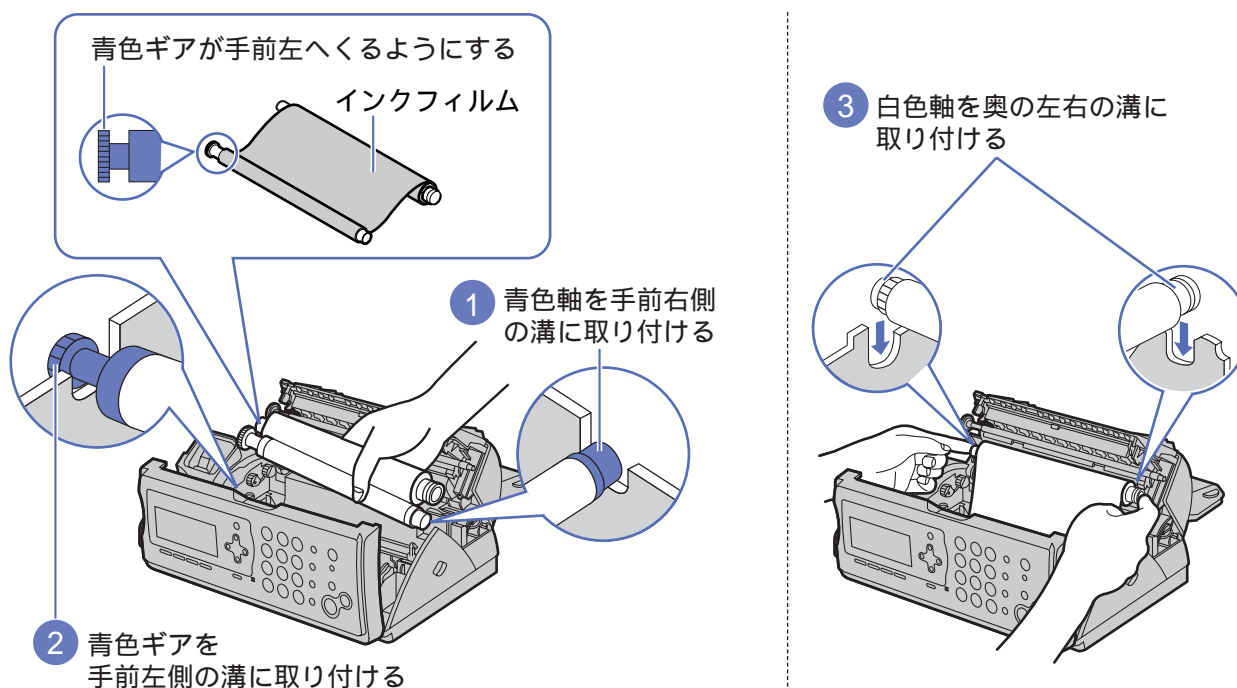
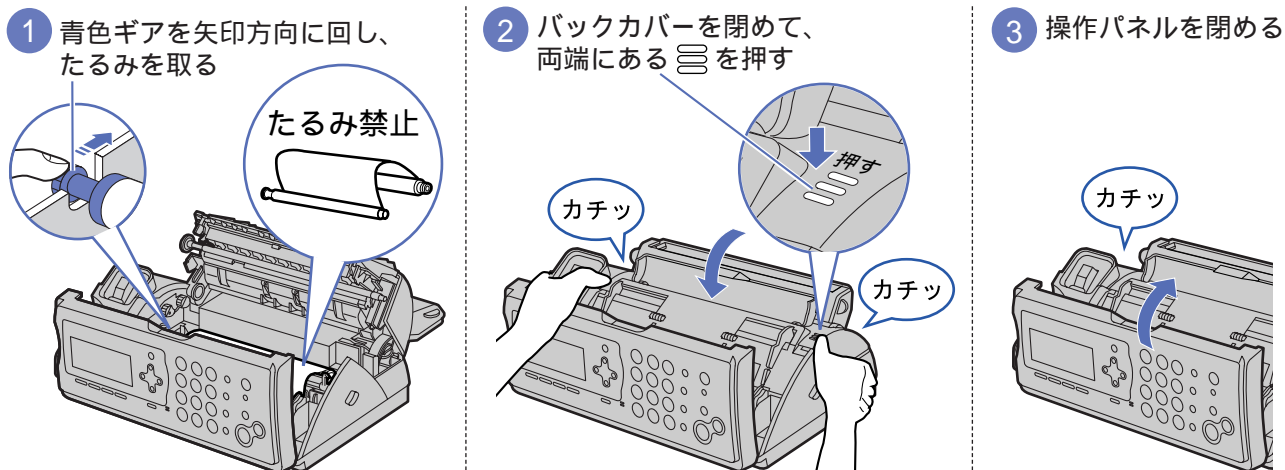
☐ **子機用ACアダプター**
(長さ約1.8 m)
................**1個(※2個)**
(☞ 9ページ)

☐ **充電台壁掛け用木ねじ・ワッシャー**
......**各2個(※2個×2)**
(☞ 9ページ)

※KX-PW601DWの場合の個数です。

添　付　品

取扱説明書(本書)..................1冊
困ったときには.......................1冊
おたっくす情報サービスご利用申込書...1枚
おたっくす情報サービス契約約款......1枚
『ネットで設定』についてのお知らせ ...1枚
お試し用普通紙.......................1式
保証書 1式

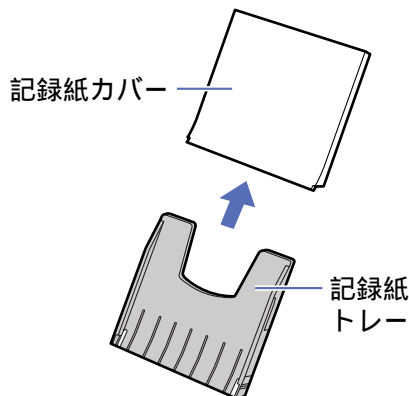
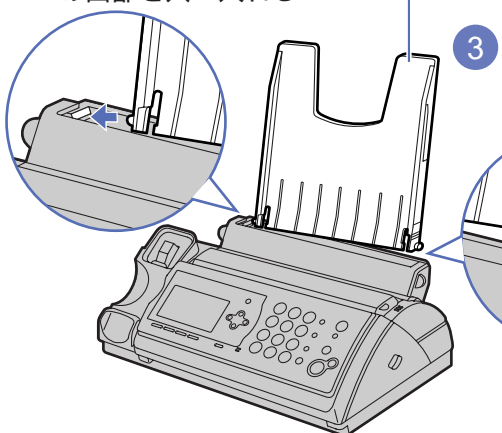
インクフィルムを取り付ける

1 操作パネル・バックカバーを開ける

2 インクフィルムを取り付ける

3 たるみを取り除き、バックカバー・操作パネルを閉める

お知らせ

- 本機に付属のインクフィルムは、お試し用で長さ約10mです。（A4サイズで約30枚プリントできます）
- インクフィルムは、数行のプリントでも記録紙1枚につき約34cm使用されます。
- インクフィルムを交換するとき（☞ 100ページ）

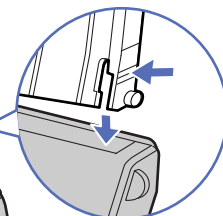
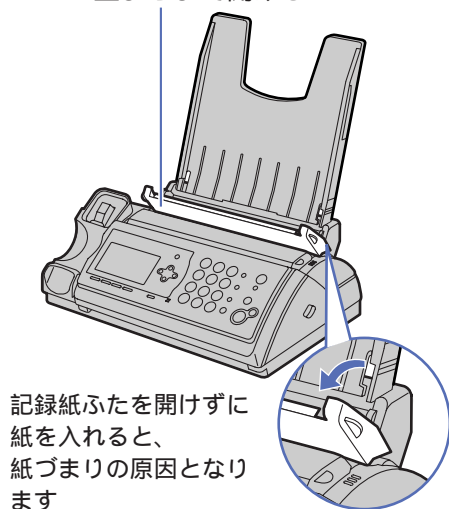
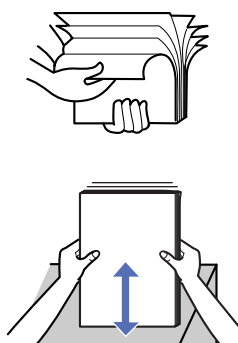
記録紙をセットする

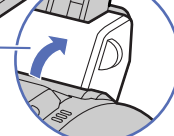
1　記録紙トレーを取り付ける

❶ 記録紙トレーから記録紙カバーを外す

❷ 記録紙トレーの左側の凸部を穴へ入れる

❸ 記録紙トレーの右側を押しながら右側の凸部を穴へ入れる

2　記録紙をセットする

❶ 記録紙ふたを手前に引き、止まるまで開ける

● 記録紙ふたを開けずに紙を入れると、紙づまりの原因となります

❷ 記録紙（A4普通紙）をさばき、まっすぐにそろえる

❸ 記録紙ふたを開けたまま記録紙をセットする（最大30枚まで）

❹ 記録紙ふたを元に戻す

3　記録紙カバーを取り付ける

記録紙がなくなったとき

記録紙カバーを上へスライドして引き抜き、記録紙をセットする

● 記録紙が残っているときは、すべて取り除いてから入れ直してください

お知らせ ● 使用する記録紙（普通紙）について（☞ 16ページ）

親機を接続する

●本機をご使用になるにあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡された日から**「機器使用料」は不要**となります。詳しくは、**局番なしの116番**（通話料金無料）へお問い合わせください。（現在お客様所有の電話機をご使用の場合、NTTへの連絡は不要です）

子機の電池を充電する

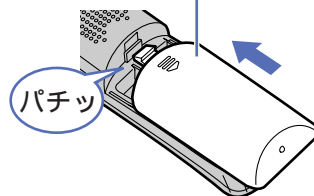
1 ACアダプターを取り付ける

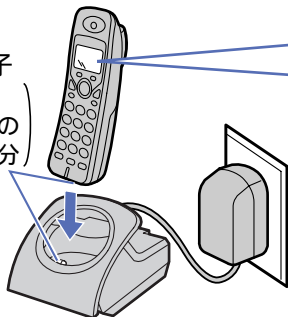
お願い

- 子機充電台と電源コンセントの接続には、付属のACアダプター（極性統一形プラグ）をご使用ください。

2 電池パックを入れる

1 **コネクターを差し込み、電池パックを入れる**

2 **電池カバーを閉める**

- コードを**はさみ込まない**ようにしてください

3 10時間以上充電する（充電する時間が短いと、使える時間が短くなります）

- 充電中
  充 電 中
- 充電完了
  充 電 完 了

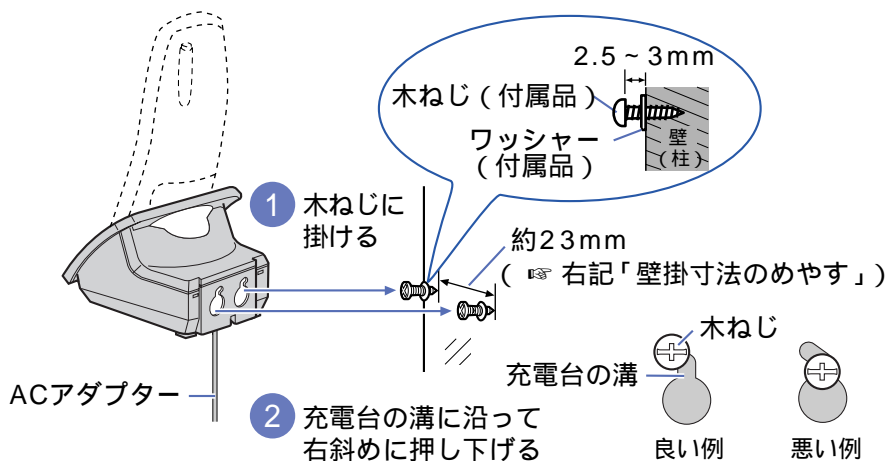
- 電池残量が少ない電池（新品や空になったまま放置した電池など）を使用すると、何も表示されなかったり、▭ だけが表示されることがあります。
  → 数分間、充電台に置いたままにすると、「充電中」が表示されます。

お願い

- 充電端子が汚れたら、充電できません。汚れたときはふいてください。
  （☞ 102ページ「お手入れ」）

お知らせ

- 電池パックを交換するとき
  （☞ 102ページ）
- **1週間以上子機を充電台から外したり、1週間以上ACアダプターを抜くときは、電池パックの性能維持および電池の消耗を防ぐため、電池パックを子機から外してください。**
  （外しかた ☞ 102ページ「子機の電池パックを交換するとき」）
  → 再び電池パックを入れたときは、電池残量が少なく表示されます。充電してお使いください。

充電台を壁（柱）に掛けるとき

壁掛寸法のめやす

約23mm

すぐに使う

初めて子機をお使いになるときは、必ず充電してください。（☞ 9ページ）

（☞ 9ページ）

電話をかける

1. **充電台から子機を取り、外線 を押す**
2. **電話番号をダイヤルする**
3. **終わったら、切 を押し、充電台に子機を戻す**

電話を受ける

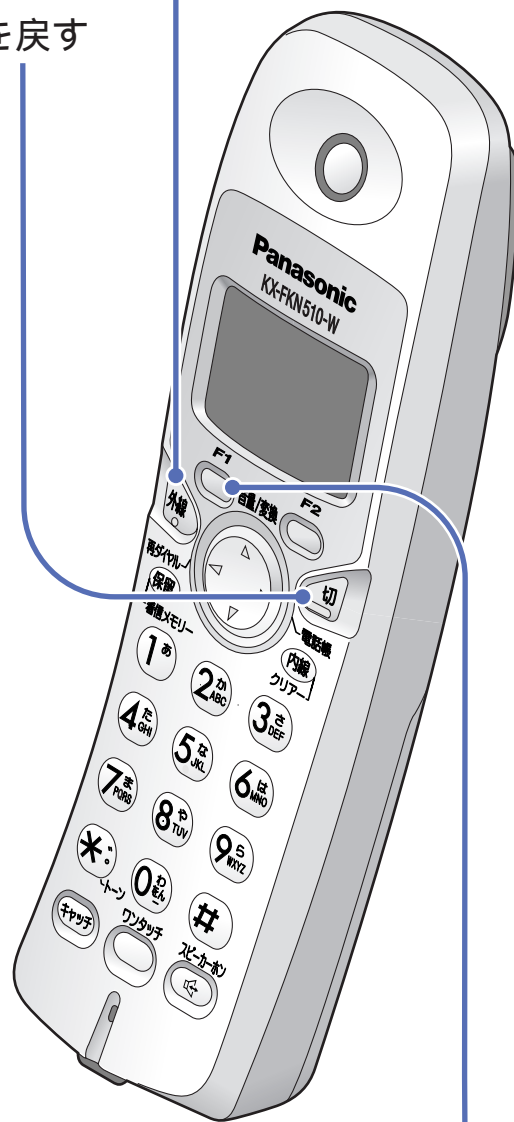
1. **呼出音が鳴ったら、充電台から子機を取る**
   - 充電台に置いていないときは

2. **終わったら、切 を押し、充電台に子機を戻す**

子機でファクスを受ける

1. **呼出音が鳴ったら、充電台から子機を取る**
   - 充電台に置いていないときは

2. **「ピッ」と鳴るまで、ファクス F1 を押す**

➡ 親機でファクスを受信（プリント）する

ファクスを送る

1 原稿ふたを開ける

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

3 原稿を入れる
➡「ピッ」と鳴る

4 送り先のファクス（電話）番号をダイヤルする

5 スタート ファクス を押す

親機でファクスを受ける

1 呼出音が鳴ったら、受話器を取る

2 スタート ファクス を押す

3 受話器を戻す

ポイント

電話を受けたときに、「ポー、ポー」音が聞こえたり、相手の声が聞こえないときは、ファクスが送られてきています。

お知らせ

● ファクスを自動的に受けるには（☞ 48ページ）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険

電池パックについて

■分解・改造しない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

分解禁止

■⊕⊖端子を金属などに接触させない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

禁止

■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

禁止

■指定の電池パック以外は使用しない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

禁止

■付属の電池パックを、この機器以外に使用しない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

禁止

■専用の充電台とACアダプターを使用して指定の電池パックを充電する

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■火の中に捨てたり加熱しない

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

禁止

■液もれしたとき、“液”が目に入ると危険

失明の原因になります。

●こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 警告

■分解・修理・改造しない

火災・感電の原因になります。

分解禁止

●修理は販売店へご相談ください。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは使用しない

火災・感電の原因になります。

禁止

●電源プラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

火災・感電の原因になります。

禁止

●ぬらした場合は、電源プラグまたはACアダプターを抜いて販売店へご相談ください。

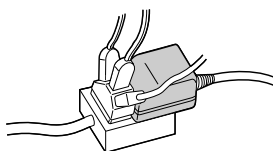
警告

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。）

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■医用電気機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU*などには持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■ぬれた手で、電源プラグやACアダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

■雷が鳴ったら親機や電源プラグ・ACアダプター・電話機コードに触れない

感電の原因になります。

■自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■電源プラグやACアダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

●電源プラグやACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

■心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

注意

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

火災・感電の原因になることがあります。

■水平でない場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により破損・けがの原因になることがあります。

■受話器を無理に引っ張らない

親機の落下により、けがの原因になることがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

設置場所について

こんなところには置かないでください

● **記録紙トレーが壁にあたるところ**
➡ 記録紙が詰まる原因になります。

● **ピアノなどの上**
➡ キズがついたり、木材などの材質によっては本体の熱により、ひびわれや変色の原因になります。

● **じゅうたんなどの上**
➡ 通風孔をふさぎ、本体の発熱やじゅうたんの変色の原因になります。

● **火気や熱器具の近く**
➡ 変形や故障の原因になります。

● **電気製品（テレビ、電子レンジ、パソコンなど）の近く**
➡ 子機が使えなくなる原因になります。
（詳しくは、15ページへ）

● **夏季の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、冷暖房機の近く**
➡ 35℃以上、5℃以下になるところでは、誤動作・変形・故障の原因になります。

● **親機の原稿排出口に光が直接あたるところ**
➡ コピーや送信の画質が悪くなります。

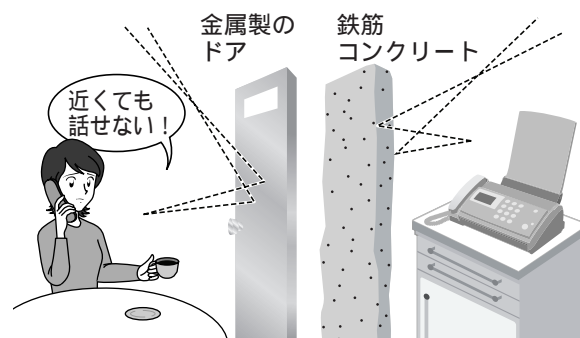
● **寒い場所から急に暖かい場所に移動させたときは、すぐに、使用（接続）しないでください。設置場所の温度になじむまでしばらく放置したあと使用（接続）してください。**
➡ 結露が発生して、故障や誤動作の原因になります。

コードレス子機について

● **見通し距離、約100m以内でお使いください。**
周囲の環境によっては、電波の届く距離が短くなることがあります。

● **親機と子機の間に障害物（金属製のドア、コンクリート壁、アルミはく入りの断熱材など）があると、電波を遮ってしまい、電話の声がとぎれたり、使えないことがあります。**

● 動きながら通話したり、周囲を自動車などが通過すると、場所によっては、電波が弱くなり、電話の声がとぎれたり、使えなくなることがあります。
➡ 場所を移動してください。

● **補聴器をお使いの場合、補聴器の種類によっては子機で通話中に雑音が入ることがあります。**
➡ 聞き取りにくいときは、親機をお使いください。

コードレス子機の傍受について

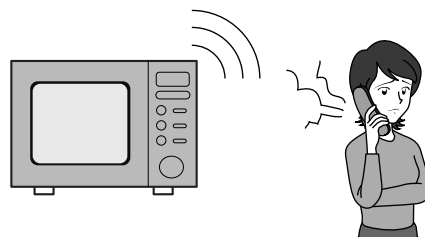
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、子機を使っての通話は、電波を使用している関係上、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。機密を要する重要な通話には、親機を使用されることをお勧めします。

● **傍受（ぼうじゅ）とは、** 無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

コードレス子機について

電波の干渉について

本機のコードレス子機は、2.4 GHz（ギガヘルツ）の周波数帯の電波を利用しています。この周波数帯の電波はいろいろな機器が使用していますので、電波の干渉により、本機や他の機器の動作や性能に悪影響をおよぼすことがあります。本機は電波干渉の影響を受けにくい方式ですが、下記の内容に注意してください。

● **電子レンジなどを使用中に、近くで本機のコードレス子機を使用すると、電話の声がとぎれたり、使えなくなることがあります。**
➡ 親機は電子レンジなどから離して設置（めやす：約3m以上）し、子機も電子レンジなどの近くで使用しないでください。

● **無線LAN機器（ルーター、AV機器、防犯機器など）を使用している環境では、本機のコードレス子機を使用すると、電話の声がとぎれたり、無線LAN機器の動作に大きな影響を与えることがあります。**
➡ 親機や子機を無線LAN機器から、なるべく離して使用してください。また、本機と、無線LAN機器本体の設置位置を上下にする（☞ 右記）と干渉を回避できることがあります。

● **その他、下記の機器でも、2.4 GHzの周波数帯の電波を使用しているものがあります。これらの機器の周辺では、電話の声がとぎれたり、使えなくなることがあります。また、相手の機器の動作に影響を与えることがあります。**
➡ なるべく、設置場所や使用場所を離して使用してください。
- ワイヤレスAV機器（テレビ、ビデオ、パソコンなど）
- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- その他、Bluetooth™ 対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

電波に関するご注意

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

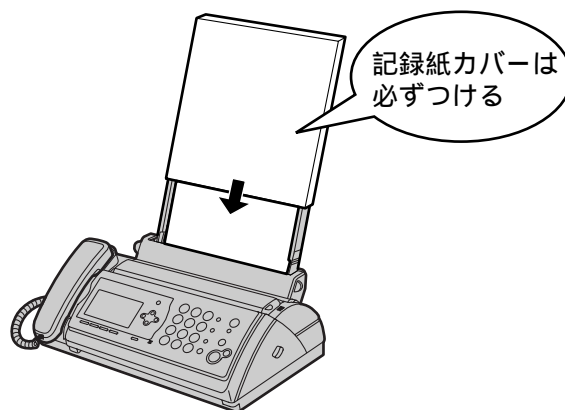
1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（☞ 104ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 104ページ）へお問い合わせください。

正しくお使いいただくためのお願い

使用する記録紙（普通紙）について

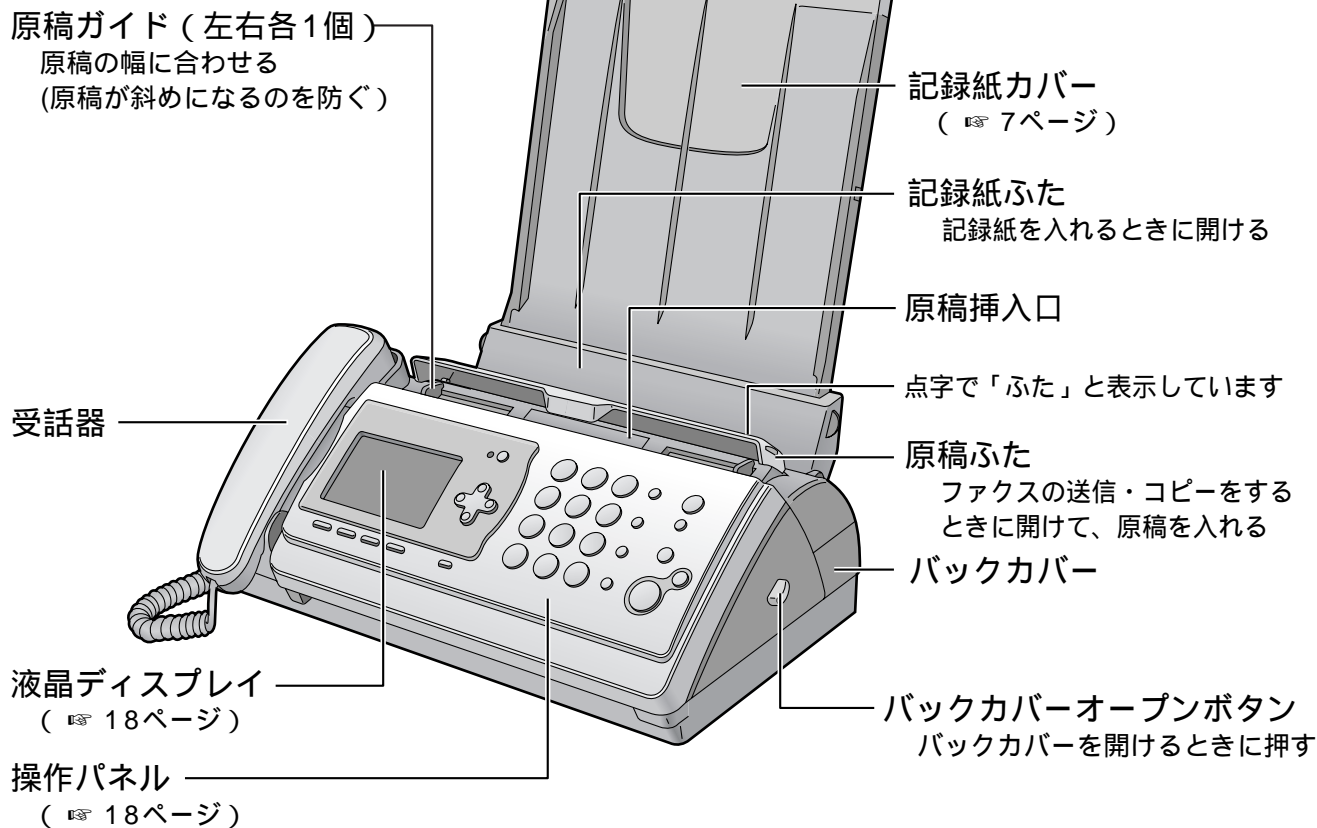
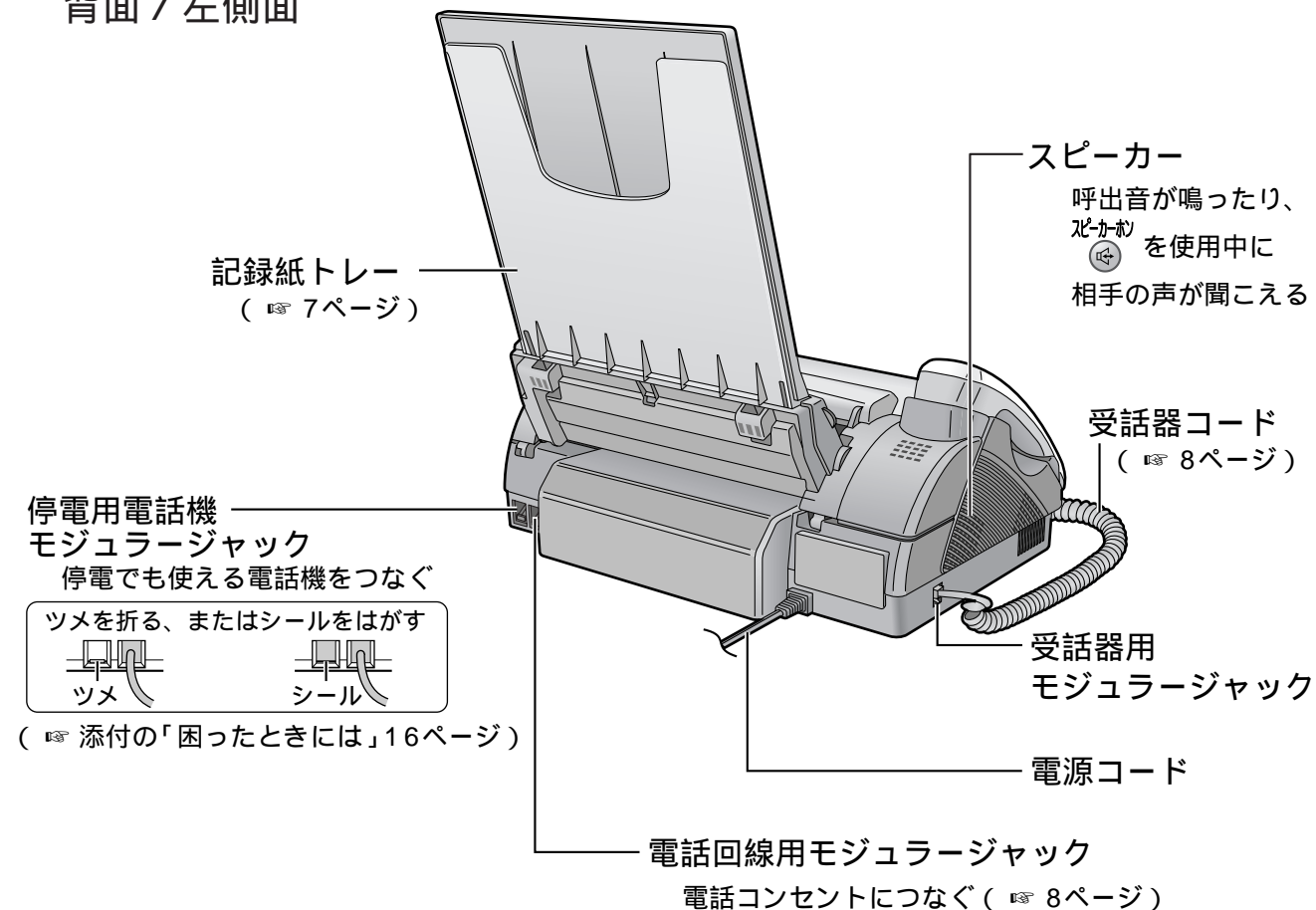
- 記録紙はA4サイズのコピー用紙（64～75 g/m²）をご利用ください。
  （サイズや種類の異なる記録紙は使用できません。正しく印刷されないことや、紙づまりの原因になります）
- 文字かすれなど記録品質への悪影響や、動作上の不具合などを防止するために、別売品（☞ 裏表紙）の記録紙をお勧めします。
- **本機でプリントした記録紙の印字面を下にして、上から文字を書かないでください。**
  ➡ 印字面のインクが下のテーブルや紙に写ります。
- **本機では記録紙の両面にプリントしないでください。**
  ➡ 印刷する部分にインクが付着し、汚れの原因になります。
- **本機でプリントした記録紙を、裏紙として、他のコピー機やプリンターで使わないでください。**
  ➡ 他の機器の故障や紙づまりの原因になります。

紙づまりを防止するために

- 記録紙カバーを外したままにしないでください。
  ➡ ほこりが付き、紙づまりなどの原因になります。
- 下記のような記録紙は使わないでください。
  - 破れているもの
  - 折り目、しわのあるもの
  - 広告などの裏面
  - カールして（丸く反って）いるもの
  - 本機で一度片面プリントしたもの
- プリント中は、記録紙を追加しないでください。
- 厚さの異なる記録紙を同時にセットしないでください。

その他

- **本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。**
- **本機を分解・改造することは法律で禁じられていますので、故障の際は、お買い上げの販売店に修理の依頼をしてください。**
- **この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。**
  取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- **本機のメモリーに受信（記憶）したファクスや登録した内容（電話帳など）で重要なものは、必ずプリントしてください。**
  （メモリー代行受信したファクスのプリント ☞ 47ページ、ファクス転送データのプリント ☞ 79ページ、電話帳のプリント ☞ 41ページ、短縮ダイヤルのプリント ☞ 82ページ、Eメールアドレス帳のプリント ☞ 87ページ）
  ➡ 使用誤りや静電気・電気的ノイズなどの影響を受けたとき、また故障・修理や使用中に電源が切れたときは、メモリーに記憶した内容が変化・消失する場合があります。
  上記要因などにより、本機のメモリーに記憶した内容が変化・消失したために発生した損害については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- **停電すると、親機・子機とも使えません。**

各部のなまえとはたらき（親機）

■ 正面／右側面

■ 背面／左側面

各部のなまえとはたらき（親機）

操作パネル

液晶ディスプレイ

上記はすべての表示を記載しています。
（実際の状態とは異なります）

① メモリー残
メモリー残量のめやす（☞ 下記）

② インク残
別売品（長さ約35 m）のインクフィルムを使うときの残量のめやす（☞ 下記）
- **表示させるには、設定が必要です。**（☞ 85ページ）
- **付属のお試し用インクフィルム（長さ約10m）は、長さが短いため、正しく表示されません。**

③ ◀▲▼▶
使えるマルチファンクションキー（☞ 右記）の位置を表示
（例） 上または下が使える　左が使える

④ 無鳴動
呼出音を鳴らさずにファクスを受信（無鳴動受信）するとき表示（☞ 49ページ）

⑤ かなカナ英数
文字入力時に文字の種類を表示（☞ 32ページ）

⑥ 操作手順に合わせて必要な機能だけを表示

■「メモリー残」「インク残」表示のめやす
いずれの場合も、残量が減ると ▂▄▆ が減っていきます。

残量表示		(表示なし)	▂	▂▄	▂▄▆
メモリー残	留守番電話に録音できる時間	0	6分以下	6~12分	12~18分
メモリー残	ファクスなどを受信できる枚数	0	16枚以下	32枚以下	46枚以下
インク残（印刷できる枚数）		0	14枚以下	70枚以下	100枚以下

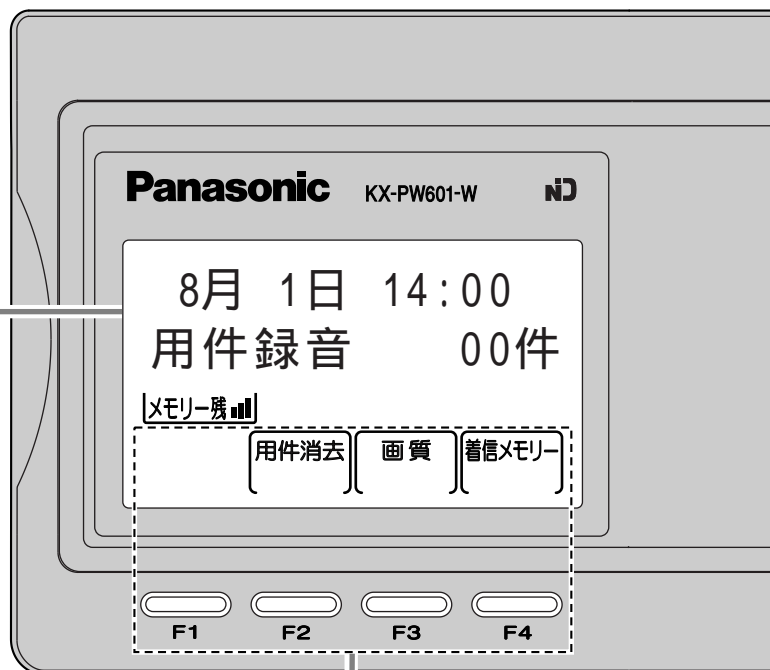
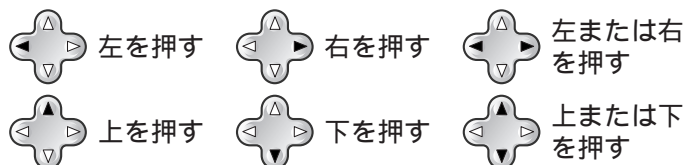
●録音件数が50件になったときもメモリー残量がなくなります。（☞ 103ページ「メモリー容量のめやす」）

マルチファンクションキーの使いかた

●音量を調節する（☞ 22、24、53、88ページ）
●漢字に変換する（☞ 34ページ）
●電話帳を使う（☞ 23、36、45ページ）
●同じ相手にもう一度かける（☞ 23、45ページ）

本書では、キーの押しかたを下記のように表しています

左を押す　右を押す　左または右を押す

上を押す　下を押す　上または下を押す

F1 F2 F3 F4 の使いかた

「クリアー」「用件消去」「画質」「着信メモリー」などを操作するときは、すぐ下にある F1 F2 F3 F4 を押してください。

本書の手順の中では、これらのボタンを下記のように表しています

クリアー F1　用件消去 F2　画質 F3　着信メモリー F4

お知らせ

●「クリアー」「用件消去」「画質」「着信メモリー」などの表示は、操作手順によって変わります。

●おたっくすEメールを使う（☞ 67ページ）
●構内交換機に接続しているときに、ポーズ（空白時間）を入れる（☞ 23、45ページ）

E メールランプ
おたっくすEメールの使用状態を表示（☞ 73ページ）

●短縮ダイヤルを使う（☞ 23、37、45ページ）
●通話中に待ってもらう（保留）（☞ 22、24ページ）
●子機を呼び出す（☞ 26、28、31ページ）
●受話器を置いたままスピーカーホンで通話する（☞ 25ページ）

●留守番電話に設定する（☞ 52ページ）
●通話を録音する（☞ 25ページ）
●用件を聞き直す（☞ 53ページ）
●操作や登録を終わるときや、途中でやめるとき使う
●コピーをする（☞ 42ページ）
●通話中に、自分の声が相手に聞こえないように（ミュート）する（☞ 25ページ）

シャープボタン
●機能登録などに使う

●ファクスの送信・受信を開始する（☞ 44、46ページ）

トーンボタン
●ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（☞ 23ページ）

●スピーカーホンで通話するとき使う（☞ 25ページ）

●機能登録を始めるとき使う（☞ 82ページ）

各部のなまえとはたらき（子機）

■ 背面

■ 子機充電台

液晶ディスプレイ

暗いところでも見えるバックライト付きです。

電池残量や電話番号などを表示する
（時刻は表示されません）

子機1	圏外
	🔋
機能 ◂⇕▸	留守

左記はすべての表示を記載しています。
（実際の状態とは異なります）

- 子機1……待受時に子機の内線番号を表示（充電台に置いているときは表示されません）
- ◂⇕▸……使えるマルチファンクションキーの位置を表示
  （例）上または下が使える　左が使える
- 🔋……電池残量を表示（☞ 下記）
- 圏外……親機からの電波が届かず、通話できないときに表示（親機に近づくと消えます）

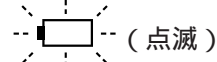
■ 電池残量表示の見かた

約10時間充電したあとの使用時間のめやす

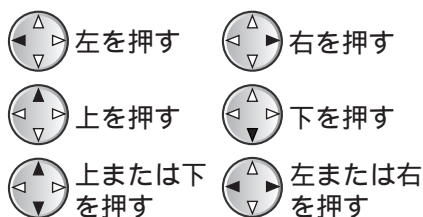
- **連続通話時間…約7時間**※
  （子機を持って続けて通話するとき）
  - **スピーカーホンで通話する場合**
    ➡ 連続通話時間は子機を持って通話するときよりも短くなります。
- **待受時間………約180時間**※
  （充電台に置かずに一度も通話しないとき）
  - 「圏外」と表示されているときは、待受時間が短くなります。

※使用環境温度が20℃のとき

すぐに充電してください。

待受時	通話中
● **下記が表示される（充電しないと使えません）** 充電して ください	● **4秒ごとに「ピピッ」と警告音が鳴る** （点滅）

お知らせ ● **だけが表示されたとき**
➡ 9ページの手順3

操作パネル

液晶ディスプレイ
(☞ 20ページ)
受話口
Panasonic
KX-FKN510-W
子機1
機能 留守
F1 F2
音量/変換
外線
切
再ダイヤル
電話帳
保留
内線
着信メモリー
クリアー
ワンタッチ
スピーカーホン
キャッチ
F1 F2 の使いかた
「機能」「留守」を操作するときは、すぐ下にある F1 F2 を押してください。
本書の手順の中では、これらのボタンを下記のように表しています
機能 F1 留守 F2
お知らせ
●「機能」「留守」の表示は、操作手順によって変わります。
マルチファンクションキーの使いかた
● 音量を調節する
(☞ 22、24、53、88ページ)
● 漢字に変換する（☞ 35ページ）
● 電話帳を使う
(☞ 23、38ページ)
● 同じ相手にもう一度かける
(☞ 23ページ)
本書では、キーの押しかたを下記のように表しています
左を押す
右を押す
上を押す
下を押す
上または下を押す
左または右を押す
● 電話をかける、受ける
(☞ 22、24ページ)
● 通話を終了する
● 操作や登録を終わるときや、途中でやめるとき使う
● 親機、別の子機を呼び出す
(☞ 26、27、29～31ページ)
● 入れまちがえた文字や数字を消す
(☞ 33ページ)
● 通話中に待ってもらう(保留)
(☞ 22、24ページ)
● ナンバー・ディスプレイサービスで着信した相手を見る（☞ 60ページ）
トーンボタン
●ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（☞ 23ページ）
● キャッチホンを受ける
(☞ 22、24ページ)
● ワンタッチダイヤルを使う
(☞ 23、39ページ)
● 子機を置いたままスピーカーホンで通話する
(☞ 25ページ)
送話口
話すとき、手でふさがないでください
シャープボタン

電話をかける

ダイヤルしてかける以外に、再ダイヤル、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、電話帳を使ってもかけられます。

親機

1 受話器を取り、ダイヤルする

2 話す

■**音量を調節するには**

➡ 音量/変換 を押す（☞ 88ページ）

■**通話中に待ってもらうには（保留）**

➡ 保留 を押す

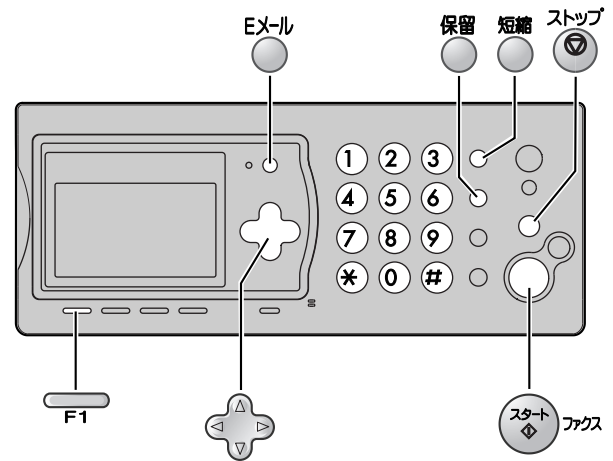
通話に戻るには、もう一度 保留 を押す

■**キャッチホンを受けるには**

➡ キャッチ F1 を押す

■**通話中の機能**（☞ 25ページ）

3 終わったら、受話器を戻す

子機

1 充電台から子機を取り、外線 を押し、ダイヤルする

2 話す

■**音量を調節するには**

➡ 音量/変換 を押す（☞ 88ページ）

■**音質を調節するには（ボイスセレクト）**

➡ を押す（☞ 90ページ）

■**通話中に待ってもらうには（保留）**

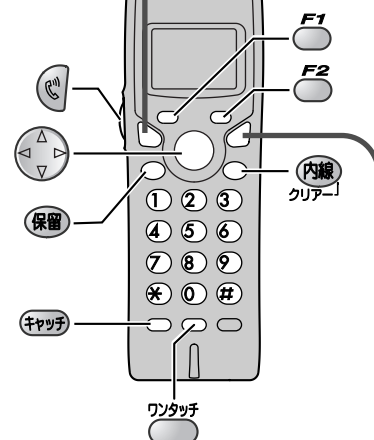
➡ 保留 を押す（4秒ごとに「ピーッ」と鳴る）

通話に戻るには、もう一度 保留 を押す

■**キャッチホンを受けるには**

➡ キャッチ を押す

3 終わったら、切 を押し、充電台に子機を戻す

● 充電台から外したままにもできます

電話を切らずにかけ直す（かんたん再ダイヤル）

コンサートのチケット取りなどで相手につながりにくいときに、電話を切る操作を省いてかけ直せます。

1 相手にダイヤルする

2 相手につながらなかったら、電話を切らずに親機は 再ダイヤル（子機は 再ダイヤル）を押す

➡ 自動的に電話を切ってかけ直す

● **相手につながらないとき** ➡ 手順2を繰り返す

同じ相手にもう一度かける（再ダイヤル）

以前にかけた電話番号を、新しい順に10件まで記憶しています。

（親機）

1 再ダイヤル を押す

2 を押して相手を選ぶ

3 受話器を取る

（子機）

1 再ダイヤル を押す

2 を押して相手を選ぶ

3 **を押す**

● **記憶している相手の電話番号は消去できます。**

➡ 手順2で相手を選び、親機は クリアー F1 ＊ ストップ

（子機は 内線 クリアー はい F1 切）と押す。

短縮ダイヤルでかける（親機のみ）

登録のしかた（☞ 37ページ）

1 短縮 を押す

2 短縮番号（①〜⑨）を押す

3 受話器を取る

ワンタッチダイヤルでかける（子機のみ）

登録のしかた（☞ 39ページ）

1 ワンタッチ を押す

➡ ダイヤルを開始する

● 呼出音や相手の声は受話口から聞こえる

2 相手が出たら、話す

● 先に 外線 を押し、ワンタッチ を押してかけることもできます。

電話帳でかける

登録のしかた（☞ 36、38ページ）

（親機）

1 電話帳 を押す

● **グループ別に探すとき**

➡ 続けて # を押し、グループ番号（①〜⑨）を押す

2 を押して相手を選ぶ

● 名前の頭文字を入力して で選ぶこともできます

3 受話器を取る

（子機）

1 **を押す**

● **グループ別に探すとき**

➡ 続けて # を押し、グループ番号（①〜⑨）を押す

2 を押して相手を選ぶ

● 名前の頭文字を入力して で選ぶこともできます

3 外線 を押す

お知らせ

● **構内交換機に接続しているとき**

➡ 外線発信番号のあとに親機は Eメール（子機は ポーズ F2）**（ポーズ）**を押し、相手の電話番号をダイヤルしてください。

● **ナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」（☞ 59ページ）をつけてかけるとき**

➡「184」または「186」のあとに親機は Eメール（子機は ポーズ F2）**（ポーズ）**を押し、相手の電話番号をダイヤルしてください。

● **ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき（トーンボタン）**

➡ ダイヤルしたあとに親機は ＊ トーン（子機は ＊ トーン）を押してください。

● **キャッチホンでファクスが入ったとき**

➡ ファクスを受けるには、親機は スタート ファクス を押し、受話器を戻す。（子機は「ピッ」と鳴るまで ファクス F1 を押す）

ただし、受信が終わった時点で1人目との通話は切れます。

➡ ファクスを受けずに1人目との通話に戻るには、もう一度、親機は キャッチ F1（子機は キャッチ）を押す。

電話 電話をかける

電話を受ける

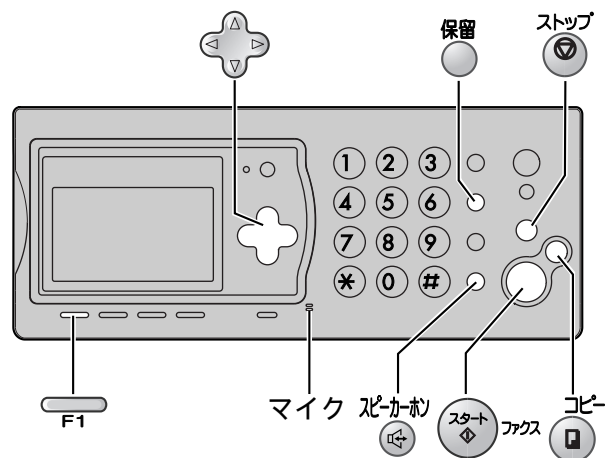
親機

1 受話器を取る

2 話す

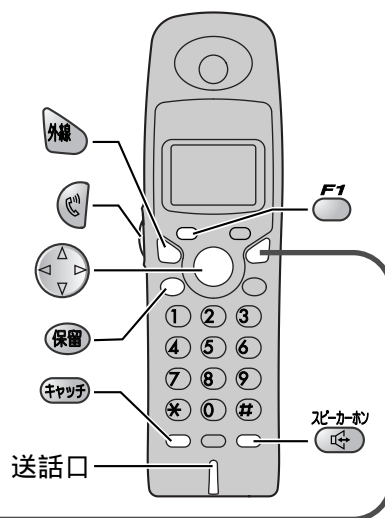
■音量を調節するには
➡ 音量/変換 を押す（☞ 88ページ）
■通話中に待ってもらうには（保留）
➡ 保留 を押す
通話に戻るには、もう一度 保留 を押す
■キャッチホンを受けるには
➡ キャッチ F1 を押す
■通話中の機能（☞ 25ページ）

3 終わったら、受話器を戻す

子機

1 充電台から子機を取る
● 充電台に置いていないときは、 外線 を押す

2 話す

■音量を調節するには
➡ 音量/変換 を押す（☞ 88ページ）
■音質を調節するには（ボイスセレクト）
➡ を押す（☞ 90ページ）
■通話中に待ってもらうには（保留）
➡ 保留 を押す（4秒ごとに「ピーッ」と鳴る）
通話に戻るには、もう一度 保留 を押す
■キャッチホンを受けるには ➡ キャッチ を押す

3 終わったら、
切 を押し、充電台に子機を戻す
● 充電台から外したままにもできます

お知らせ

● 電話を受けたときに、「ポー、ポー」音が聞こえたり、相手の声が聞こえないときは、ファクスが送られてきています。親機は スタート ファクス を押し、受話器を戻して受信してください。（子機は「ピッ」と鳴るまで ファクス F1 を押す）
● **キャッチホンでファクスが入ったとき**
➡ ファクスを受けるには、親機は スタート ファクス を押し、受話器を戻す。（子機は「ピッ」と鳴るまで ファクス F1 を押す）
ただし、受信が終わった時点で1人目との通話は切れます。
➡ ファクスを受けずに１人目との通話に戻るには、もう一度、親機は キャッチ F1 （子機は キャッチ）を押す。
● 親機がプリント中は、子機で電話を受けることができません。
● 子機は充電台から取るだけで電話を受けられます。（☞ **89ページ「オフフック応答」**）
● 切 、 以外のどのキーを押しても電話を受けられます。
（☞ **89ページ「エニーキーアンサー」**）

通話中の機能

スピーカーホンを使う

受話器や子機を置いたまま相手と話すことができます。相手の声はスピーカーから聞こえます。
話すときは、親機はマイク（子機は送話口）に向かって話します。

■スピーカーホンにするには

➡ 親機は スピーカーホン （子機は スピーカーホン ）を押す

やめるには、親機は受話器を取る
（子機はもう一度 スピーカーホン を押す）

自分の声が相手に聞こえないようにする（ミュート）（親機のみ）

■ミュートにするには

➡ 通話中に コピー を押す

やめるには、もう一度 コピー を押す

お知らせ

- スピーカーホン使用中に相手の声が聞き取りにくいときは、コピー **（ミュート）**を押してください。（親機のみ）

通話時間表示について

通話時間表示は、めやすであり、実際の通話時間とは異なる場合があります。通話料金は、相手が電話に出てからかかります。

（親機）

```
09876543・・
通 話 時 間      0'18
```

（子機）

```
時 間  0:00:18
  09876543・・
```

通話時間（めやす）

通話を録音する

親機で通話中の内容を、最大約18分まで録音できます。用件録音・自作応答メッセージが録音されていると、録音できる時間は短くなります。
（☞ 103ページ「メモリー容量のめやす」）

- **スピーカーホンでの通話・子機での通話・内線通話・3者通話は録音できません。**

録音する

1 受話器で通話中に 聞き直し/通話録音 を押す

録音できる時間のめやす

```
残り約 15分です
```

↓

```
通 話 録 音 中
```

2 録音を終わるには、 ストップ を押す

お知らせ

- 録音中にメモリーがいっぱいになると、下記の交互表示になり、録音できなくなります。

```
メモリーがいっぱい   U80
録 音 できません
```

再生する

1 聞き直し/通話録音 を押す

2 再生が終わると…

```
再 生 した用 件 を消 去
する=＊ しない=#
```

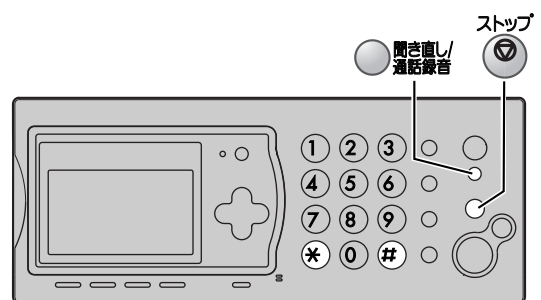
■再生したすべての用件を消去するとき

➡ ＊ を押す

■再生した用件を残すとき

➡ # を押す

お知らせ

- 留守番電話に用件が録音されている場合は、その用件も再生されます。
- **録音した内容は、下記操作でも消せます。**
➡ 53ページ「すべての用件を消去する」

親機と子機で話す（内線通話）

親機と子機で通話できます。
子機が2台以上のときは、親機やすべての子機を一斉に呼び出す（一斉呼出）こともできます。

親機から子機にかける

親機（かける側）

1 受話器を取り、内線 を押す

■子機が2台以上やドアホンを接続しているとき 続けて子機の内線番号(①～④）を押す

内線番号 [12....]を押す

呼び出す

子機（受ける側）

呼出音が鳴ったら、内線 を押す

（または充電台から子機を取る）

2 話す

3 終わったら、受話器を戻す

● 親機が通話を切ると、自動的に切れる

子機から親機にかける

子機（かける側）

1 内線 を押す

■子機が2台以上やドアホンを接続しているとき 続けて親機の内線番号⓪を押す

内線番号？

呼び出す

親機（受ける側）

呼出音が鳴ったら、受話器を取る

2 話す

3 終わったら、切 を押す

受話器を戻す

お知らせ

- 内線通話や子機間通話は、通話料金がかかりません。
- 子機間通話ではスピーカーホンは使えません。
- 内線通話中や子機間通話中に外から電話がかかってくると、呼出音が聞こえます。

➡ **親機で話すには**

1. 受話器を戻す。（内線通話が切れる）
2. 受話器を取る。（外の相手と話せる）

➡ **子機で話すには**

1. 切 を押す。（内線通話や子機間通話が切れる）
2. 外線 を押す。（外の相手と話せる）

子機と子機で話す（子機間通話）

子機が2台以上のときは、子機どうしで通話できます。（親機を介して同時に2台まで）

● KX-PW601DLをお買い上げの場合、子機の増設が必要です。（☞ 91ページ）

子機（かける側）

1 （内線）を押し、別の子機の内線番号（①～④）を押す

呼び出す

別の子機（受ける側）

呼出音が鳴ったら、（内線）を押す

（または充電台から子機を取る）

2 話す

3 終わったら、（切）を押す

● 自動的に切れる

親機やすべての子機を一斉に呼び出すには（一斉呼出）

➡ **親機から呼び出すには**

1. 受話器を取り、（内線）を押す。
2. （＊）を押す。（すべての子機の呼出音が鳴る）

➡ **子機から呼び出すには**

1. （内線）を押す。
2. （＊）を押す。（親機とすべての別の子機の呼出音が鳴る）

親機から子機にまわす

親機で受けた電話を子機にまわせます。

親機（まわす側） **子機（受ける側）**

1 **外の相手と通話中に 内線 を押す**

■子機が2台以上やドアホンを接続しているとき
続けてまわす子機の内線番号（①～④）を押す

内線番号 [12....]を押す

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる（スピーカーホン 点滅）

呼び出す

呼出音が鳴ったら、内線 を押す

（または充電台から子機を取る）

2 **通話をまわすことを伝える**

子機1内線通話中 保留中

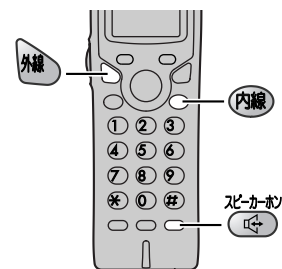
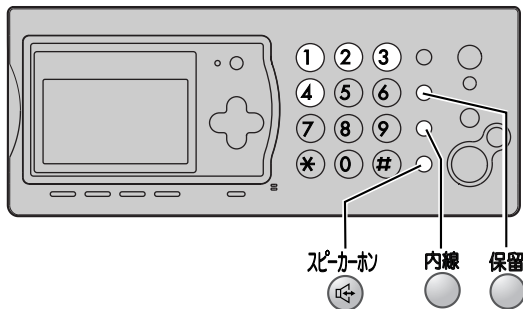
親機と子機で話す

親機と話す

3 **受話器を戻す**

➡ 内線通話が切れ、子機と外の相手が通話できる（スピーカーホン 消灯）

まわす

外の相手と話す

お知らせ

● 子機が出ないときや、内線通話中に外の相手との通話に戻るときは、内線 を押します。

近くの子機にまわすには

1. 親機側で 保留 を押し、受話器を戻す
2. 子機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
   ● 外の相手との通話に戻るときは、受話器を取る
3. 子機側で 外線 または スピーカーホン を押す

簡単取り次ぎの設定を「あり」にしたとき（☞ 85ページ）

下記の手順でも通話をまわせます。

1. 子機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
2. 子機側で 外線 を押す（3者通話になる）
3. 親機側は 3者通話中 の表示になったら、受話器を戻す

子機から親機にまわす

子機で受けた電話を親機にまわせます。

子機（まわす側）　　**親機（受ける側）**

1 外の相手と通話中に（内線）を押す

呼出音が鳴ったら、受話器を取る

■子機が2台以上やドアホンを接続しているとき
続けて親機の内線番号 ⓪ を押す

保 留 中
内 線 番 号 ?

呼び出す

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる（外線 点滅）

2 通話をまわすことを伝える

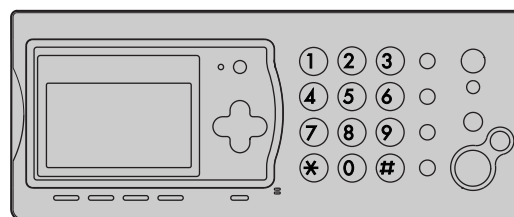
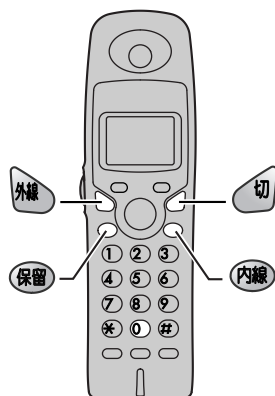
子機と話す

保 留 中
内 線 通 話 中

子機と親機で話す

3 （切）を押す

外の相手と話す

➡ 内線通話が切れ、親機と外の相手が通話できる（外線 消灯）

お知らせ

● 親機が出ないときや、内線通話中に外の相手との通話に戻るときは、（外線）を押します。

近くの親機にまわすには

1.子機側で（保留）を押す
2.親機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
　● 外の相手との通話に戻るときは、（外線）を押す
3.親機側で受話器を取る

簡単取り次ぎの設定を「あり」にしたとき（☞ 85ページ）

下記の手順でも通話をまわせます。
1.親機を使う人に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
2.親機側で受話器を取る（3者通話になる）
3.子機側は 3者 通 話 中 の表示になったら、（切）を押す

子機から別の子機にまわす

子機が2台以上のときは、子機で受けた電話を別の子機にまわせます。

● KX-PW601DLをお買い上げの場合、子機の増設が必要です。（☞ 91ページ）

子機（まわす側）	別の子機（受ける側）

1 外の相手と通話中に
(内線) を押し、まわす子機の内線番号（①～④）を押す

保留中
内線番号？

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる
（(外線) 点滅）

呼出音が鳴ったら、(内線) を押す
（または充電台から子機を取る）

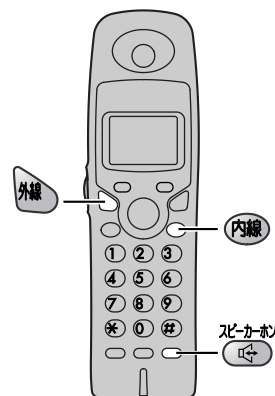
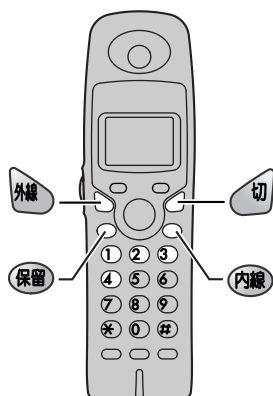
2 通話をまわすことを伝える

保留中
子機間通話中

別の子機と話す

3 (切) を押す

➡ 子機間通話が切れ、別の子機と相手が通話できる（(外線) 消灯）

外の相手と話す

お知らせ

● 別の子機が出ないときや、子機間通話中に外の相手との通話に戻るときは、(外線) を押します。

● 簡単取り次ぎ（☞ 85ページ）は、はたらきません。

近くの別の子機にまわすには

1. 外の相手と通話中の子機側で (保留) を押す
2. 別の子機の相手に声で呼びかけて、電話をまわすことを伝える
3. 別の子機側で (外線) または (スピーカーホン) を押す

親機と子機と外の相手の3人で話す（3者通話）

親機と子機と外の相手の3人が同時に話せます。

親機で3者通話にする

親機（かける側）　**子機（受ける側）**

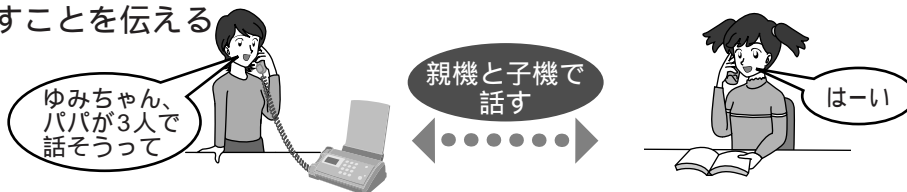
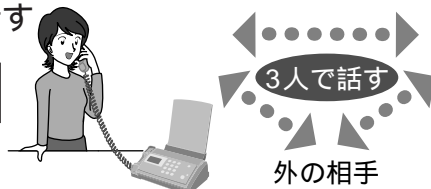
1 **外の相手と通話中に 内線 を押す**

■**子機が2台以上やドアホンを接続しているとき 続けて子機の内線番号（①～④）を押す**

➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる（スピーカーホン 点滅）

呼出音が鳴ったら、内線 を押す

（または充電台から子機を取る）

2 **3人で話すことを伝える**

3 **保留 を押し、3人で話す**

3者 通 話 中

子機で3者通話にする

子機（かける側）　**親機（受ける側）**

1 **外の相手と通話中に 内線 を押す**

■**子機が2台以上やドアホンを接続しているとき 続けて親機の内線番号 ⓪ を押す**

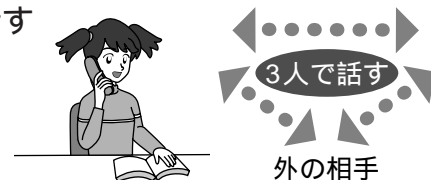
➡ 外の相手との通話が保留になり、外の相手にメロディが流れる（外線 点滅）

呼出音が鳴ったら、受話器を取る

2 **3人で話すことを伝える**

3 **保留 を押し、3人で話す**

3者 通 話 中

➡ 外線 点灯

3者 通 話 中

お知らせ

- 子機2台と、外の相手との3者通話はできません。
- 3者通話中の子機は、キャッチホンを受けられません。
- 3者通話中は、親機と子機で同時にスピーカーホンは使えません。

簡単取り次ぎの設定を「あり」にしたとき（☞ 85ページ）

下記の手順でも3者通話ができます。

➡ 子機が通話中に、親機で受話器を取る

➡ 親機が通話中に、子機で を押す

電話

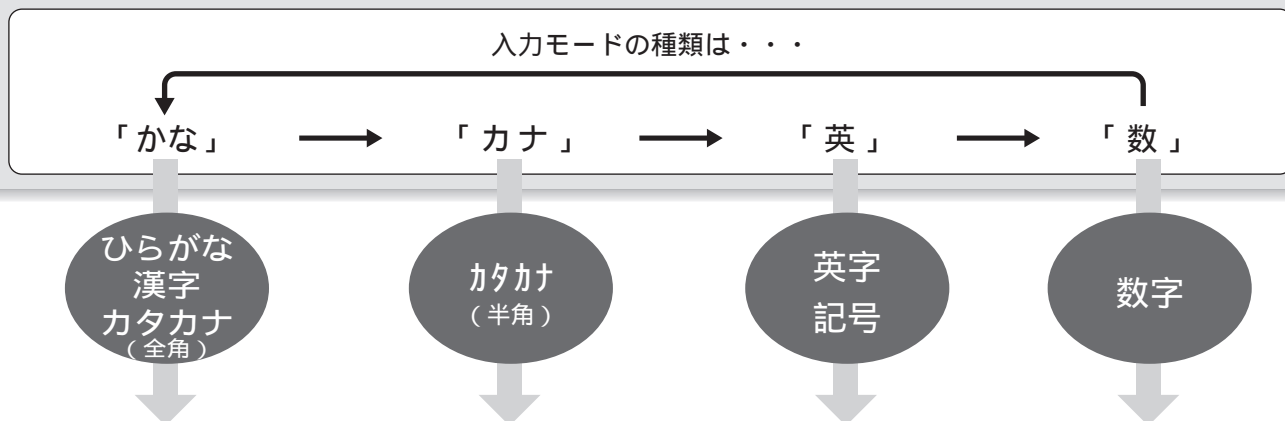
文字入力のしかた

親機の電話帳の登録（☞ 36ページの手順3）や、子機の電話帳の登録（☞ 38ページの手順3）などで「ひらがな」「漢字」「カタカナ」「英字・記号」「数字」を入力できます。

1 親機は 文字切替 F4 （子機は F2 ）を押して文字の種類（入力モード）を選ぶ

入力モードの種類は・・・

「かな」 → 「カナ」 → 「英」 → 「数」

- 「かな」：ひらがな 漢字 カタカナ（全角）
- 「カナ」：ｶﾀｶﾅ（半角）
- 「英」：英字 記号
- 「数」：数字

2 文字を入れる（ボタンの形状は親機のものです）

（例）すずき

す… ③ を3回押したあと ◁▷ を押す

ず… ③ を3回押す ⊛ を1回押す

き… ② を2回押す

■「漢字・カタカナ」にするとき
→ ▽ を押し、決定/登録 F3 を押す

詳しくは34、35ページへ

（例）スズキ

ス… ③ を3回押したあと ◁▷ を押す

ズ… ③ を3回押す ⊛ を1回押す

キ… ② を2回押す

（例）PANA

P… ⑦ を1回押す

A… ② を1回押す

N… ⑥ を2回押す

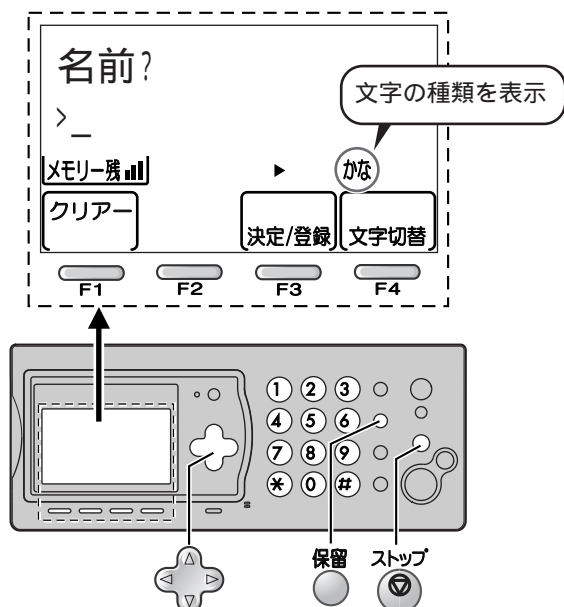
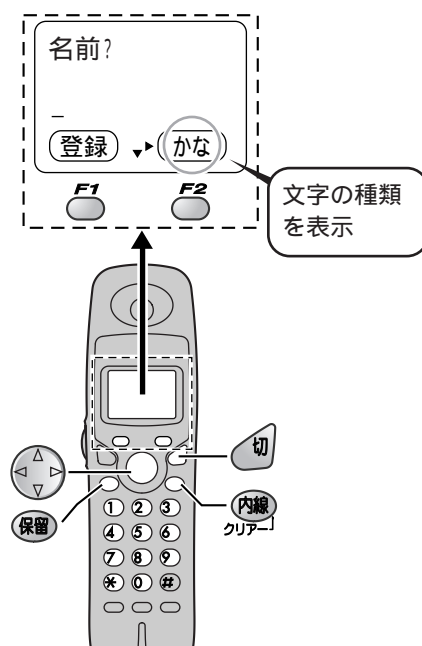
A… ② を1回押す

（例）123

1… ① を1回押す

2… ② を1回押す

3… ③ を1回押す

親機

子機

同じボタンの文字を続けて入力する

親機は（▷）（子機は（▷））を押してカーソルを右に移動させ、次の文字を入れる

スペースを入れる

親機は 保留（子機は 保留）を押す

■（カーソル）を移動する

親機は（◁▷）（子機は（◁▷））を押す

途中で入力をやめる

親機は ストップ（子機は 切）を押す

挿入・修正・消去する

●挿入 ➡ 1.挿入する文字の次に■（カーソル）を移動させる
2.文字を入力する

●修正 ➡ 1.修正する文字に■を移動させる
2.親機は クリアー F1（子機は 内線 クリアー）を押して消し、文字を入れ直す

●消去 ➡ 1.消去する文字に■を移動させる
2.親機は クリアー F1（子機は 内線 クリアー）を押す

●全消去 ➡ 1.文字の先頭に■を移動させる
2.親機は クリアー F1（子機は 内線 クリアー）を約2秒以上押す

文字列一覧表（文字リスト）

ボタン（親機）	ボタン（子機）	かな	カナ	英	数
①	①	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@（アットマーク） .（ドット） _（アンダーバー） -（ハイフン） & $ \ % + = ~ ^	1
②	②	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
③	③	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
④	④	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
⑤	⑤	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
⑥	⑥	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
⑦	⑦	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
⑧	⑧	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
⑨	⑨	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
⓪	⓪	わをんー（長音） ！？（ ）	ワヲンー（長音） ！？（ ）	! ? / ー ＊ # , ; : ｜ . ' " ( ) [ ] { } 〈 〉 「 」	0
⊛	⊛	゛（濁点） ゜（半濁点） 、。		、。	
保留	保留	□ スペース			

●最大入力文字数には、スペースも1文字分として含みます。
●Eメールアドレス入力時の「英」では、小文字が先に表示されます。
●Eメールアドレス入力時の「英」では、 、 。 ー ・ 「 」 が入力できません。
●Eメールの本文入力時は、⊕ を押すと「↵」が入力され、改行できます。
●親機と子機では、表示される文字の形や順番が異なることがあります。

漢字を入力する

入力した「ひらがな」は漢字に変換できます。

親機

1 文字を入力するときに 文字切替 F4 を押して「かな」を選ぶ
（☞ 32ページ）

2 ダイヤルボタンを押して文字を入力する

➡ ボタンを押すごとに、文字が切り替わる
● 入力できる文字について
（☞ 下記「ひらがなの文字リスト」）

名 前 ?
>すず

● **漢字に変換しないとき ➡** 手順4へ

3 音量/変換 を押して漢字に変換する

➡ ボタンを押すごとに、変換した文字が切り替わる（候補を表示する）

反転表示は変換中を示す

名 前 ?
>鈴 木

● **変換する文字の区切りを変えるには**

➡ 1. クリアー F1 を押して変換中の漢字をひらがなに戻す

2. でカーソルを変換する最後の文字に移動し、を押す

「ただ」の部分が一度に変換される

名 前 ?
>ただのりこ

4 決定/登録 F3 を押す

鈴 木
>_

決定された文字は上段へ移動する

ひらがなの文字リスト

ダイヤルボタンを押すごとに、ボタンに割り当てられた文字が順番に表示されます。

ボタン＼表示	かな
①	あいうえおぁぃぅぇぉ
②	かきくけこ
③	さしすせそ
④	たちつてとっ
⑤	なにぬねの
⑥	はひふへほ

ボタン＼表示	かな
⑦	まみむめも
⑧	やゆよゃゅょ
⑨	らりるれろ
⓪	わをんー！？（ ）
⊛	゛ ゜ 、。

゛ … 濁点　゜ … 半濁点

1 文字を入力するときに F2 を押して「かな」を選ぶ
（☞ 32ページ）

2 ①〜# を押して文字を入力する

➡ ボタンを押すごとに、文字が切り替わる

● 入力できる文字について
（☞ 34ページ「ひらがなの文字リスト」）

名 前 ?
す ず き

● 漢字に変換しないとき ➡ 手順4へ

3 音量/変換 を押して漢字に変換する

➡ ボタンを押すごとに、変換した文字が切り替わる（候補を表示する）

反転表示は変換中を示す

名 前 ?
鈴 木

● 変換する文字の区切りを変えるには

➡ 1. 内線/クリアー を押して変換中の漢字をひらがなに戻す

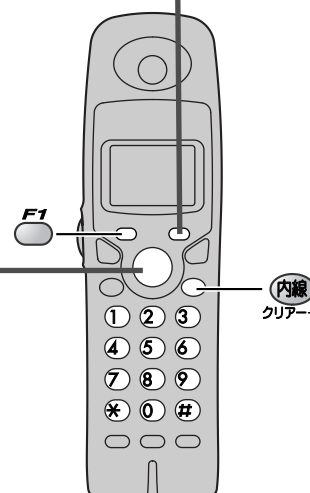
2. ◁▷ でカーソルを変換する最後の文字に移動し、▽ を押す

「ただ」の部分が一度に変換される

名 前 ?
た だ の り こ

4 決定 F1 を押す

決定された文字は上段へ移動する

鈴 木 ▮
_

お知らせ

- カタカナにも変換できます。
- 希望の漢字に変換できないとき
  ➡ 読みかた（音読み・訓読みなど）を変えて入力したあと変換する。
- 希望の漢字に変換できないこともあります。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 親機と子機では、同じように変換しても変換結果が異なる場合があります。

親機の電話帳に登録する

よくかける相手の名前と電話番号を、グループ1〜9に分けて**最大150件まで**登録できます。

- 子機の電話帳に登録した内容を、親機の電話帳に転送（コピー）できます。（☞ 41ページ）
- 電話帳でかけるには（☞ 23ページ）
- 電話帳でファクスを送るには（☞ 45ページ）

1 電話帳 を押す

2 決定/登録 F3 を押す

検索は[▼▲]を押す
↓
電話帳空き XXX件

登録できる残りの件数を表示

3 ダイヤルボタン を押して名前を入力し（全角10文字／半角20文字まで）、決定/登録 F3 を押す

鈴木
>_

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）

4 フリガナを確認し、決定/登録 F3 を押す

半角12文字まで

フリガ゛ナ?
スズ゛キ

- 修正や追加するとき
  ➡ フリガナを修正し、決定/登録 F3 を押す
  - 修正のしかた（☞ 33ページ）

5 ダイヤルボタン を押して電話番号を入力し（24ケタまで）、決定/登録 F3 を押す

電話番号?
09876543

まちがえたとき
➡ クリアー F1 を押す

6 ダイヤルボタン を押してグループ番号を入力し（1〜9）、決定/登録 F3 を押す

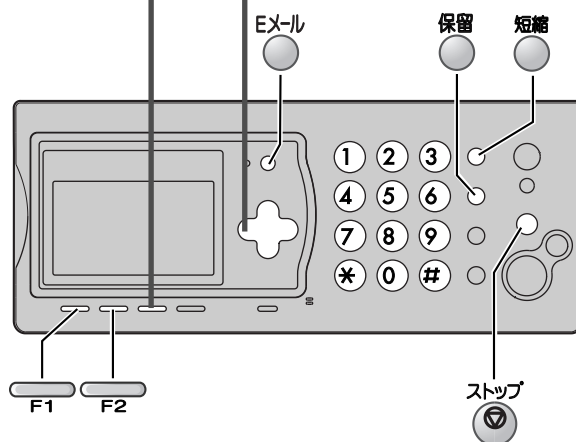
ク゛ループ゜=1
[1-9]を押す

変更しない場合は、グループ1に登録される

- 続けて登録するとき ➡ もう一度手順3へ

7 ストップ を押す

■ **スペースを入れるとき** ➡ 保留 を押す。

■ **途中でやめるとき** ➡ ストップ を押す。

■ **電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」（☞ 59ページ）を入れるとき**

➡ 手順5で「184」または「186」を入力して、Eメール **（ポーズ）** を押す。

（ディスプレイには、「P」が表示される）

そのあとに電話番号を入力する。

● **グループ1～9に分けて登録すると…**
- グループ別に電話帳から探せます。（☞ 23ページ）
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用して、グループ別に呼出音・バックライト色を変えられます。（☞ 63ページ「着信鳴り分け」）

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 再ダイヤル を押す

2 を押して相手を選ぶ

3 決定/登録 F3 を押し、36ページの手順3からの操作をする

電話帳を修正する

1 電話帳 を押す

2 を押して修正する相手を選ぶ

3 修正 F2 を押し、36ページの手順3からの操作をする

電話帳を消去する

1 電話帳 を押す

2 を押して消去する相手を選ぶ

3 クリアー F1 を押し、⊛ を押す

4 ストップ を押す

お知らせ

- 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）の4件が、あらかじめ登録されています。（修正・消去もできます）
- **ディスプレイに表示される順番**
  ➡ を押すと、下記のフリガナ順で表示されます。
  数字→アルファベット→カナ→記号→電話番号（名前を登録していないとき）
  よくかける相手を先に表示させたいとき
  ➡ フリガナを登録するとき、最初に文字の種類を「数」にして3ケタの数字（001～150）を入れます。
- **電話帳の内容をプリントするには**
  ➡ 41ページ「電話帳の内容をプリントする」
- 電話帳の内容を一度にすべて消去できます。（☞ 82ページ）

親機の短縮ダイヤルに登録する

電話帳に登録している相手を、短縮ダイヤルに**最大9件まで**登録できます。
- 短縮ダイヤルでかけるには（☞ 23ページ）
- 短縮ダイヤルでファクスを送るには（☞ 45ページ）

1 短縮 を押す

2 短縮番号（①～⑨）を押す

1.登 録 されていません

- **すでに登録されているとき**
  ➡ 別の短縮番号を押す
- を押しても選べます

3 決定/登録 F3 を押す

4 を押して電話帳から相手を選ぶ

5 決定/登録 F3 を押す

短 縮 1
登 録 しました

- **続けて登録するとき**
  ➡ もう一度手順3へ

6 ストップ を押す

短縮ダイヤルを消去する

1 短縮 を押す

2 消去する短縮番号（①～⑨）を押す

3 クリアー F1 を押し、⊛ を押す

■**途中でやめるとき** ➡ ストップ を押す。

■**短縮ダイヤルを修正するには**
➡ 電話帳を修正する（☞ 左記）

お知らせ

- **短縮ダイヤルの内容をプリントするには**
  ➡ 82ページ「短縮ダイヤル印刷」
- 電話帳を修正・消去すると、短縮ダイヤルも修正・消去されます。
- 短縮ダイヤルを消去しても、電話帳は消去されません。

子機の電話帳に登録する

よくかける相手の名前と電話番号を、グループ1～9に分けて**最大150件まで**登録できます。

- 親機の電話帳に登録した内容を、子機の電話帳に転送（コピー）できます。（☞ 40ページ）
- 電話帳でかけるには（☞ 23ページ）

1 ▶電話帳 を押す

2 登録F1 を押す

検索は
[▼▲]を押す
↓
名前？
空き　XXX件

登録できる残りの件数を表示

3 ダイヤルボタン を押して名前を入力し（全角10文字／半角20文字まで）、登録F1 を押す

鈴木

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）

4 フリガナを確認し、登録F1 を押す

鈴木
フリガナ？
スズキ

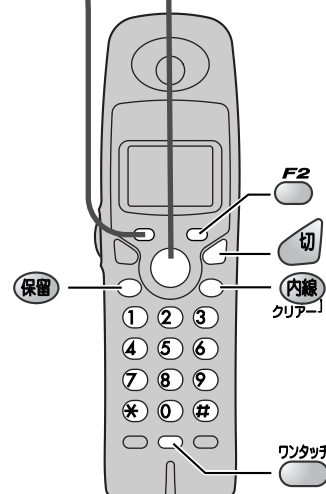
半角12文字まで

- **修正や追加するとき**
  → フリガナを修正し、登録F1 を押す
  - 修正のしかた（☞ 33ページ）

5 ダイヤルボタン を押して電話番号を入力し（24ケタまで）、登録F1 を押す

鈴木
09876543

まちがえたとき → 内線クリアー を押す

6 ダイヤルボタン を押してグループ番号を入力し（1～9）、登録F1 を押す

グループ＝1
[1-9]を押す

変更しない場合は、グループ1に登録される

- **続けて登録するとき** → もう一度手順3へ

7 切 を押す

F2　切　保留　内線 クリアー　ワンタッチ

■**スペースを入れるとき** → 保留 を押す。

■**途中でやめるとき** → 切 を押す。

■**電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」（☞ 59ページ）を入れるとき**

→ 手順5で「184」または「186」を入力して、ポーズF2 **（ポーズ）**を押す。

（ディスプレイには、「P」が表示される）

そのあとに電話番号を入力する。

● グループ1～9に分けて登録すると…
- グループ別に電話帳から探せます。(☞ 23ページ)
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用して、グループ別に呼出音を変えられます。(☞ 64ページ「着信鳴り分け」)

再ダイヤルから電話帳に登録する

1 再ダイヤル を押す

2 を押して相手を選ぶ

3 登録 F1 を押し、38ページの手順3からの操作をする

電話帳を修正する

1 電話帳 を押す

2 を押して修正する相手を選ぶ

3 修正 F1 を押し、38ページの手順3からの操作をする

電話帳を消去する

1 電話帳 を押す

2 を押して消去する相手を選ぶ

3 内線 クリアー を押し、はい F1 を押す

4 切 を押す

お知らせ

- 時報(117)、天気予報(177)、電報(115)、番号案内(104)の4件が、あらかじめ登録されています。(修正・消去もできます)
- **ディスプレイに表示される順番**
  ➡ を押すと、下記のフリガナ順で表示されます。
  数字→アルファベット→カナ→記号→電話番号
  (名前を登録していないとき)
  よくかける相手を先に表示させたいとき
  ➡ フリガナを登録するとき、最初に文字の種類を「数」にして3ケタの数字(001～150)を入れます。
- **電話帳の内容をプリントするには**
  ➡ 41ページ「電話帳の内容をプリントする」
- 電話帳の内容を一度にすべて消去できます。(☞ 89ページ)

子機のワンタッチダイヤルに登録する

よくかける相手の電話番号を、ワンタッチダイヤルに**1件のみ**登録できます。
- ワンタッチダイヤルでかけるには(☞ 23ページ)

1 ワンタッチ を押す

- **登録済みのワンタッチダイヤルを押すと、電話がかかってしまうので、お気をつけください。**

2 **電話番号を入力する**(24ケタまで)

まちがえたとき
➡ 内線 クリアー を押す

3 登録 F1 を押す

ワンタッチダイヤルを修正する

1 機能 F1 を押し、ワンタッチ を押す

2 上記の手順2からの操作をする

ワンタッチダイヤルを消去する

1 機能 F1 を押し、ワンタッチ を押す

2 カーソルが先頭の位置で 内線 クリアー を約2秒以上押して電話番号をすべて消去する

3 登録 F1 を押す

■**スペースを入れるとき** ➡ 保留 を押す。

■**途中でやめるとき** ➡ 切 を押す。

■**電話番号にナンバー・ディスプレイサービスの「184」や「186」(☞ 59ページ)を入れるとき**

➡ 登録操作の手順2で「184」または「186」を入力して、ポーズ F2 **(ポーズ)**を押す。

(ディスプレイには、「P」が表示される)

そのあとに電話番号を入力する。

親機の電話帳を子機に転送する

転送（コピー）すると、子機に同じ相手を登録する手間が省けて便利です。
● **転送するときは、子機を親機の近くに持ってきてください。**

個別に転送する

1 **親機の 機能 を押し、# 1 4 3 を押す**

2 **決定/登録 F3 を押す**

電話帳転送

3 ■ **子機が1台のとき**

決定/登録 F3 を押す

転送先＝子機1
選択は[◀▶]を押す

■ **子機が2台以上のとき**

を押して転送する子機を選び、

決定/登録 F3 を押す

転送先＝子機2
選択は[◀▶]を押す

4 **決定/登録 F3 を押す**

電話帳＝個別
選択は[◀▶]を押す

5 **を押して転送する相手を選ぶ**

● 名前の頭文字を入力して で選ぶこともできます

6 **決定/登録 F3 を押す**

⋮

転送しました

⬇

（転送した相手を表示する）

● **続けて転送するとき**
➡ もう一度手順5へ

7 **終わったら、ストップ を押す**

一括して転送する

1 **親機の 機能 を押し、# 1 4 3 を押す**

2 **決定/登録 F3 を押す**

電話帳転送

3 ■ **子機が1台のとき**

決定/登録 F3 を押す

転送先＝子機1
選択は[◀▶]を押す

■ **子機が2台以上のとき**

を押して転送する子機を選び、

決定/登録 F3 を押す

転送先＝子機2
選択は[◀▶]を押す

4 **を押して「一斉」を選び、**

決定/登録 F3 を押す

電話帳＝一斉
選択は[◀▶]を押す

5 **決定/登録 F3 を押す**

⋮

XXX件　転送しました

⬇

（手順2の画面を表示する）

● **続けて別の子機に転送するとき**
➡ もう一度手順2へ

6 **終わったら、ストップ を押す**

お知らせ

● 転送する内容と同じものが、すでに転送先に登録されている場合、その内容は追加登録されません。
● 転送先に同じ名前があっても、電話番号やグループ番号が異なるときは、追加登録されます。
● **一括して転送するときは**
➡ を押して表示される順番で転送されます。
➡ 転送先の電話帳の空き件数が0件になると、自動的に転送を終了します。
➡ 登録されている件数により、転送時間が長くなることがあります。

子機の電話帳を親機に転送する

転送（コピー）すると、親機に同じ相手を登録する手間が省けて便利です。

- **転送するときは、子機を親機の近くに持ってきてください。**
- **子機が2台以上の場合でも、子機から子機への電話帳転送はできません。**

個別に転送する

1 **子機の 機能F1 を押す**

2 **右記の表示になるまで を押し、決定F1 を押す**

着信鳴り分け
電話帳転送
電話帳消去

3 **決定F1 を押す**

電話帳転送
個別
一斉

4 **を押して転送する相手を選ぶ**

- 名前の頭文字を入力して で選ぶこともできます

5 **決定F1 を押す**

- **続けて転送するとき**
  ➡ もう一度手順4へ

転送しました

（転送した相手を表示する）

6 **終わったら、切 を押す**

一括して転送する

1 **左記の手順1〜2の操作をする**

2 **を押して「一斉」を選び、決定F1 を押す**

電話帳転送
個別
一斉

3 **決定F1 を押す**

転送しました
XXX件

（左記の手順2の画面を表示する）

4 **終わったら、切 を押す**

お知らせ

- 転送する内容と同じものが、すでに転送先に登録されている場合、その内容は追加登録されません。
- 転送先に同じ名前があっても、電話番号やグループ番号が異なるときは、追加登録されます。
- **一括して転送するときは**
  ➡ を押して表示される順番で転送されます。
  ➡ 転送先の電話帳の空き件数が0件になると、自動的に転送を終了します。
  ➡ 登録されている件数により、転送時間が長くなることがあります。

電話帳の内容をプリントする

1 **親機の 機能 を押し、# 0 4 1 を押す**

2 **を押して「親機」または「子機」を選ぶ**

電話帳印刷=親機
選択は[◀▶]を押す

3 **決定/登録 F3 を押す**

■ **「親機」のとき**

➡ 親機の電話帳の内容がプリントされる

■ **「子機」のとき**

子機を操作してください

子機で上記の「一括して転送する」の操作をする

➡ 親機で、子機の電話帳の内容がプリントされる

- この操作では、子機の電話帳データは親機に転送されません

4 **終わったら、親機の ストップ を押す**

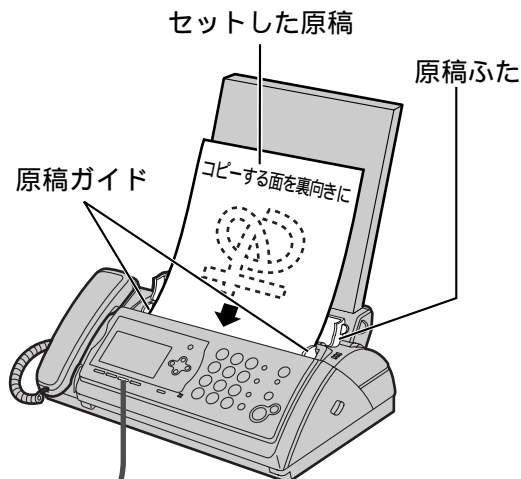
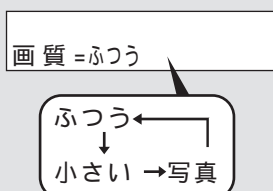
コピーする

1 原稿をセットする

❶ 原稿ふたを開ける

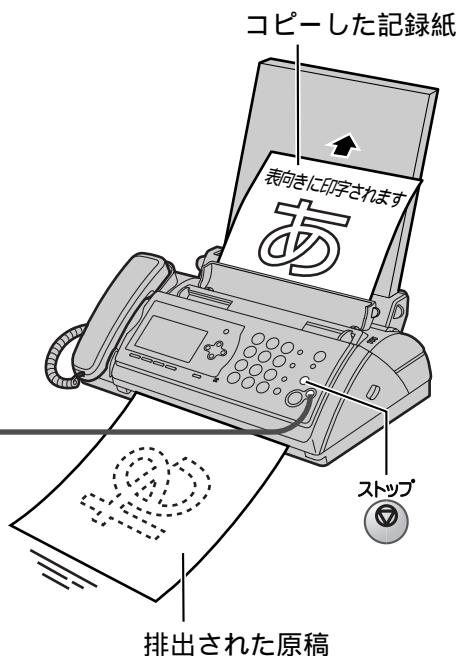
❷ 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

❸ コピーする面を裏向きに原稿を入れる（「ピッ」と鳴る）

- 原稿は一度に**重ねて5枚まで**
- 原稿が2枚以上のときは、同じサイズ、厚さで先端をそろえる
- 原稿について（☞ 43ページ）

2 画質 F3 を繰り返し押して画質を選ぶ

- 写真や濃淡がある原稿のときは、「写真」を選ぶ
- 「ふつう」でコピーしても自動的に「小さい」に変わる

3 コピー を押す

■途中でコピーをやめるとき

➡ ストップ を押す。

再度 ストップ を押すと、原稿が排出されます。

音声操作案内に従ってコピーすることもできます

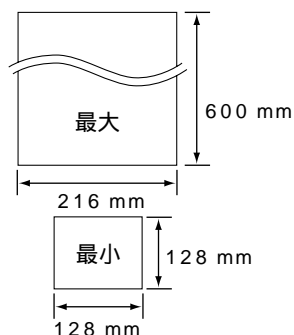
1.原稿をセットしないで コピー を押す

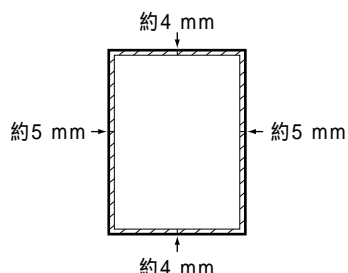
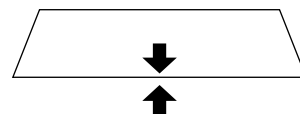
2.音声案内に従って操作する

お知らせ

- コピーした記録紙に白や黒い線が入るとき ➡ 原稿読取部の汚れをふき取ってください。（☞ 96ページ）
- 原稿の下部がプリントされなかったときに続きを次のページにプリントするか、そのページで中断するかを選ぶことができます。（☞ 85ページ「分割コピー」）
- 表面がざらざらしている記録紙を使うと、文字がかすれます。➡ 表面がより滑らかな記録紙を使ってください。
- 親機がプリント中は、子機で電話を受けることができません。

使える原稿について（ファクス送信・コピーのとき）

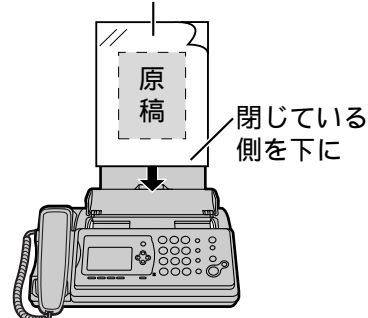
●原稿のサイズ

●読み取り可能範囲

原稿のサイズにかかわらず、
斜線部分は読み取れません。

●原稿の厚さ

- 1枚のとき
  0.06～0.2 mm
- 2枚以上5枚以下のとき
  0.06～0.13 mm
  （この取扱説明書1枚は約0.1 mmです。）

●次のような原稿は、別の複写機でコピーをとるか、キャリアシートにはさんでください。

原稿の状態	別の複写機でコピーする	キャリアシートを使う
薄い紙（0.06 mm未満のもの）	○	○
厚い紙（0.2 mmを超えるもの）	○	
布地、金属シート	○	
のりやセロハンテープで貼り合わせたもの	○	
縦128 mm×横128 mmより小さいもの	○	○
破れ、しわ、カールや折り目のあるもの	○	○
フィルムやトレーシングペーパーのようなもの	○	○
表または裏がコーティングされているもの	○	○
感熱紙、裏カーボン紙など化学処理したもの	○	○
パンチ穴が開いているもの	○	○
こしが強いもの	○	

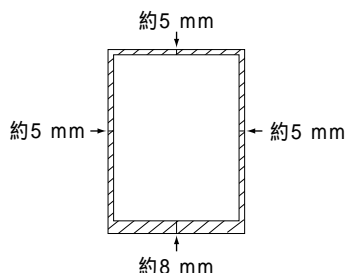
キャリアシート（別売品）
品番：KX-A130（A4用）

キャリアシート
（1枚ずつセットしてください）
原稿
閉じている側を下に

●原稿についているクリップやホッチキスは、取り外してください。
●インク、のり、修正液は完全に乾かしてください。
（コピーやファクス送信時に白や黒い線が入る原因になります）

お願い

● 以下のものはコピー禁止です。
- 通貨、証券類、未使用郵便切手、官製はがき、印紙、酒税法で規定の証書類など
  ➡ 法律で禁止
- 著作権の対象となっている書籍類・芸術作品類・地図など
  ➡ 個人的な使用以外は法律で禁止

コピーのときのプリント可能範囲

記録紙の斜線部分にはプリントされません。

ファクスを送る

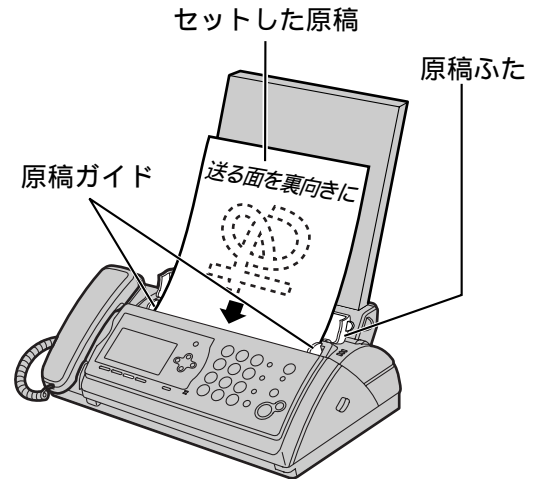
1 原稿をセットする

❶ 原稿ふたを開ける

❷ 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる

❸ 送る面を裏向きに原稿を入れる

（「ピッ」と鳴る）

- 原稿は一度に**重ねて5枚まで**
- 原稿が2枚以上のときは、同じサイズ、厚さで先端をそろえる
- 原稿について（☞ 43ページ）

2 画質 F3 を繰り返し押して画質を選ぶ

- 画質選択のめやす（☞ 下記「ポイント」）

画 質 =ふつう

ふつう → 小さい → 写真

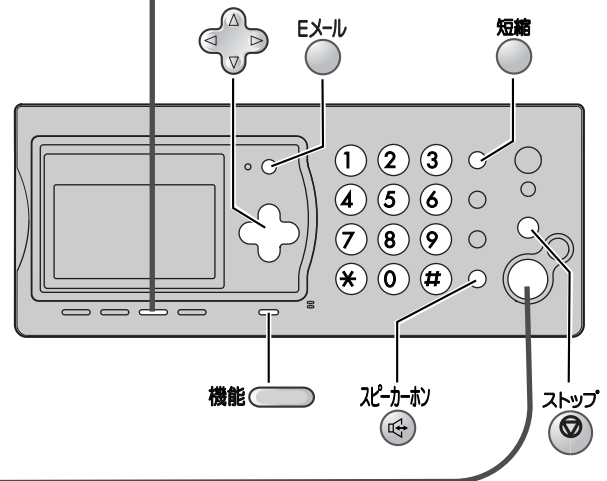
3 ダイヤルする

4 スタート ファクス を押す

➡ 送信を開始する

- 相手のファクスに登録されている電話番号や名前を、ディスプレイに表示する場合があります

■**送信を中止するとき**

➡ ストップ を押す。

再度 ストップ を押すと、原稿が排出されます。

■**送信できなかったとき**

➡ ストップ を押して原稿を排出する。

音声操作案内に従って送ることもできます

1. 原稿をセットしないで を押す
2. 音声案内に従って操作する

ポイント

画質選択のめやす

「ふつう」	「小さい」	「写真」
大きい文字のとき	この文字の大きさより小さいとき	

- 新聞などのように原稿の文字が小さいときに「小さい」でお使いください。
- 写真や濃淡がある原稿のときは「写真」でお使いください。

相手と話してから送る（親機のみ）

1 原稿をセットして電話をかけ、相手と話す

2 相手にファクスを送ることを伝え、相手に スタートボタン を押してもらう

3 スタート ファクス を押し、受話器を戻す

● 「ファクスを送信しますので、電話を切ってお待ちください」と聞こえると、スタート ファクス を押さなくても自動的に送信を開始する**（ファクス親切送信）**

同じ相手にもう一度送る（再ダイヤル）

1 原稿をセットする

2 再ダイヤル を押し、 を押して送る相手を選ぶ

3 スタート ファクス を押す

短縮ダイヤルで送る

登録のしかた（☞ 37ページ）

1 原稿をセットする

2 短縮 を押し、短縮番号（① ～⑨ ）を押す

3 スタート ファクス を押す

電話帳で送る

登録のしかた（☞ 36ページ）

1 原稿をセットし、 **を押す**

● **グループ別に探すとき**

➡ 続けて # を押し、グループ番号（①～⑨）を押す

2 を押して送る相手を選ぶ

● 名前の頭文字を入力して で選ぶこともできます

3 スタート ファクス を押す

海外へ送る

1 原稿をセットする

2 スピーカーホン を押し、ダイヤルする

3 「ピーヒョロロ」が聞こえたら、スタート ファクス を押す

● **電話回線の状況が悪く** 通信 エラー U40 **が表示されて送れないとき**

➡ 送信時間が通常の約2倍かかりますが、海外送信モード（☞ 下記）を設定してから送信してください。**送信後、海外送信モードは自動的に解除（設定：なし）されます。**

■ **海外送信モードに設定するには**

1. 機能 を押し、# 0 2 3 を押す。
2. を押して「1回」を選ぶ。
3. 決定/登録 F3 を押し、ストップ を押す。

オート再ダイヤルについて

相手が話し中のときや相手のファクスの応答がなかったときは、1分間隔で3回まで自動時に再ダイヤルします。

● 受話器や スピーカーホン を使って送信したときは、オート再ダイヤルははたらきません。

● 再ダイヤル待ちのときは、 再ﾀﾞｲﾔﾙ待 機 中 と表示され、電話をかけたり、機能登録操作などで本機を使用すると、オート再ダイヤルは中止されます。

お知らせ

● **ファクス親切案内**…送信結果を「ファクスを送信しました」「ファクスを送信できませんでした」と音声でお知らせします（親機のみ）。音声を流れないようにするには（☞ 83ページ「ファクス親切案内」）

● **構内交換機に接続しているとき**

➡ 外線発信番号のあとに Eメール **（ポーズ）**を押し、相手の電話番号をダイヤルしてください。

電話に出てからファクスを受ける

お買い上げ時の設定では、いったん電話に出てからファクスを受けます。

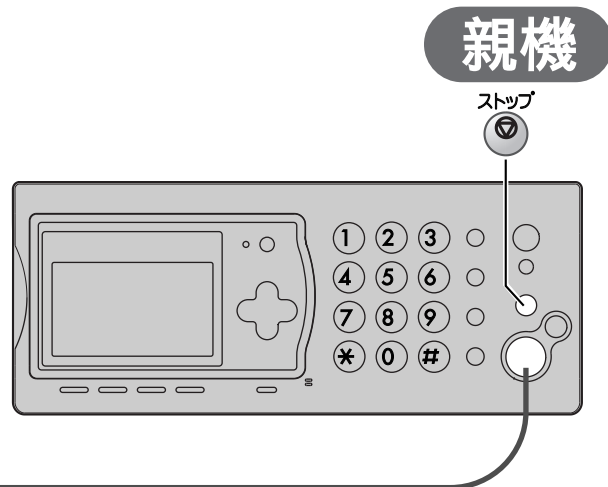
親機

1 **呼出音が鳴ったら、受話器を取る**

2 「ポー、ポー」音が聞こえたり、
相手がファクスを送ると言ったり、
相手の声が聞こえないときは、

スタート ファクス **を押し、受話器を戻す**

➡ 受信を開始する

子機

1 **呼出音が鳴ったら、**
充電台から子機を取る

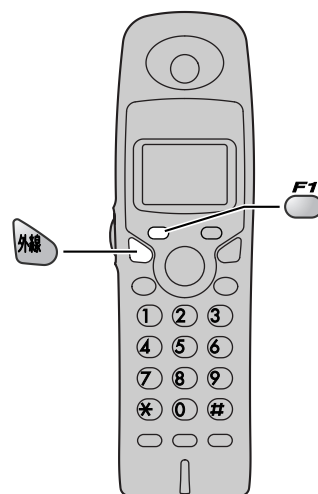
● 充電台に置いていないときは、 を押す

2 「ポー、ポー」音が聞こえたり、
相手がファクスを送ると言ったり、
相手の声が聞こえないときは、

「ピッ」と鳴るまで ファクス F1 **を押し、**
充電台に子機を戻す

➡ 受信を開始する

● 充電台から外したままにもできます

■**受信を中止するとき** ➡ 親機の ストップ を押す。

■**子機で通話中にまちがって** ファクス F1 **を押したとき** ➡ ファクス受 信 表示中に ファクス F1 を押すと通話に戻る。

お知らせ

● **ファクス親切案内**…受信結果を「ファクスを受信しました」「ファクスを受信できませんでした」と音声でお知らせします（親機のみ）。音声を流れないようにするには（☞ 83ページ「ファクス親切案内」）

● **ファクス親切受信**…「ファクスを受信しますので、電話を切ってお待ちください」または「ファクスを受信します」と聞こえると、親機の スタート ファクス や子機の ファクス F1 を押さなくても自動的に受信します。

● 7〜8回以上呼出音が鳴ってから電話に出ると、ファクスを受信できないことがあります。

● **用件録音などの音声情報でメモリーがいっぱいのときは、ファクスの受信ができません。**
ただし、記録紙がセットされていれば、最初の1枚だけは受信できます。（通信速度は、通常より遅くなります）
・**通常どおり受信するには** ➡ 不要な用件録音を消す。（☞ 53ページ）

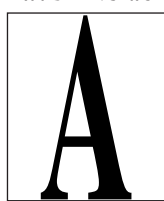
受信したファクスについて

- 相手がA3、B4サイズの原稿でファクスを送ってきたときは、A4サイズに縮小されます。
  ➡ 文字が小さく読みにくいときは、相手に画質「小さい」で送ってもらってください。
- 相手がB5サイズの原稿を横向きで送ってきたときも縮小されます。➡ 縦向きにして送ってもらってください。
- 表面がざらざらした記録紙を使うと、文字がかすれます。➡ 表面がより滑らかな記録紙を使ってください。

ファクスのプリントについて（エコノミー受信）

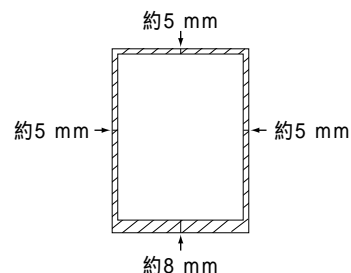
お買い上げ時の設定では、発信元情報や送信ページ数をプリントするため、縦・横ともに縮小（約92%）します。
（エコノミー受信の設定：「あり（1）」）

- 等倍でもプリントできます。（縮小されないので、かすれなどが少なくきれいにプリントできます）
  ➡ 83ページ「エコノミー受信」で「あり（2）」または「なし」を選んでください。

相手の原稿

「あり（1）」のとき　「あり（2）」のとき　「なし」のとき

- 約92%縮小
  （お買い上げ時の設定）
- 等倍でプリント
  （1ページで収まらない部分はプリントしない）
- 等倍でプリント
  （1ページで収まらない部分は2ページ目にプリントする。相手の原稿によっては、2ページ目が白紙になることがあります。）

プリント可能範囲

記録紙の斜線部分にはプリントされません。

お願い

- 「あり（2）」に設定したとき、相手の原稿によっては、情報の一部が印字されない場合があります。すべてのデータを印字させたいときは、「あり（1）」か「なし」に設定してください。

記録紙やインクフィルムがなくなったとき（メモリー代行受信）

記録紙やインクフィルムがなくなったりしてプリントできないときは、送られてきたファクスをメモリーに代行受信します。メモリーに代行受信すると、「ファクスが 届いています 印刷してください」が表示されます。

おたっくすEメールを利用しているときは、Eメールもメモリー代行受信されます。

プリントするには

- **記録紙がなくなったとき** ➡ 新しい記録紙を（なるべく30枚）入れる。（☞ 7ページ）
- **インクフィルムがなくなったとき** ➡ インクフィルムを交換する。（☞ 100ページ）

プリントすると、メモリーに記憶した受信内容は自動的に消去されます。

お知らせ

- **メモリーには、約46枚まで受信できます。**（☞ 103ページ「メモリー容量のめやす」）
- プリント中は、ストップ を押してもプリントを中止できません。
- **メモリー代行受信したファクスを消去することができます。**（☞ 83ページ「ファクスメモリー消去」）

在宅時に電話に出られなくてもファクスを自動的に受ける

家にいるとき（在宅のとき）に、電話に出られなくてもファクスを自動的に受けるようにできます。

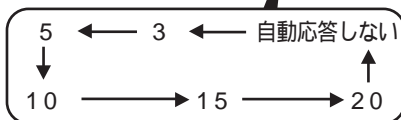
● 留守 が消灯しているときに、はたらきます。消灯させるには、留守 を押してください。

呼出音を鳴らしてから自動的に受ける

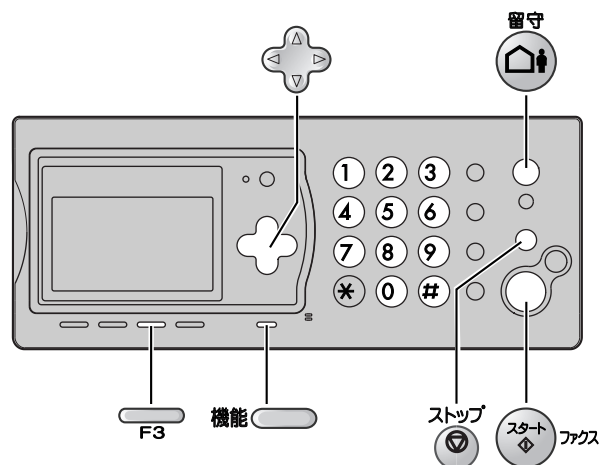
自動的に受けるには、「在宅着信呼出音の回数」を「3」または「5」に設定してください。

1 機能 を押し、# 1 1 2 を押す

2 ◁▷ を押して「3」または「5」を選び、

決定/登録 F3 を押す

3 ストップ を押す

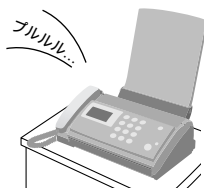
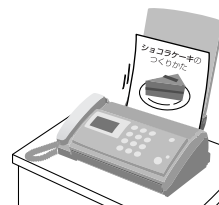
■設定を解除するには（お買い上げ時の設定に戻す）

➡ 手順2で「15」を選ぶ。

例）手順2で「5」を選んだとき

相手がファクスを送ってくると

本機では

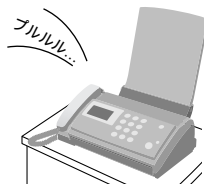
「呼出音」が 5回鳴ってからつながる

● 無鳴動受信（☞ 49ページ）にすると、呼出音が鳴らずにつながります。

ファクスを自動的に受信する

相手が電話をかけてくると

本機では

「再呼出音」が 9回鳴る

● 無鳴動受信にしても鳴ります。

相手では

呼出音が約5回聞こえる

● 無鳴動受信にすると、呼出音が約1回聞こえます。

ここから相手に通話料金がかかります

ただいま
呼び出して
おります。
プルル　プルル
プルル…

お知らせ

● **呼出音（再呼出音）が鳴って電話に出たときは…**
■ **相手が電話のとき**
➡ 話す。
■ **相手がファクスのとき**
➡ 親機は スタート ファクス を押し、受話器を戻す。
（子機は「ピッ」と鳴るまで ファクス F1 を押す）

ファクスの信号音を出したあと、電話が切れる

電話を切る

呼び出しましたが、近くにおりません。ファクシミリをご利用の方は、送信してください。電話の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。

呼出音を鳴らさずに自動的に受ける（無鳴動受信）

在宅時（留守 消灯）に、常時または指定した時間帯だけ呼出音を鳴らさないようにしてファクスを受信できます。
● 電話の場合、相手に呼出音が約1回聞こえたあと、本機につながります。本機では、再呼出音のみ鳴ります。
（☞ 48ページの流れ図）

設定する／解除する

1 機能 **を押し、** # 1 1 4 **を押す**

2 ■ **指定した時間帯だけ鳴らさないとき**

❶ **を押して「タイマー」を選び、**
決定/登録 F3 **を押す**

無鳴動受信＝タイマー 選択は[◀▶]を押す

❷ **鳴らさない時間帯を入力し**（24時間式）、
決定/登録 F3 **を押す**

無鳴動時間 23:00 → 06:30

● 深夜12：00は、0 0 0 0 と入力する

■ **常時鳴らさないとき**

を押して「常時」を選び、
決定/登録 F3 **を押す**

無鳴動受信＝常時 選択は[◀▶]を押す

■ **解除するとき**

を押して「しない」を選び、
決定/登録 F3 **を押す**

無鳴動受信＝しない 選択は[◀▶]を押す

3 ストップ **を押す**

お知らせ

● 無鳴動受信がはたらいている時間帯は、ディスプレイに「無鳴動」が表示されます。

8月 1日 14:00 用件録音 00件 メモリー残 無鳴動

● 在宅着信呼出音の回数（☞ 48、82ページ）にかかわらず、無鳴動受信が優先してはたらきます。
● **留守のとき（留守 点灯）は、無鳴動受信ははたらきません。**
● **下記の場合は、無鳴動に設定しても呼出音が鳴ります。**
・記録紙やインクフィルムがなく、メモリーもいっぱいのとき
・相手が受話器を取って手動でダイヤルしたあと、ファクスを送信してきたとき（再呼出音が鳴ります）
● 並列に接続した電話機を無鳴動にすることはできません。

使いかたに合った電話とファクスの受けかた

使いかたに合わせて、家にいるとき（在宅のとき）と留守のときのファクスの受けかたをそれぞれ選べます。

●「家にいるとき」と「留守のとき」の切り替えは、ボタンを押して行います。

■ 家にいるとき（在宅のとき）

● 留守 を消灯させる

お買い上げ時の設定で使う

いったん電話に出てから電話やファクスを受けます

☞ 46ページ

電話に出られなくてもファクスを自動的に受けたいとき

●用件の録音はできません。

設定が必要です

☞ 48ページ

呼出音を鳴らさずにファクスを受けることができますか？

➡ 在宅のときのみできます。
無鳴動受信に設定してください。（☞ 49ページ）

■ 留守のとき

● 外出するときに、を点灯させる

お買い上げ時の設定で使う

自動的にファクスの受信と用件録音ができます

☞ 52ページ

ファクスだけ受けたいとき（ファクス専用）

●電話を受けることはできません。
●ファクスが送られてくると、呼出音が1回鳴ってから受信を開始します。

設定が必要です

☞ 82ページ

●「留守着信呼出音の回数」の設定を「ファクス専用」にしてください。

ファクスを送受信後に続けて話す（電話予約）

親機ではファクスを送ったり受けたりしたあと、電話をかけ直さずに、続けて話ができます。

電話予約する

1 ファクスの送受信中に受話器を取る

電話予約中

● 受信時は、受信中のページのあとで相手機を呼び出す
● 送信時は、送信が全部終わったあとで相手機を呼び出す

2 相手が出たら話す

電話予約の呼び出しを受ける

1 ファクスの送受信のときに呼出音が鳴ったら、受話器を取る

● 約10秒以内に電話に出ないと、自動的に切れる

2 相手と話す

お知らせ

● 相手のファクスに電話予約機能がなかったり、Fネットを使用しているときは電話予約できません。

相手のファクスをこちらの操作で受ける（ポーリング受信）

あらかじめ自動送信設定となっている相手の原稿（情報）を、こちらからの操作で受信できます。

1 機能 を3回押す

ﾎﾟｰﾘﾝｸﾞ

2 スピーカーホン を押し、ダイヤルする

3 「ピーヒョロロ」が聞こえたら、スタート ファクス を押す

➡ 受信を開始する

お知らせ

● 相手の原稿がB4サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小されます。
● 相手機によっては、受信できない場合があります。

NTTのFネットを利用する

NTTと加入契約（G3サービス1300 Hz）をしたあと、**「Fネット」の設定（☞ 83ページ）を「あり」にしてください。**

Fネット（ファクシミリ通信網サービス）に関するお問い合わせ先：

■お申し込みに関するお問い合わせ
フリーダイヤル **0120-414-924（通話料金無料）**
受付時間　9：00～17：00
（土・日・祝を除く）

■サービスに関するお問い合わせ
フリーダイヤル **0120-161-011（通話料金無料）**
受付時間　9：00～17：00
（土・日・祝を除く）

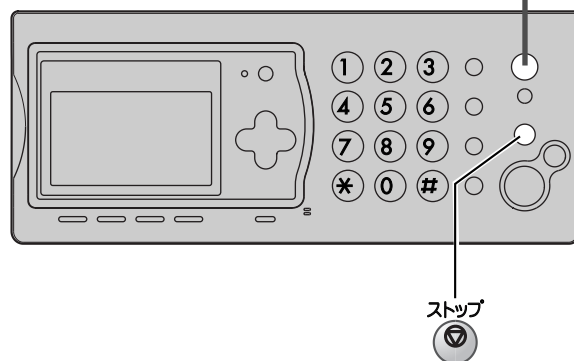
お知らせ

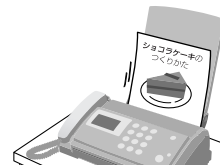
● Fネットでファクスが送られてきたときは
- 本機の呼出音は鳴らずに、自動的に受信します。（加入契約が「G3サービス16 Hz」では鳴ります）
- コピーや登録操作中は、右記メッセージを表示し、約3秒間断続的にブザーが鳴りますが、受信は行いません。その後、再び送られ自動的に受信します。

Fﾈｯﾄ呼出です

留守セットする

お買い上げ時の設定では、お出かけ前に 留守 を点灯させておくだけで、自動的に用件の録音とファクスの受信ができます。

- **応答メッセージをあなたの声で録音できます。**（☞ 54ページ「自作応答メッセージに変える」）

子機で留守セットするには

1. 留守 F2 を押し、＊ を押す
2. 切 を押す

■ **留守番電話の応答中に電話に出るには**

➡ 親機は受話器を取る。（子機は 外線 を押す）
用件録音は途中で止まり、1件分として残ります。

用件録音時間と件数について

- **1件当たりの録音可能時間は2分です。**録音可能時間を変更するには（☞ 83ページ「用件録音時間」）
- **合計約18分、件数では最大50件まで録音できます。**（☞ 103ページ「メモリー容量のめやす」）
  - 録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
  - 録音時間には、通話録音や自作応答メッセージも含みます。
  - メモリー代行受信（☞ 47ページ）しているときや、ファクスのEメール転送（☞ 78ページ）でファクスがメモリーに記憶されているときは、用件録音時間が短くなります。
- メモリーがいっぱいになると、応答メッセージは固定応答メッセージに切り替わります。（☞ 54ページ）
- 6秒以上無音が続いたときや、声が小さいときは、用件を録音できません。

用件を聞く

1 帰ってきたら 留守 を押して消灯させる

➡ 留守セットが解除され、新しく録音された件数・用件・曜日・時刻が再生される

録音した日付・時刻

```
01件目 再生中 03
8月 1日 13:45
```

2 再生が終わると…

```
再生した用件を消去
する=＊ しない=#
```

■再生した新しい用件を消去するとき ➡ ＊ を押す

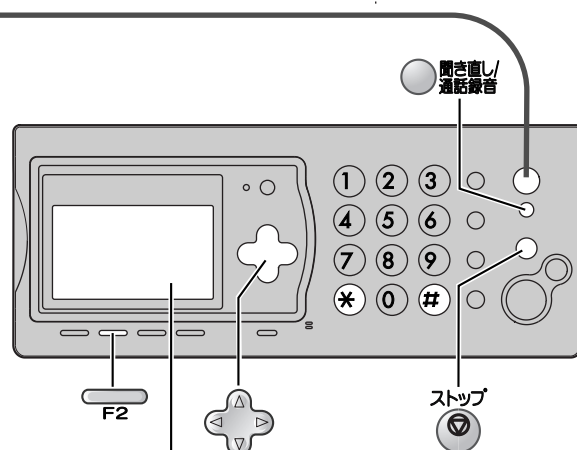
■再生した用件を残すとき ➡ # を押す

子機で用件を聞くには

1. 留守 F2 を押し、0 を押す

● スピーカーホン を押すと、受話口から聞こえます。

2. 終わったら、切 を押す

こんなこともできます

		親機での操作	子機での操作
再生中にできること	音量を調節する	音量/変換 を押す	音量/変換 を押す
	再生中の用件を聞き直す	聞き直し/通話録音 を押す	――――
	次の用件に進んで再生する	進む分だけ ▷ を押す(例：2つ先→2回)	進む分だけ ▷ を押す(例：2つ先→2回)
	前の用件に戻り再生する	戻る分だけ ◁ を押す(例：2つ前→2回)	戻る分だけ ◁ を押す(例：2つ前→2回)
	再生をやめる	ストップ を押す（再び再生するには 聞き直し/通話録音 を押す）	# を押す(再び再生するには 4 を押す)
	再生中の用件を消去する（1件ずつ消去する）	再生中に 用件消去 F2 ＊ と押す	――――
すべての用件を聞き直す		聞き直し/通話録音 を押す	留守 F2 4 と押す

すべての用件を消去する

1 用件消去 F2 を押す

● 再生されていない用件があると、右記が表示される

```
用件全消去
再生されていません
```

2 ＊ を押す

```
すべて消去しますか?
はい=＊ いいえ=#
```

● 消去を中止するとき ➡ # を押す

お知らせ

● **1件ずつ消去するには**

➡ 聞き直し/通話録音 を押し、消去する用件を再生中に 用件消去 F2 ＊ と押す

自作応答メッセージに変える

あなたの声で応答メッセージを録音できます。(自動的に録音したメッセージに切り替わります)
● メモリーがいっぱいのときは、応答メッセージを録音できません。不要な用件を消してから録音してください。

固定応答メッセージに戻すには

録音した自作応答メッセージを消してください。

1. 機能 を押し、# 1 4 8 を押す
2. 決定/登録 F3 を押す

自 作 応 答 消 去

3. ✳ を押す

お知らせ

● **あなたの声で応答メッセージを録音していても、用件録音やファクス受信ができないときは、固定応答メッセージに切り替わります。(☞ 下記)**

固定応答メッセージについて

こんなとき	内容
通常	ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は送信してください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。
用件録音ができないとき • メモリーがいっぱいのとき • 50件録音されているとき	ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。
ファクス受信ができないとき • メモリーがいっぱいのとき • 46枚メモリー代行受信しているとき	ただいま留守にしております。ファクシミリをご利用の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。電話の方は「ピー」という音に続けてお名前とご用件をお話しください。
用件録音やファクス受信もできないとき • 記録紙またはインクフィルムがなく、メモリーもいっぱいのとき	ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください。

お出かけ前に／暗証番号を登録する

外出先から留守番電話の用件を聞くことができます。外出前にあらかじめ暗証番号の登録を行ってください。

1 留守番電話の暗証番号を登録する

2 お出かけ前に、留守セットする

3 外出先から操作する（☞ 56ページ）

留守番電話の暗証番号を登録する

1 機能 を押し、# 0 0 6 を押す

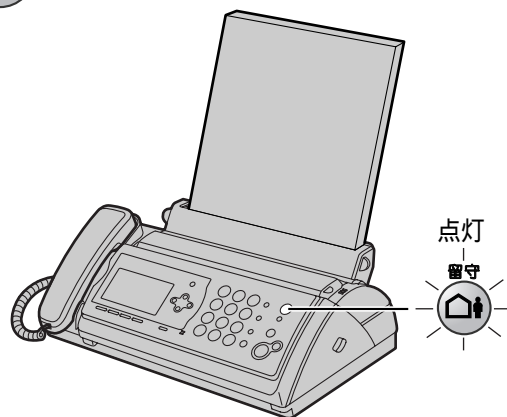
2 **暗証番号を入力し**（4ケタ）、決定/登録 F3 **を押す**

暗 証 番 号 =1234
[4桁]

- * や # は使えません
- **まちがえたとき** → クリアー F1 を押す

3 ストップ **を押す**

お出かけ前に、留守セットする

留守 **を押して点灯させる**

外出先からの電話代節約のために（トールセーバー）

外から電話して、新しい用件の有無を確かめることができる機能です。
「留守着信呼出音の回数」の設定（☞ 82ページ）を「トールセーバー」にしてください。

外から電話をかける

▶ 新しい用件メッセージがあると**呼出音3回以内**で留守番電話が応答します ▶ **暗証番号を押し、用件を聞く**

▶ 新しい用件メッセージがないと**呼出音4〜6回**で留守番電話が応答します

3回目の呼出音が終わったところで電話を切ると通話料金はかかりません

- 通常の呼出音が聞こえたあと、異なる呼出音が2回聞こえますが、この2回の呼出音は回数に関係ありません。

お知らせ

- 留守時の受けかたを「ファクス専用」に変更すると、外出先から用件を聞けません。（☞ 50ページ）

外出先から操作する（留守番電話のリモート操作）

トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機を使って、外出先から留守番電話を操作できます。
● あらかじめ暗証番号の登録が必要です。（☞ 55ページ）

1 外から電話をかける

2 応答メッセージが聞こえている間に 暗証番号を押す

新しい用件があるとき　用件が○件あります
新しい用件がないとき　用件が録音されていません
（終わるには、電話を切る）

3 新しく録音された用件を聞くには 4秒待つ、または 2 を押し、用件を聞く

● 一度聞いた用件は再生されません。何度も聞けるようにするには（☞ 83ページ「留守電リモート繰り返し再生」）

4 電話を切る

再生前の4秒間にできること

● 留守セットを解除する …………… 0 を押す
● 用件転送ができるようにする …… 7 を押す
● 家の人に声で呼びかける（呼びかけ機能）（☞ 右記）…………………………… 8 を押す
（8 を押すごとに約30秒ずつ延長する）
● 用件転送をやめる ………………… 9 を押す

再生中にできること

● 前の用件に戻る …………………… 1 を押す
● 次の用件に進む …………………… 3 を押す
● 遅聞き再生（ゆっくり再生）をする… 4 を押す
● 早聞き再生（早く再生）をする … 5 を押す
● 再生速度を元に戻す …… 4 または 5 を押す
● 再生を中止する …………………… # を押す
● 再生中の用件を消す
…6 を押し、「消去します。6を押してください。」のメッセージのあと再び 6 を押す
● 押しまちがえたとき …正しい番号を押し直す

再生終了後にできること

● すべての用件を聞き直す ………… 4 を押す
（一度聞いた用件も再生されます）
● すべての用件を消す
… 6 を押し、「消去します。6を押してください。」のメッセージのあと再び 6 を押す

呼びかけ機能について

外出先から、家の人に声で呼びかけることができます。家の人は受話器を取らずにマイクに向かってそのまま話ができます。（約30秒間）

お知らせ

● 手順2で「用件が録音されていません」と聞こえても、4秒以内に 4 を押すと、すべての用件の聞き直しができます。
● 用件転送（7、9）は、あらかじめ転送先の登録が必要です。（☞ 57ページ）

外出先から留守セットするには

1. 外から電話をかける
2. 本機が応答したら、メッセージが聞こえている間に暗証番号を押す
3. 電話を切る

留守番電話に録音された用件を転送する

留守番電話に録音された用件を外出先の電話や携帯電話・PHSなどに転送できます。
● あらかじめ暗証番号の登録が必要です。（☞ 55ページ）

転送先の電話番号を登録する

1 親機の 機能 を押し、
 # 1 4 2 を押す

2 ◀▶ を押して「する」を選び、
決定/登録 F3 を押す

用 件 転 送 =する
選 択 は[◀▶]を押 す

3 転送先の電話番号を入力し（24ケタまで）**、**
決定/登録 F3 を押す

転 送 先 =0987654

- **まちがえたとき** ➡ クリアー F1 を押す
- 留守番電話の暗証番号を登録していないときは、暗証番号の入力画面が表示される
  ➡ 4ケタで入力し、決定/登録 F3 を押す

4 ストップ を押す

■用件転送を解除するには
➡ 手順2で「しない」を選ぶ。
■転送先の電話番号を変更するには
➡ 手順3で クリアー F1 を押し、電話番号を入れ直す。

転送先で用件を聞くには

転送先で電話を受けて転送された用件を聞くには、トーン信号（ピッポッパッ）が出せる電話機を使って操作してください。

1 本機の留守番電話に用件が録音されたら、登録された電話番号に本機から電話がかかる
- 約50秒以内に転送先の電話に出ないときは、電話が切れる

2 転送先で電話を受ける

こちらは留守番電話です。用件を転送しますので、暗証番号を入れてください。

3 暗証番号を押す

用件が○件あります。

4 4秒待つ、または 2 を押し用件を聞く

再生します。

5 電話を切る

お知らせ

- **本機で、かかってきた電話を直接転送することはできません。**
  NTTのボイスワープサービスを利用すると、直接転送できます。（ただし、電話もファクスも区別なく転送されます）

  NTTのボイスワープサービスのお問い合わせ先：
  NTT窓口
  ☎ 116（通話料金無料）
  受付時間　9：00～17：00（土・日・祝も受付）
  定休日　　12月29日～1月3日

- **オート再ダイヤル**…転送先が電話に出ないときは、1分間隔で3回まで自動的にかけ直します。
  それでもつながらないときは、さらに30分間隔で3回まで自動的にかけ直します。
- 本機をホームテレホンや構内交換機に接続しているときは、転送できない場合があります。

ナンバー・ディスプレイサービスを使うには

本機は、NTT※の ND ナンバー・ディスプレイ ネーム・ディスプレイ／キャッチホン・ディスプレイ に対応しています。(※NTT：NTT東日本、NTT西日本)

1 **NTTと契約する（有料）**
●**NTT窓口（☞ 右記）にお申し込みください**

2 **ナンバー・ディスプレイ／ネーム・ディスプレイの設定**
➜ 本機の設定は不要です
（**キャッチホン・ディスプレイを利用するときは、本機の設定を行ってください**（☞ 下記））

3 **契約の約2〜3日後にサービスが利用できます**

ナンバー・ディスプレイサービス、ネーム・ディスプレイサービス、キャッチホン・ディスプレイサービスに関するお問い合わせ、お申し込み先：

■**お申し込み**
ＮＴＴ窓口
☎ **116（通話料金無料）**
受付時間　9：00〜17：00
（土・日・祝も受付）
定休日　12月29日〜1月3日

■**お問い合わせ**
ナンバー・ディスプレイカスタマーセンター
フリーダイヤル **0120-848521（通話料金無料）**
受付時間　9：00〜17：00
（月曜〜土曜）

お願い
● **電話機を並列に接続しないでください。**（誤動作の原因になります）

お知らせ
● **NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。** ➜ NTT窓口にお問い合わせください。
● **ISDN回線に接続するとき**
➜ ターミナルアダプターの設定が必要です。（ターミナルアダプターの取扱説明書をお読みください）
● **ホームテレホン、構内交換機に接続するとき** ➜ ナンバー・ディスプレイ機能は使えません。

キャッチホン・ディスプレイの設定をする

NTTへの契約の申し込みを行ってから、設定を「あり」にしてください。サービスが開始されると、通話中にかかってきた相手の電話番号が約30秒間表示され、着信メモリーに記憶されます。

1 機能 **を押し、** # 1 3 7 **を押す**

2 ◆ **を押して「あり」を選び、**

決定/登録 F3 **を押す**

```
ｷｬｯﾁ ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ=ｱﾘ
 選択は[◀▶]を押す
```

「あり」：利用するとき
「なし」：利用をやめるとき

3 ストップ **を押す**

ナンバー・ディスプレイサービスの利用をやめるとき

NTTへの解約の連絡を行ってから、設定を「なし」にしてください。

1 機能 **を押し、** # 1 3 3 **を押す**

2 ◆ **を押して「なし」を選び、**

決定/登録 F3 **を押す**

```
ﾅﾝﾊﾞｰ・D=ﾅｼ
 選択は[◀▶]を押す
```

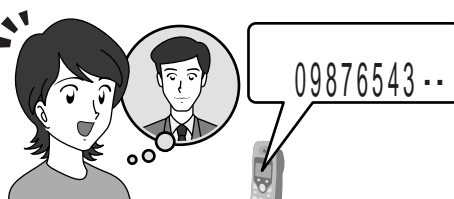
「自動」：サービスが利用できるようになると、自動的に「あり」になります（お買い上げ時の設定）
「あり」：利用するとき
「なし」：利用をやめるとき

3 ストップ **を押す**

お知らせ
● **再度、ナンバー・ディスプレイサービスを利用するときは、**NTTと契約を行ったあと、手順2で「自動」または「あり」を選んでください。

電話がかかってくると

電話がかかってくると、相手の電話番号が表示されます

（親機）　（子機）

09876543・・

■電話帳に登録した相手の場合
➡ 名前も表示する

（親機）
木 村
09876543・・

（子機）
木 村
09876543・・

■ネーム・ディスプレイをご利用の場合
➡ 名前（最大10文字）と電話番号を表示する
(電話帳に登録した相手のときは、電話帳の名前が表示されます)

松 下 太 郎
09876543・・

松 下 太 郎
09876543・・

●**ネーム・ディスプレイで名前が表示されないとき**
➡ かけてきた相手が名前を表示するようにNTTに申し込んでいないことがあります。

お知らせ

- **ネーム・ディスプレイをご利用の場合は、本機で表示できない漢字があると、自動的に「※」に変わります。**
- **ネーム・ディスプレイは、地域によっては利用できない場合があります。お問い合わせは、NTTナンバー・ディスプレイカスタマーセンターへ。（☞ 58ページ）**
- **相手の電話番号を表示できない場合は、ディスプレイに下記が表示されます。**

表示	説明
非 通 知	…非通知でかかってきたとき
公 衆 電 話	…公衆電話からかかってきたとき
表 示 圏 外	…海外や一部の携帯電話などからかかってきたとき
表 示 でﾞ きません	…回線状況が悪かったときなど（子機は 外 線 着 信 中 と表示されます）

こんなことができます

■**着信メモリー**…かけてきた相手（ファクス・留守番電話も含む）の電話番号を記憶します（☞ 60ページ）
■**迷惑電話着信拒否**（☞ 61ページ）
■**非通知着信拒否**…相手が非通知でかけてきた電話やファクスを受けない（☞ 62ページ）
■**公衆電話着信拒否**（☞ 62ページ）
■**着信鳴り分け**（☞ 63、64ページ）

電話番号を通知して電話をかける

下記の2種類があります。
■NTTに「通常通知（通話ごと非通知）」を申し込む

■NTTに「通常非通知」を申し込んでいる場合

1 「186」をダイヤルする

2 「プププ…」音が聞こえたら、相手先をダイヤルする

電話番号を通知せずに電話をかける

下記の2種類があります。
■NTTに「通常非通知（回線ごと非通知）」を申し込む

■NTTに「通常通知」を申し込んでいる場合

1 「184」をダイヤルする

2 「プププ…」音が聞こえたら、相手先をダイヤルする

お知らせ

- 「通常通知」、「通常非通知」に関するお問い合わせは、NTT窓口へ。（☞ 58ページ）
- 名前も通知したいときは、「発信者名」を通知するようにNTT窓口に申し込んでください。
- 発信電話番号を通常通知・通常非通知のどちらにしているか確かめたいときや、発信者名の通知に関するお問い合わせは、NTTナンバー・ディスプレイカスタマーセンターへ。（☞ 58ページ）

かけてきた相手の電話番号を見る／使う（着信メモリー）

かけてきた相手の電話番号・日付・時刻が親機のメモリーに記憶され、あとで見たり、電話をかけたりできます。
- ネーム・ディスプレイをご利用の場合は、かけてきた相手が名前を表示するようにNTTに申し込んでいると、名前も表示されます。（☞ 59ページ）
- **最大30件まで記憶できます。**

親機

1 着信メモリー F4 **を押す**

電話に出なかった件数

```
新 規 (*マーク)      1件
   検 索 は[ ▼▲ ] を押 す
```

2 ▲▼ **を押す**

- 押すごとに新しいデータから古いデータに切り替わる

電話に出なかったときに表示

```
* 8月  1日 16:30
09876543‥
```

↓

電話帳の相手やネーム・ディスプレイ利用中は、名前も表示

```
  8月  1日  9:30
木 村
```

3 ■**電話をかけるには**

受話器を取る

■**ファクスを送るには**

原稿を入れ、 スタート ファクス **を押す**

■**終わるには**

ストップ **を押す**

- 検索がすべて終わっていなくても「＊」が消える

子機

1 保留 着信メモリー **を押す**

電話に出なかった件数

着信メモリーの件数

```
新 規 (*)     1件
着 信        10件
[ ▼▲ ] を 押 す
```

2 ▲▼ **を押す**

- 押すごとに新しいデータから古いデータに切り替わる

3 ■**電話をかけるには**

外線 **を押す**

■**終わるには**

切 **を押す**

- 検索がすべて終わっていなくても「＊」が消える

こんなこともできます（親機）

■**電話帳に登録する**

➡ 手順2で相手を選び、決定/登録 F3 ＊ と押し、登録操作をする。（☞ 36ページの手順3へ）

■**選んだ相手だけを消す**

➡ 手順2で相手を選び、クリアー F1 ＊ と押す。

■**着信メモリーをすべて消す**

➡ 着信メモリー F4 クリアー F1 ＊ と押す。

■**着信リスト（着信履歴）をプリントする**

➡ 着信メモリー F4 スタート と押す。

こんなこともできます（子機）

■**電話帳に登録する**

➡ 手順2で相手を選び、登録 F1 を押し、登録操作をする。（☞ 38ページの手順3へ）

■**選んだ相手だけを消す**

➡ 手順2で相手を選び、内線 クリアー はい F1 と押す。

■**着信メモリーをすべて消す**

➡ 保留 着信メモリー 内線 クリアー はい F1 と押す。

お知らせ

- 着信した日付・時刻は親機、子機とも親機に登録されている時刻によって記憶されます。
- 「非通知」「公衆電話」「表示圏外」の場合も着信メモリーに記憶されます。
  「表示できません」（子機は「外線着信中」）の場合は、記憶されません。
- **「184」や「186」をつけてかけたいとき（親機のみ）**
  1. 「184」または「186」をダイヤルし、Eメール **（ポーズ）** を押す。
  2. 着信メモリー F4 を押し、▲▼ を押して相手を選び、受話器を取る。

いやな相手の電話を受けないようにする（迷惑電話着信拒否）

特定の相手からの電話やファクスを受けないようにできます。
● **最大30件まで登録できます。**

着信メモリーから迷惑電話に登録する

1 着信メモリー（F4）**を押す**

2 ◁▷△▽ **を押して相手を選ぶ**

3 決定/登録（F3）**を押す**

4 ＃ **を押す**

電話帳 =＊
迷惑　 =#

5 決定/登録（F3）**を押す**

● **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順2へ

6 ストップ **を押す**

迷惑電話に登録する

1 機能 **を押し、** ＃ ① ③ ⑥ **を押す**

2 ◁▷ **を押して「あり」を選び、** 決定/登録（F3）**を押す**

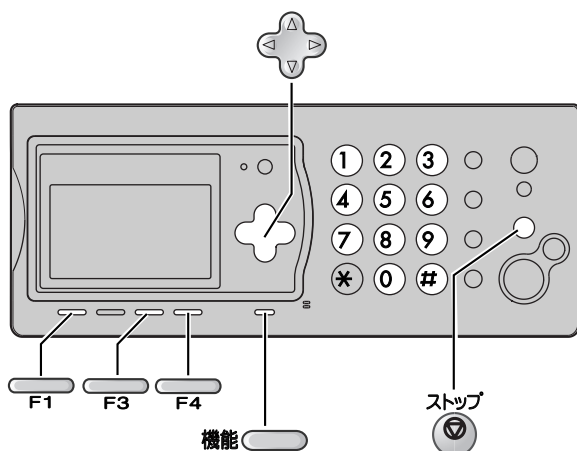
迷惑拒否 =あり
選択は[◀▶]を押す

3 **相手の電話番号を入力し**(20ケタまで)、決定/登録（F3）**を押す**

TEL01=09876543█

● **まちがえたとき** ➡ クリアー（F1）を押す
● **続けて登録するとき** ➡ 手順3を繰り返す

4 ストップ **を押す**

■ **修正・追加するには**
➡ 手順3で◁▷△▽を押して修正する番号や空き番号を選ぶ。

着信拒否した相手がかけてきたとき

呼出音は鳴りません。相手に「プープープー」と話し中の音が聞こえます。
(ISDN回線でご利用の場合、ターミナルアダプターによっては、話し中の音にならないときもあります)

■ **迷惑電話着信拒否をすべて解除するには**
➡「迷惑電話に登録する」の手順2で「なし」を選ぶ。

■ **迷惑電話着信拒否を個別に解除するには**
➡「迷惑電話に登録する」の手順3で◁▷△▽を押して相手の番号を表示させ、クリアー（F1）を押して番号を消す。

お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイでは、迷惑電話着信拒否できません。

非通知の電話やファクスを受けないようにする（非通知着信拒否）

相手が非通知でかけてきた電話やファクスを、本機で受けないようにできます。
（かけてきた相手には通話料金がかかります）

1 **親機の 機能 を押し、# 1 8 4 を押す**

2 **◀▶を押して「する」を選び、決定/登録 F3 を押す**

非通知拒否=する
選択は[◀▶]を押す

3 **ストップ を押す**

相手が非通知でかけてきたとき

呼出音は鳴りません。
相手に下記のメッセージを2回流したあと、電話が切れます。

あなたの電話番号は通知されていません。
恐れ入りますが、電話番号の前に「186」をつけて、おかけ直しください。

公衆電話を受けないようにする（公衆電話着信拒否）

公衆電話でかけてきた電話を、本機で受けないようにできます。
（かけてきた相手には通話料金がかかります）

1 **親機の 機能 を押し、# 1 8 6 を押す**

2 **◀▶を押して「する」を選び、決定/登録 F3 を押す**

公衆電話拒否=する
選択は[◀▶]を押す

3 **ストップ を押す**

相手が公衆電話でかけてきたとき

呼出音は鳴りません。
相手に下記のメッセージを2回流したあと、電話が切れます。

公衆電話からはおつなぎできません。
恐れ入りますが、公衆電話以外から、おかけ直しください。

■非通知着信拒否や公衆電話着信拒否を解除するには

➡ それぞれ、手順2で「しない」を選ぶ。

お知らせ

- 「表示圏外」、「表示できません」（子機は「外線着信中」）と表示されたときは、着信拒否できません。
- 相手が非通知や公衆電話でかけてくると、相手にメッセージを流しているときに親機のディスプレイに「非通知」や「公衆電話」と表示されます。親機では、表示中に電話に出たり、ファクスを受信することができます。
- 非通知や公衆電話でかかってきた電話やファクスも、着信メモリーに記憶されます。
- キャッチホン・ディスプレイでは、非通知着信拒否、公衆電話着信拒否できません。

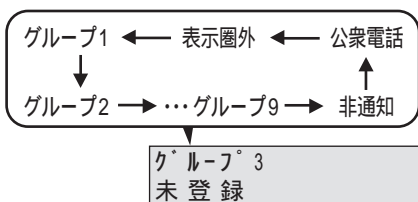
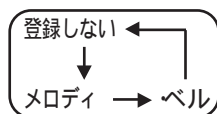
相手によって親機の呼出音／バックライト色を変える（着信鳴り分け）

電話帳に登録したグループ（1～9）・非通知・公衆電話・表示圏外（表示できない相手）からの電話の呼出音や液晶ディスプレイの色（バックライト色）を、それぞれ変えることができます。

● あらかじめ、電話帳の電話番号をグループに分けて登録してください。（☞ 36ページ）

1 機能 を押し、# 1 3 5 を押す

2 決定/登録 F3 を押す

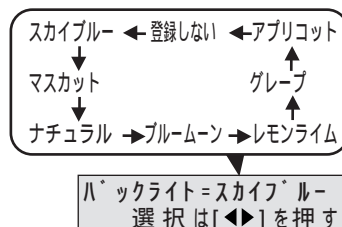
3 を押して鳴り分けする相手を選び、決定/登録 F3 を押す

4 を押して「ベル」または「メロディ」を選び、決定/登録 F3 を押す

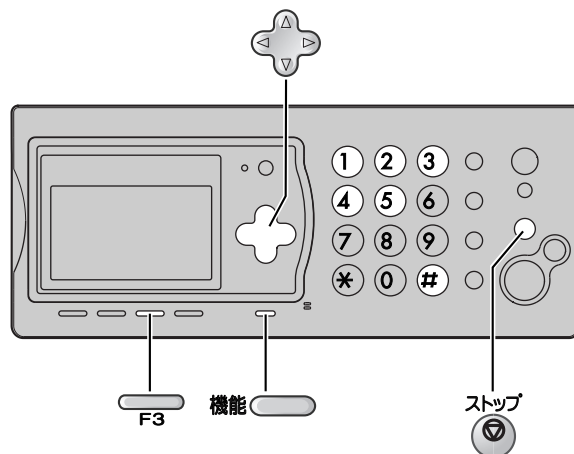
● 「登録しない」を選ぶと、88ページ「呼出音を変更する」で選んだ設定に戻る

5 **呼出音の番号を入力し**（ベル：1～5、メロディ：1～4）、決定/登録 F3 を押す

ﾒﾛﾃﾞｨ=1
[1-4]を押 す

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる
● 呼出音の種類 ➡ 88ページ「呼出音を変更する」

6 を押してバックライト色を選び、決定/登録 F3 を押す

● 「登録しない」を選ぶと、87ページ「バックライト色を変更する」で選んだ設定に戻る
● **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順3へ

7 ストップ を押す

■ **着信鳴り分けを解除するには** ➡ 手順4と手順6で「登録しない」を選ぶ。

お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイでは、着信鳴り分けできません。
● 手順6でバックライト色を登録すると、着信メモリー・電話帳・短縮ダイヤルの検索中に鳴り分けにした相手が表示されると、バックライト色も変わります。
● お買い上げ時は、操作内容によっても自動的にバックライト色が変わります。（☞ 87ページ「バックライト色を変更する」）
● 色の名称はバックライト選択時のめやすであり、本体のバックライトからイメージした愛称を採用しています。

相手によって子機の呼出音を変える（着信鳴り分け）

電話帳に登録したグループ（1〜9）・非通知・公衆電話・表示圏外（表示できない相手）からの電話の呼出音を、それぞれ変えることができます。

● あらかじめ、電話帳の電話番号をグループに分けて登録してください。（☞ 38ページ）

1 機能 F1 **を押し、下記の表示になるまで**

を押す

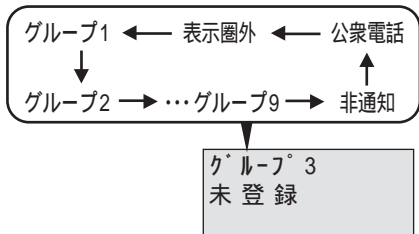
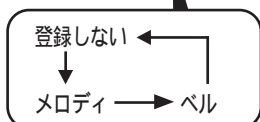
エニーキー アンサー
着 信 鳴 り 分 け
電 話 帳 転 送

2 決定 F1 **を押す**

3 **を押して鳴り分けする相手を選び、**

変更 F1 **を押す**

グ ル ー プ 3
未 登 録

4 **を押して「ベル」または「メロディ」を選び、** 決定 F1 **を押す**

呼 出 音
登 録 し な い
メ ロ デ ィ

● 「登録しない」を選ぶと、88ページ「呼出音を変更する」で選んだ設定に戻る

5 **呼出音の番号を入力し**

（ベル：1〜5、メロディ：1〜4）、

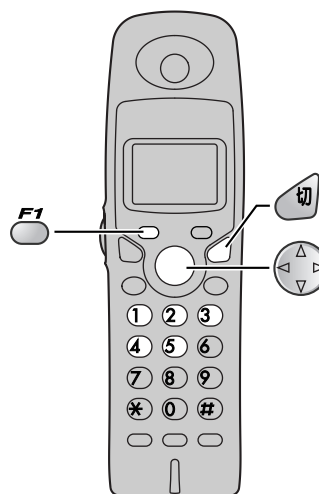
登録 F1 **を押す**

メロディ=1
愛 の 挨 拶
［1－4］を 押 す

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる

● 呼出音の種類 ➡ 88ページ「呼出音を変更する」

● **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順3へ

6 切 **を押す**

■ **着信鳴り分けを解除するには** ➡ 手順4で「登録しない」を選ぶ。

お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイでは、着信鳴り分けできません。

モデムダイヤルインサービスを使うには

本機は、NTT※のモデムダイヤルインサービスに対応しています。（※NTT：NTT東日本、NTT西日本）
モデムダイヤルインサービスでは、１つの電話回線に複数の電話番号を持つことができます。

1 NTTと契約する（有料）
●NTT窓口（☞ 右記）にお申し込みください

2 NTTからのサービス開始の通知を待つ

3 サービス開始の日時に合わせて本機の設定を行う

モデムダイヤルインサービスに関するお問い合わせ先：

NTT窓口
☎ 116（通話料金無料）

受付時間　9：00～17：00
（土・日・祝も受付）
定休日　12月29日～1月3日

お願い

- **サービスには、「モデムダイヤルインサービス」と「ダイヤルインサービス」があります。必ず「モデムダイヤルインサービス」で契約してください。**
  「ダイヤルインサービス」をご利用の場合は、モデムダイヤルインサービスに変更してください。（有料）
- **電話機を並列に接続しないでください。**（誤動作の原因になります）

お知らせ

- **NTTの他のサービスと同時に使えなかったり、地域によっては利用できない場合があります。**
  ➡ NTT窓口にお問い合わせください。
- **ISDN回線に接続するとき**
  ➡ 本機を主番号（電話を取り付けたとき、NTTと契約した電話番号）に設定したアナログポートに接続してください。ターミナルアダプターの設定も必要です。（ターミナルアダプターの取扱説明書をお読みください）
- **ホームテレホン、構内交換機に接続するとき** ➡ モデムダイヤルインサービスは使えません。
- モデムダイヤルインは1本の電話回線を使用していますので、2つの電話番号を同時に使うことはできません。
- 相手が電話をかけてきたとき、モデムダイヤルインサービスを利用する前と比べてつながるまでに多少時間がかかります。（呼出音が鳴るまでに無音が約4秒～10秒続きます）
- モデムダイヤルインサービスを利用すると、トールセーバー（☞ 55ページ）がうまくはたらかないことがあります。

2つの電話番号を「電話専用番号」と「ファクス専用番号」で使う（設定のしかた ☞ 66ページ）

■相手が電話専用番号に電話をかけてくると…
➡ 呼出音が鳴る

- ファクスの受信や留守番電話への録音もできます。

■相手がファクス専用番号にファクスを送ってくると…
➡ 呼出音を鳴らさずに自動的に受信する

- 電話に出たり、用件の録音はできません。

電話番号を「親機専用番号」と「子機専用番号」で使う（設定のしかた ☞ 66ページ）

子機を増設してすべての子機（最大4台）と親機の電話番号を変えると、最大5つの電話番号が持てます。

■相手が親機専用番号に電話をかけてくると…
➡ 親機の呼出音が鳴る

- 子機で電話に出ることは、できません。
- ファクスの受信や留守番電話への録音もできます。

■相手が子機専用番号に電話をかけてくると…
➡ 子機の呼出音が鳴る

- 親機で電話に出ることはできません。
- ファクスの受信や留守番電話への録音はできません。

モデムダイヤルインを使えるように設定する

モデムダイヤルインを使うには、下記のいずれかを設定してください。

- **必ず、モデムダイヤルインサービスが開始されてからすぐに行ってください。サービスが開始される前に本機の登録を行ったときや、サービスが開始されても本機の登録を行っていないときは、電話やファクスを受けることはできません。**

「電話専用番号」と「ファクス専用番号」で使えるように設定する

- 電話専用番号には、主番号（電話を取り付けたとき、NTTと契約した電話番号）を登録してください。
- ファクス専用番号には、新しく与えられた番号を登録してください。

1 機能 を押し、# 1 3 1 を押す

2 ◀▶ を押して「TEL/FAX」を選び、決定/登録（F3）を押す

```
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=TEL/FAX
  選択は[◀▶]を押す
```

3 電話専用番号の下4ケタを入力し、決定/登録（F3）を押す

```
TEL=4321
        [4桁]
```

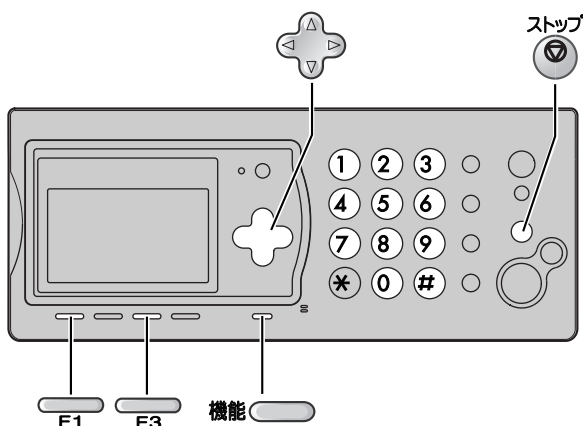
- まちがえたとき ➡ クリアー（F1）を押す

4 ファクス専用番号の下4ケタを入力し、決定/登録（F3）を押す

```
FAX=4320
        [4桁]
```

- まちがえたとき ➡ クリアー（F1）を押す

5 ストップ を押す

- 使いかた（☞ 65ページ）

「親機専用番号」と「子機専用番号」で使えるように設定する

- 親機専用番号には、主番号（電話を取り付けたとき、NTTと契約した電話番号）を登録してください。
- 子機専用番号には、新しく与えられた番号を登録してください。

1 機能 を押し、# 1 3 1 を押す

2 ◀▶ を押して「親/子」を選び、決定/登録（F3）を押す

```
ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ=親/子
  選択は[◀▶]を押す
```

3 電話専用番号の下4ケタを入力し、決定/登録（F3）を押す

```
親機=4321
        [4桁]
```

- まちがえたとき ➡ クリアー（F1）を押す

4 子機専用番号の下4ケタを入力し、決定/登録（F3）を押す

```
子機1=4320
        [4桁]
```

- まちがえたとき ➡ クリアー（F1）を押す

- **2台目以降の子機は手順4を繰り返す**

```
子機2=■...
        [4桁]
```

5 ストップ を押す

- 使いかた（☞ 65ページ）

お知らせ

- 2台目以降の子機には、親機専用番号（主番号）と子機専用番号のどちらでも登録できます。
- モデムダイヤルインサービスを利用後に子機を増設すると、自動的に親機専用番号が登録されます。変更するときは、上記手順で登録してください。

お願い

- モデムダイヤルインサービスを解約するときは、NTTに連絡してNTT側の工事が終了してから、手順2で「なし」に変更してください。工事終了後に変更しないと、ファクスや電話を受けることができなくなります。

おたっくすEメールを使うには

親機を使って、パソコンや携帯電話（Eメール対応）などと、Eメールのやり取りができます。

1 クレジットカード（VISA、JCB、MASTERのいずれか）を準備する

（2003年6月現在）

● **ご利用料金は、ご登録いただいたクレジットカード会社から請求されます。**

2 パナソニック コミュニケーションズ株式会社と「おたっくす情報サービス」の契約（有料）をする

● 申し込みのしかた
（☞ 68ページ「ユーザー登録」）

● すでに「おたっくす情報サービス」にお申し込みの方で、本機を新しく買い替えられた方（☞ 70ページ「変更登録手続き」）

おたっくすEメールに関するお問い合わせ先：
通信サービスサポートセンター
☎ (092) 832-3322 (通話料金有料)

受付時間　9：00～12：00、13：00～17：00（月曜～金曜）
定休日　土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏期休暇などパナソニック コミュニケーションズ株式会社の休日
Eメール　p110@fem.dion.ne.jp

● お問い合わせのEメールには、お客様のお名前と連絡先電話番号および、機種品番を明記してください。

利用料金（税別）

2003年6月現在

登録料	500円（新規契約時のみ）		
基本料金	無料		
情報料（通話料含む）	通常の情報料（Eメール送受信）	8時～23時	23時～8時
		20円／1分毎	18.5円／1分毎

● おたっくすEメールの利用料金は、ご登録いただいたクレジットカード会社（VISA、JCB、MASTERのいずれか、2003年6月現在）からの請求となります。電話会社からの通話料請求はありません。

● 請求金額が300円未満のときは、翌月以降へ繰り越して計上し、300円以上に達した月に請求されます。

● このサービスのご利用料金をお客様が支払われなかった場合には、サービス提供を停止させていただくことがあります。

お知らせ

● 本サービスの契約は、添付の「おたっくす情報サービス契約約款」によります。

● **パソコンを使ってインターネットからの申し込みもできます。（ネットで設定）**
➡ 81ページ「お知らせ」の「パソコンで『おたっくす情報サービス』を申し込むとき」
「おたっくす情報サービスご利用申込書」記入などのユーザー登録は不要となります。

● **ホームテレホン、構内交換機に接続するとき** ➡ おたっくすEメールは使えません。

● 通信中にキャッチホンの信号が入ると、エラーになることがあります。

こんなことができます

申し込み（ユーザー登録）のしかた

パナソニック コミュニケーションズ株式会社と「おたっくす情報サービス」の契約（有料）をします。

1 添付の「おたっくす情報サービスご利用申込書」に記入する

● ご利用申込書を紛失した場合は、104ページの「ファクス情報サービス」で取り出せます

ISDN、モデムダイヤルインをご利用の場合は…

● 電話番号を複数ご契約の方は、最初にNTTと契約した主契約番号で登録してください。
後から追加した電話番号では、おたっくす情報サービスはご利用できません。

（申込書の様式は変更になることがあります）

2 機能 を押し、Eメール を押す

3 決定/登録 F3 を押す

ユーザ゛ー登録

4 クレジットカード情報を入れる

① カードの番号を入力し（16ケタ）、

決定/登録 F3 を押す

クレシ゛ットカート゛No.?
█...-....-....-.

● まちがえたとき ➡ クリアー F1 を押す

② 再度、カードの番号を入力し、

決定/登録 F3 を押す

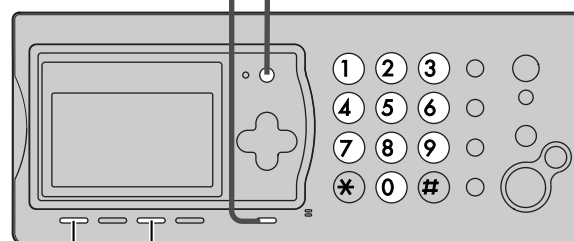
確認のため もう一度
█...-....-....-.

③ カードの有効期限を入力し、

決定/登録 F3 を押す

有効期限?
█./..(月/年)

● 有効期限は、クレジットカードに記載されています

● まちがえたとき ➡ クリアー F1 を押す

5 記入済みの「おたっくす情報サービスご利用申込書」を本機にセットし、決定/登録 F3 を押す

➡ おたっくすサーバーに接続し、データ通信が始まる

● お客様の電話番号がパナソニック コミュニケーションズ株式会社へ通知されますので、ご了承ください

6 約5分後、電話がかかってくる
電話に出て「ピポピポ…」音のあと、「Eメール通信を開始しますので、電話を切ってお待ちください」とメッセージが聞こえたら、受話器を戻す

データ通信が始まり、「ユーザー登録完了」案内がプリントされる

- データ通信中は、 Eﾒｰﾙ認 証 中 が表示されます
- **Eメールランプが点灯すると、おたっくすEメールが使えるようになります**
- 「ユーザー登録完了」案内の例（2003年6月現在）

////////////////　「ユーザー登録完了」案内　////////////////

こちらはパナソニック コミュニケーションズ株式会社です。

このたびは、「おたっくす情報サービス」にお申し込みいただきましてありがとうございます。
おたっくすEメールのご利用が可能になりましたので、お知らせいたします。

あなたの電話番号　：　○○○○○○△△△△

◆あなたの
Eメールアドレス　：　p××××△△△△@fem. dion. ne. jp

◆あなたの
セキュリティID　：　□□□□

あなたのセキュリティID

あなたのEメールアドレス

（例）

p××××△△△△@fem. dion. ne. jp

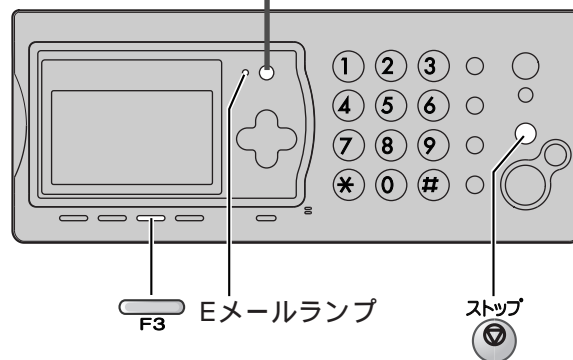
ユーザー名：お客様専用に、パナソニック コミュニケーションズ株式会社が設定します

ドメイン名：おたっくす情報サービスの登録者全員に、共通して付与されます

- **ユーザー名は、変更できます**

➡ 80ページの拡張サービスの一覧を取り出し、「Eメールアドレス変更」をご利用ください

7 Eﾒｰﾙ を押し、決定/登録 F3 を押して
最新のサービス情報を受信する

- おたっくすEメールの最新のサービス情報「情報サービス案内」がEメールで届いていますので、受信します
- 情報料（通話料含む）がかかります

■ 1回目と2回目の番号が違います **が表示されたとき** ➡ クレジットカードの番号を入れ直してください。

■ 登録に失敗しました **が表示されたとき** ➡ 最初からやり直してください。

■ Eﾒｰﾙ認 証 中 **表示中に急用などで電話をかけたいとき**

➡ 「ピー」と鳴るまで ストップ を押してください。（データ通信は、再度自動的に行われます）

お願い

- **「ユーザー登録完了」案内には、あなたのEメールアドレス、セキュリティIDなどが書かれていますので、大切に保管してください。忘れないように、裏表紙の「おたっくすEメールお客様メモ」に記録してください。**

お知らせ

- **Eメールアドレスは、変更できます。**
➡ 80ページの拡張サービスの一覧を取り出し、「Eメールアドレス変更」をご利用ください。
- **クレジットカードが使えない場合** ➡ ファクスにてお知らせします。

転居（電話番号変更）・買い替え・修理・クレジットカード変更のとき（変更登録手続き）

おたっくすEメールを利用していて転居などで電話番号が変わったとき、買い替えたとき、修理後おたっくすEメールが使えなくなったとき、クレジットカード変更のときは、変更登録手続きを行ってください。

●**Eメールアドレス、セキュリティID、「拡張サービス」の設定（着信通知サービス、Eメールアドレス変更など）は、そのまま継続して利用できます。**

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで ◁▷ を押し、決定/登録 F3 を押す

ﾕｰｻﾞｰ変更登録

3 電話番号を入れる

■ 電話番号を変更しないとき

\# を押し、手順4へ

電話番号の変更？
はい=＊ いいえ=#

■ 電話番号を変更するとき

❶ ＊ を押す

電話番号の変更？
はい=＊ いいえ=#

❷ 前の電話番号を市外局番から入力し、決定/登録 F3 を押す

今までの電話番号
0654321・・・・・

● 今までの電話番号が表示されることがあります

4 クレジットカード情報を入れる

■ カードを変更しないとき

\# を押し、手順5へ

ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの変更？
はい=＊ いいえ=#

■ カードを変更（新規に登録）するとき

❶ ＊ を押す

ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞの変更？
はい=＊ いいえ=#

❷ 新しいカードの番号を入力し（16ケタ）、決定/登録 F3 を押す

ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞNo.？
....-....-....-.

❸ 再度入力し、決定/登録 F3 を押す

確認のため もう一度
....-....-....-.

❹ 有効期限（月／年）を入力し、決定/登録 F3 を押す

有効期限？
../..(月/年)

● 有効期限は、クレジットカードに記載されています

5 あなたのEメールアドレスの「@」より左側を入力し（8ケタ）、決定/登録 F3 を押す

ﾕｰｻﾞｰ=p1234・・・・
[8桁]

6 あなたのセキュリティIDを入力し（4ケタ）、決定/登録 F3 を押す

ｾｷｭﾘﾃｨID=....
[4桁]

7 決定/登録 F3 を押す

ｻｰﾊﾞｰに接続します
接続は[F3]を押す

➡ 変更のデータ通信が始まる

● 通信が終わって約5分後、呼出音が鳴り、「変更登録手続き完了」案内が送られてくると、おたっくすEメールが使えるようになります

■ **まちがえたとき** ➡ クリアー F1 を押して入れ直す。

■ 「1回目と2回目の 番号が違います」 **が表示されたとき** ➡ クレジットカードの番号を入れ直してください。

■ 「登録に失敗しました」 **が表示されたとき** ➡ 最初からやり直してください。

お知らせ

● **クレジットカードが使えない場合** ➡ ファクスにてお知らせします。

ユーザー登録を解約するとき

「おたっくす情報サービス」のユーザー登録を解約するときは、下記の操作を行ってください。

- **本機でまだ受信していないEメールも消去されますので、解約を行う前にEメールを受信してください。**
- **解約すると、本機に記憶しているファクスのEメール転送データ（☞78ページ）も消去されます。**

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで ◁▷ を押す

Eメール解約 =オフ
選択は[◀▶]を押す

3 ◁▷ を押して「オン」を選び、

決定/登録 F3 を押す

Eメール解約 =オン
選択は[◀▶]を押す

4 ＊ を押す

解約しますか?
はい=＊ いいえ=#

➡ 解約のデータ通信が始まる

■ ファクス転送データを すべて消去します **が表示されたとき**

➡ ファクスのEメール転送データ（☞78ページ）も消去されます。
を押すと、データの消去と解約を中止します。

■ 解約できませんでした **が表示されたとき**

➡ 最初からやり直してください。

お知らせ

- 解約では、情報料（通話料含む）はかかりません。再度登録すると、登録料がかかります。

本機を使わなくなったとき

（Eメール初期化）

下記の操作を行ってください。
この操作を行わないと、本機を他の人に譲ったときなどに、おたっくすEメールの利用料金が登録されているお客様に請求されることがあります。

- **初期化をしても、「おたっくす情報サービス」のユーザー登録は解約されません。解約するときは、初期化の前に行ってください。**
- **初期化すると、Eメールアドレス帳・ドメイン名・定型文・ファクスのEメール転送データも消去されます。**

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで ◁▷ を押す

Eメール初期化 =オフ
選択は[◀▶]を押す

3 ◁▷ を押して「オン」を選び、

決定/登録 F3 を押す

Eメール初期化 =オン
選択は[◀▶]を押す

4 ＊ を押し、

ストップ を押す

初期化しますか?
はい=＊ いいえ=#

■ ファクス転送データを すべて消去します **が表示されたとき**

➡ ファクスのEメール転送データ（☞78ページ）も消去されます。
を押すと、データの消去と初期化を中止します。

Eメールを受ける

Eメールを受信するには、受信の操作が必要です。
おたっくすEメール申し込み時は、Eメールが届いていることをお知らせできません。
Eメールを自動的に受信したり、Eメールが届いていることをお知らせするには、80ページの拡張サービスの一覧を取り出し、「着信通知サービス」（有料）をご利用ください。

■ **途中で受信をやめるとき**

➡ ストップ を押す。

■ 受信できませんでした Eﾒｰﾙ ××件 **が表示されたとき**

➡ 再度、受信してください。

お知らせ

- 受信操作を行うと、Eメールがない場合でも、10円／1分毎（8時～23時）、8.5円／1分毎（23時～8時）の情報料（通話料含む）がかかります。
- 拡張サービスの「着信通知サービス」をご利用の場合は、「在宅着信呼出音の回数」の設定（☞ 82ページ）を「自動応答しない」に設定しないでください。（設定すると、着信通知ができません）
- 受信済みのEメールは約1週間保存されます。

Eメールランプについて

	点灯	**おたっくすEメールを利用できます**
	点滅	**新しいEメールが届いています** （Eメールの送信などをしたときに、Eメールが届いていると点滅します） ➡ **受信してください**（受信すると点灯に変わります）
	消灯	**おたっくすEメールを利用できません** ●ユーザー登録（☞ 68ページ）を行ってください。すでにおたっくすEメールにご加入の場合は、変更登録手続き（☞ 70ページ）を行ってください。

受信できる添付ファイルについて

Eメールには書類などが添付されている（添付ファイル）ことがあります。本機では、下記のファイル形式を受信できます。（2003年6月現在）

画像ファイル　　：JPEG（〜.jpg、〜.jpeg）、TIFF（非圧縮形式）（〜.tif、〜.tiff）、BMP（〜.bmp）
テキストファイル：TXT（テキスト形式）（〜.txt）
文書ファイル　　：〜.doc（Microsoft® Word 2000／2002 for Windows® 形式の文書）
　〜.xls（Microsoft Excel 2000／2002 for Windows形式の文書）
　〜.ppt（Microsoft PowerPoint® 2000／2002 for Windows形式の文書）
　〜.pdf（Adobe Acrobat® 4.0J形式の文書）

- 添付ファイルの用紙サイズによっては、受信できないことがあります。
- 受信できない添付ファイルがあると、Eメールでお知らせします。

未受信Eメールの一覧を受信する

未受信EメールのEメールアドレス、タイトル、送信された日付・時刻を確認できます。

- 10円／1分毎（8時〜23時）、8.5円／1分毎（23時〜8時）の情報料（通話料含む）がかかります。

1 Eメール **を押す**

2 **右記の表示になるまで** ◁▷ **を押す**

3 決定/登録 F3 **を押す**

➡ 未受信のEメールがあると、一覧がプリントされる

お知らせ

- **不要なEメールを受信せずに削除できます。**
  ➡ 80ページの拡張サービスの一覧を取り出し、「未受信Eメールの個別削除」をご利用ください。

文字Eメールを送る

ダイヤルボタンで入力した文字メッセージを、Eメールで送れます。

1 Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押し、

決定/登録 F3 を押す

文 字 Eﾒｰﾙ送 信

3 相手のEメールアドレスを入力し
(最大5人、合計半角129文字まで)、
決定/登録 F3 を押す

ｱﾄﾞﾚｽ1?
yuki@△△△.def.gh

● 文字入力のしかた（☞32ページ）

便利な入力のしかた

● **前回のEメールアドレスを入力するには**
➡ カーソルが先頭の位置で 再ダイヤル を押す
● 「アドレス1」のみ入力できます

● **複数の相手に送るには（同報送信）**
➡ 手順3を繰り返す
● 5人目を入力すると、タイトル入力画面（☞ 手順5）になります

● **Eメールアドレス帳**（☞ 75ページ）**を使って送るには**
➡ 1. カーソルが先頭の位置で 電話帳 を押す
2. を押して相手を選ぶ
● 名前の頭文字を入力して で選ぶこともできます
3. 決定/登録 F3 を押す

● **ドメイン名**（☞ 76ページ）**を使うには**
➡ 1.ユーザー名（@より左側）を入力する
2.下記の表示になるまで
文字切替 F4 を押す

ﾄﾞﾒｲﾝ名 1
@fem.dion.ne.jp

3. を押して選び、決定/登録 F3 を押す

4 決定/登録 F3 を押す

5 タイトルを入力し（全角16文字／半角32文字まで）、
決定/登録 F3 を押す

予 約 の件
>_

● 文字入力のしかた（☞ 32ページ）

便利な入力のしかた

● **前回のタイトル・メッセージを入力するには**
➡ カーソルが先頭の位置で 再ダイヤル を押す

● **タイトル・メッセージをすべて消すには**
➡ カーソルが先頭の位置で クリアー F1 を約2秒以上押す

● **定型文**（☞ 76ページ）**を使うには**
➡ 1.下記の表示になるまで 文字切替 F4 を押す

定 型 文 1
お元 気 で ﾞすか

2. を押して選び、決定/登録 F3 を押す

6 メッセージを入力する
（全角100文字／半角200文字まで）

8時 にしました
>_

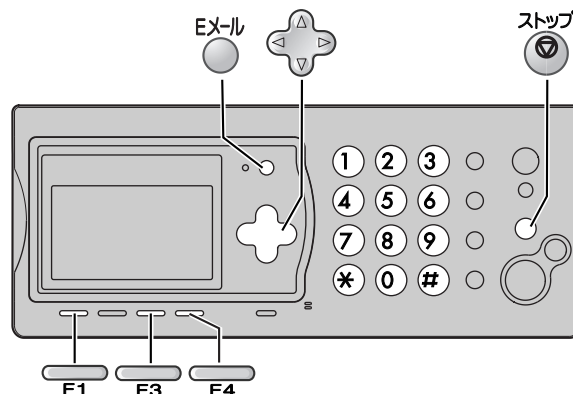
● 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
● 便利な入力のしかた（☞ 手順5）

7 決定/登録 F3 を押す

Eﾒｰﾙ通 信 中
接 続 中

⋮

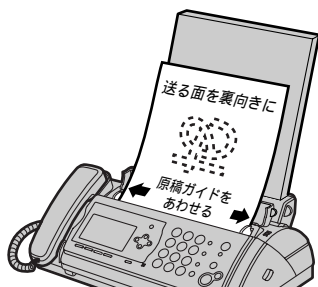
● ここから利用料金がかかります
● 通信終了後、未受信Eメールの件数が表示される

送 信 しました
未 受 信 Eﾒｰﾙ　ｘｘ件

■**途中で送信をやめるとき** ➡ ストップ を押す。

ファクスEメールを送る

ファクス感覚で手書きのメッセージを、Eメールで送れます。

1 原稿を入れる（「ピッ」と鳴る）

- 送る面を裏向きに
- 一度に**重ねて5枚**まで
- 画質 F3 を押して画質を選べます

2 Eメール **を押し、** 決定/登録 F3 **を押す**

ﾌｧｸｽEﾒｰﾙ送信

3 相手のEメールアドレスを入力し
（最大5人、合計半角129文字まで）、
決定/登録 F3 **を押す**

ｱﾄﾞﾚｽ1?
yuki@△△△.def.ghi

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- 便利な入力のしかた（☞ 74ページの手順3）

4 決定/登録 F3 **を押す**

5 タイトルを入力する（全角16文字／半角32文字まで）

予約の件
>_

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- 便利な入力のしかた（☞ 74ページの手順5）

6 決定/登録 F3 **を押す**

Eﾒｰﾙ通信中
接続中

- ここから利用料金がかかります
- 通信終了後、未受信Eメールの件数が表示される

送信しました
未受信Eﾒｰﾙ　××件

■途中で送信をやめるとき ➡ ストップ を押す。

お知らせ

- パソコンなどにはTIFF形式の添付ファイルとして送信されます。80ページの拡張サービスの一覧を取り出し、「ファクスEメール送信形式設定」を利用すると、JPEG形式に変更できます。

Eメールアドレス帳に登録する

相手の名前とEメールアドレスを**最大30件まで**登録できます。

- **あらかじめ、「案内取り出し」の名前で「info@fem.dion.ne.jp」が登録されています。**
（☞ 80ページ「拡張サービス」）
- Eメールアドレス帳を使って送るには
（☞ 74ページの手順3）

1 機能 **を押し、** Eメール **を押す**

2 下記の表示になるまで ◁▷ **を押し、**
決定/登録 F3 **を押す**

ｱﾄﾞﾚｽ帳

3 決定/登録 F3 **を押す**

4 名前を入力し（全角10文字／半角20文字まで）、
決定/登録 F3 **を押す**

鈴木
>_

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）

5 フリガナを確認し、
決定/登録 F3 **を押す**

ﾌﾘｶﾞﾅ?
ｽｽﾞｷ

半角12文字まで

- **修正や追加するとき**
➡ フリガナを修正し、決定/登録 F3 を押す
●修正のしかた（☞ 33ページ）

6 Eメールアドレスを入力し（半角60文字まで）、
決定/登録 F3 **を押す**

ｱﾄﾞﾚｽ?
hanako@△△△.def.g

- **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順4へ

7 ストップ **を押す**

■Eメールアドレス帳を修正するには

➡ 手順3で ◁▷ を押して修正する相手を選び、修正 F2 を押したあと、手順4からの操作をする。

■Eメールアドレス帳を消去するには

➡ 手順3で ◁▷ を押して消去する相手を選び、クリアー F1 ＊ ストップ と押す。

お知らせ

- **Eメールアドレス帳の内容をプリントするには**
➡ 87ページ「Eメール登録リストをプリントする」
- Eメールアドレス帳の内容を一度にすべて消去できます。（☞ 87ページ「Eメールアドレス帳をすべて消去する」）

ドメイン名を登録する

よく使うドメイン名（Eメールアドレスの@を含む右側）を**最大10件まで**登録できます。

- あらかじめ、ドメイン名1～5（@fem.dion.ne.jp、.ne.jp、.co.jp、.com、.or.jp）、ドメイン名6以降に「@」が登録されています。
- ドメイン名を使って送るには
（☞ 74ページの手順5）

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押し、決定/登録 F3 を押す

```
ﾄﾞﾒｲﾝ名 登 録
```

3 を押して登録するドメイン名の番号を選び、修正 F2 を押す

```
ﾄﾞﾒｲﾝ名 6?
@
```

- **未登録のドメイン名に登録するとき**
➡ 決定/登録 F3 を押す

4 **ドメイン名を入力し**（半角30文字まで）、決定/登録 F3 を押す

```
ﾄﾞﾒｲﾝ名 6?
@abc△△.co.jp
```

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順3へ

5 ストップ を押す

■ドメイン名を修正するには
➡ 手順1～5の操作をする。

■ドメイン名を消去するには
➡ 手順3で を押して消去するドメイン名を選び、クリアー F1 ＊ ストップ と押す。

お知らせ

- **ドメイン名の内容をプリントするには**
➡ 87ページ「Eメール登録リストをプリントする」

定型文を登録する

よく使う単語や文章を**最大10件まで**登録できます。

- 定型文を使って送るには
（☞ 74ページの手順5）

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押し、決定/登録 F3 を押す

```
定 型 文 登 録
```

3 を押して登録する定型文の番号を選び、決定/登録 F3 を押す

```
定 型 文 1?
>_
```

4 **定型文にする文字を入力し**（全角20文字／半角40文字まで）、決定/登録 F3 を押す

```
お元 気 で すか
>_
```

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- **続けて登録するとき** ➡ もう一度手順3へ

5 ストップ を押す

■定型文を修正するには
➡ 手順3で を押して修正する定型文を選び、修正 F2 を押し、手順4からの操作をする。

■定型文を消去するには
➡ 手順3で を押して消去する定型文を選び、クリアー F1 ＊ ストップ と押す。

お知らせ

- **定型文の内容をプリントするには**
➡ 87ページ「Eメール登録リストをプリントする」

受信したEメールに返信する

本機で受信したEメールを、返信できます。

- 返信できるEメールは、受信してから1週間以内のEメールです。
- 添付ファイルは返信されません。
- 受信したEメールに記載されている「文書番号」が必要です。
- 受信した文書を引用して返信します。引用文には「>」マークが付きます。引用をやめるには（☞ 87ページ「受信文書の引用をやめる」）

（受信したEメールの例）

受信日時：2003/08/01 18:41　　合計1ページ
タイトル：こんにちは
送信日時：2003/08/01 18:40:05
差 出 人：yuki@abc.def.ghi
宛　　先：p1234△△△△@fem.dion.ne.jp
同報宛先：taro@△△△.co.jp
返信宛先：yuki@△△△.ne.jp
文書番号：0001
今日は天気がいいですね。

同報宛先
返信宛先
文書番号

文字Eメールで返信する

1 Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押し、決定/登録 F3 を押す

文字Eメール返信

3 返信するEメールの文書番号を入力し、決定/登録 F3 を押す

文書番号=0001
[4桁]

4 メッセージを入力する
（全角100文字／半角200文字まで）

散歩に行こうか
>_

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- 便利な入力のしかた（☞ 74ページ手順5）

5 決定/登録 F3 を押す

Eメール通信中
接続中

ファクスEメールで返信する

1 原稿を入れる（「ピッ」と鳴る）

- 送る面を裏向きに
- 一度に**重ねて5枚**まで
- 画質 F3 を押して画質を選べます

2 Eメール を押す

3 下記の表示になるまで を押し、決定/登録 F3 を押す

ファクスEメール返信

4 返信するEメールの文書番号を入力する

文書番号=0001
[4桁]

5 決定/登録 F3 を押す

Eメール通信中
接続中

返信先を選ぶ

差出人だけでなく同報宛先（☞ 上記）へも返信できます。

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押す

返信=差出人へ
選択は[◀▶]を押す

3 を押して返信先を選び、決定/登録 F3 を押す

「差出人へ」　：差出人だけに送る（お買い上げ時の設定）
「全員へ」　　：差出人と同報宛先に送る
「毎回選択」　：返信のたびに選んで送る

4 ストップ を押す

お知らせ

- 「毎回選択」にすると、文書番号を入力する前に、下記の画面が表示されます。
  ➡ ＊ または # を押す。

差出人へ返信　=＊
同報宛先へも返信=#

返信宛先優先にするには

返信宛先（☞ 上記）に返信することができます。
（差出人には返信されません）

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押す

返信宛先優先=なし
選択は[◀▶]を押す

3 を押して「あり」を選び、決定/登録 F3 を押す

上記の「返信先を選ぶ」で選んだ返信先が
「差出人へ」のとき：返信宛先だけに送る
「全員へ」のとき　：返信宛先と同報宛先に送る

4 ストップ を押す

受信したEメールを転送する

本機で受信したEメールを、転送できます。
- 転送できるEメールは、受信してから1週間以内のEメールです。
- 添付ファイルも転送されます。
- 受信したEメールに記載されている「文書番号」が必要です。（☞ 77ページ）

1 Eメール を押す

2 下記の表示になるまで ◁▷ を押し、決定/登録 F3 を押す

```
Eメール転送
```

3 転送するEメールの文書番号を入力し、決定/登録 F3 を押す

```
文書番号=0001
        [4桁]
```

4 転送先のEメールアドレスを入力し（最大5人、合計半角129文字まで）、決定/登録 F3 を押す

```
アドレス1?
yuki@△△△.def.ghi
```

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- 便利な入力のしかた（☞ 74ページの手順3）

5 決定/登録 F3 を押す

6 メッセージを入力する（全角100文字／半角200文字まで）、

```
転送します
>_
```

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- 便利な入力のしかた（☞ 74ページの手順5）

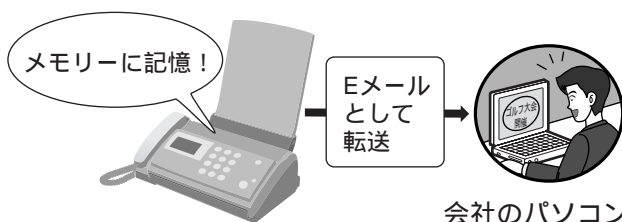
7 決定/登録 F3 を押す

```
Eメール通信中
接続中
```

⋮

受信したファクスをEメール転送する

自動受信したファクスを、プリントしないで外出先のパソコンなどへEメールで転送できます。
- **いったん電話に出て受信したファクスは転送されません。**
- **転送後に転送データを消去するか、しないかを選べます。**（☞ 79ページの手順7）
  消去しないときは、メモリーがいっぱいになると転送できません。

会社のパソコンなどで見ることができます

転送データがあると…

```
ファクス転送データが
XX枚あります
```

転送を設定する

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで △▽ を押す

```
ファクス転送=なし
  選択は[◀▶]を押す
```

3 ◀▶ を押して「あり」を選び、決定/登録 F3 を押す

```
ファクス転送=あり
  選択は[◀▶]を押す
```

4 転送先のEメールアドレスを入力し（最大5人、合計半角129文字まで）、決定/登録 F3 を押す

```
アドレス1?
yuki@△△△.def.ghi
```

- 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
- 便利な入力のしかた（☞ 74ページの手順3）

5 決定/登録 F3 を押す

6 タイトルを確認し、決定/登録 F3 を押す

```
ファクスの転送です
>_
```

- **変更するときは**
  ➡ クリアー F1 を押して入れ直し（全角16文字／半角32文字まで）、決定/登録 F3 を押す

つづく

7 を押して転送後にデータを消去するか、しないかを選び、決定/登録 F3 を押す

```
転送後の消去=する
　選択は[◀▶]を押す
```

「する」　：転送したデータを消去する
「しない」：転送後も本機にデータが残り、あとでプリントできる（☞ 右記）

● **「しない」にしたとき**
➡ メモリーがいっぱいになると転送できませんので、いっぱいになる前にデータを消去してください。（☞ 右記）

8 ストップ を押す

9 **ファクスを自動的に受ける設定にする**

● **留守のとき** ➡ 留守 を押して点灯させる

● **家にいるとき**（☞ 48ページ）

■転送を解除するには

➡ 手順3で を押して「なし」を選び、決定/登録 F3 ストップ と押す。

● メモリー内に転送データがあると、下記が表示されます。

```
ﾌｧｸｽ転送ﾃﾞｰﾀを
すべて消去します
```
⬇
```
印刷しますか?
はい=＊ いいえ=#
```

➡ プリントするときは、＊ を押す。
（未転送を含むすべての転送データがプリントされ、メモリー内の転送データは消去される）

➡ プリントしないときは、# を押す。
（プリントせずにメモリー内の転送データが消去される）

■転送先を変更するには

➡ 手順4で変更するEメールアドレスを入れ直す。

● メモリー内に未転送データがあると、下記が表示されます。

```
ﾌｧｸｽ転送ﾃﾞｰﾀが
ﾒﾓﾘｰにあります
```
⬇
```
ｱﾄﾞﾚｽ変更しますか?
はい=＊ いいえ=#
```

➡ 変更するときは、＊ を押す。
（未転送データは、変更したEメールアドレスへ送信される）

➡ 変更しないときは、# ストップ と押す。

メモリー内の転送データをプリントする

転送後にデータを消去しない設定にしておくと（☞ 左記の手順7）、転送データを本機からプリントできます。プリントが終わると、データは消去されます。

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押し、決定/登録 F3 を押す

```
ﾌｧｸｽ転送ﾃﾞｰﾀ確認
```

3 決定/登録 F3 を押す

```
転送ﾃﾞｰﾀ=印刷する
　選択は[◀▶]を押す
```

メモリー内の転送データを消去する

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで を押し、決定/登録 F3 を押す

```
ﾌｧｸｽ転送ﾃﾞｰﾀ確認
```

3 を押して「消去する」を選び、決定/登録 F3 を押す

```
転送ﾃﾞｰﾀ=消去する
　選択は[◀▶]を押す
```

4 ＊ を押し、ストップ を押す

```
すべて消去しますか?
はい=＊ いいえ=#
```

● 「ファクスメモリー消去」（☞ 83ページ）を行うと、転送データも消去されます。

拡張サービスについて

もっと便利にお使いいただくために、**着信通知サービス、Eメールアドレス変更**などの機能を**「拡張サービス」**として用意しています。「拡張サービス」を利用するには、下記の操作をしてください。

拡張サービスの一覧を取り出す

一覧には、「案内番号」が記載されています

案内番号を入力して、使いたい機能の案内を取り出す

案内に従って、使いたい機能を設定する

拡張サービスの一覧を取り出す

文字Eメールを使って取り出します。

1 Eメール **を押す**

2 **下記の表示になるまで** ◁▷ **を押し、** 決定/登録 F3 **を押す**

文 字 Eﾒｰﾙ送 信

3 **「info」と入力し、** 決定/登録 F3 **を押す**

ｱﾄﾞﾚｽ1?
info

- お買い上げ時は、Eメールアドレス帳の「案内取り出し」でも案内を取り出せます
  - ➡ カーソルが先頭の位置で 電話帳 を押し、 ◁▷ を押して選び、 決定/登録 F3 を押す

4 決定/登録 F3 **を押す**

5 **タイトルに、数字の「0」を入力し、** 決定/登録 F3 **を押す**

0

6 決定/登録 F3 **を押す**（メッセージの入力は不要です）

ﾒｯｾｰｼﾞ?
>_

7 **約5分待ち、72ページ「Eメールを受ける」の操作をして拡張サービスの一覧を取り出す**

使いたい機能の案内を取り出す

文字Eメールを使って取り出します。

1 **左記の1～4の手順を行う**

2 **タイトルに、取り出した拡張サービスの一覧を見ながら「案内番号」を入力し、** 決定/登録 F3 **を押す**

2

3 決定/登録 F3 **を押す**（メッセージの入力は不要です）

ﾒｯｾｰｼﾞ?
>_

4 **約5分待ち、72ページ「Eメールを受ける」の操作をして案内を取り出す**

お知らせ

- 10円/1分毎（8時～23時）、8.5円/1分毎（23時～8時）の情報料（通話料含む）がかかります。

音声案内に従って操作するとき

取り出した各機能の案内に、音声案内に従って操作するように記載されているものがあります。

1. Eメール を押す
2. 右記の表示になるまで ◁▷ を押し、 決定/登録 F3 を押す
3. 音声案内に従って操作し、終わったら、電話を切る

拡 張 ｻｰﾋﾞｽ

ネットで設定

インターネットのホームページ上からパソコンを使ってファクスの機能設定ができます。**（親機のみ）**
「おたっくす情報サービス」へのお申し込み（有料）が必要です。

- 離れて暮らすご家族からでもファクスの機能設定（☞ 82～85ページ）や電話帳（☞ 36ページ）の登録などができます。
- **パソコンで機能設定する方に下記のホームページアドレスと登録したい内容を伝えて、設定をお願いしてください。**

「ネットで設定」のホームページアドレス：
http://panasonic.co.jp/pcc/products/otxis/netde/

1 「ネットで設定」のホームページ上からパソコンで機能設定する

2 画面に従って、各機能を設定する

➡ 本機が自動的に通信を行い、パソコンで設定した内容が、本機に登録されます。

パソコンで設定できる内容
- 電話帳の登録
- おたっくすEメールなどの申し込み
- ファクスの機能（82～85ページの★マーク付きの機能）設定の登録・変更

など・・・

お知らせ

- 「おたっくす情報サービス」への申し込み（ユーザー登録）がお済みでないときは、68ページ「申し込み（ユーザー登録）のしかた」または下記の操作で申し込んでください。

パソコンで「おたっくす情報サービス」を申し込むとき

1. 「ネットで設定」のホームページ上からパソコンで申し込む（ユーザー登録）
2. 親機の 機能 を2回押す　ﾈｯﾄﾃﾞ ﾕｰｻﾞｰ登録
3. 親機の 決定/登録 F3 を押す

➡ 本機が自動的に通信を行い、ユーザー登録が完了し、「ユーザー登録完了」案内（☞ 69ページの手順6）がプリントされる

- 68ページの「おたっくす情報サービスご利用申込書」記入などのユーザー登録は不要です。

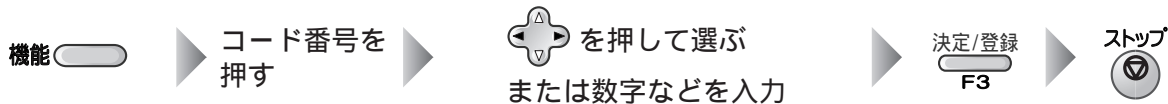
ネットで設定
拡張サービスについて

おたっくすEメール

親機の機能を変える

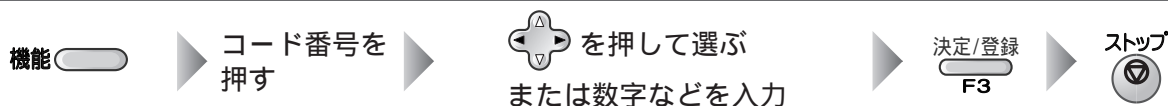
使いかたに合わせて機能を変更・登録したり、登録している内容をプリントできます。
お買い上げ時は、□のついている内容に設定されています。
下記の機能登録一覧表で★マーク付きの機能は、ネットで設定（☞ 81ページ）でも設定できます。

機能登録一覧表（設定のしかた）

機能 ▶ コード番号を押す ▶ （十字キー）を押して選ぶ または数字などを入力 ▶ 決定/登録 F3 ▶ ストップ

大項目	機　能	コード番号	変更・登録できる内容	参照ページ
最初の設定	日付・時刻	#001	現在の日付・時刻を設定する	86
	あなたの名前（印刷用）★	#002	相手のファクスに印刷される、あなたの名前を登録する	86
	あなたの名前（表示用）★	#003	相手のファクスに表示される、あなたの名前を登録する	86
	あなたの電話番号★	#004	相手のファクスに印刷される、あなたの電話番号を登録する	86
	電話回線種別★	#079	電話の回線の種別を選ぶ [自動]／プッシュ／20／10	87
	登録リスト印刷	#000	現在の親機の登録内容（**機能登録一覧表**）をプリントする （手順：コード番号を押したあと 決定/登録 F3 を押す）	—
呼出音とベル回数	呼出音★	#054	親機の呼出音を選ぶ（子機でも設定できます） ベル　　：[1]／2／3／4／5 メロディ：1／2／3／4	88
	在宅着信呼出音の回数★	#112	在宅時にも自動的に応答して、相手にメッセージを流します。メッセージを流すまでの呼出音の回数を選ぶ 3回／5回／10回／[15回]／20回／自動応答しない（電話に出るまで呼出音が鳴り続ける）	48
	留守着信呼出音の回数★	#121	留守時に、応答メッセージを流すまでの呼出音の回数を選ぶ 2回／[4回]／6回／9回／ファクス専用／トールセーバー ●「9回」に設定すると、ファクスを自動受信できないことがあります ●「ファクス専用」に設定すると、ファクスだけ受信し、電話を受けることはできません	55 52 50
電話帳の設定	電話帳リスト印刷	#041	親機または子機の電話帳の内容をプリントする [親機]／子機	41
	電話帳転送	#143	親機の電話帳の内容を子機に転送する （子機から親機への転送もできます）	40 41
	電話帳全消去	#144	親機の電話帳の内容をすべて消去する （手順：コード番号を押したあと 決定/登録 F3 ＊ と押す）	—
	短縮ダイヤル印刷	#039	親機の短縮ダイヤルの内容をプリントする (手順：コード番号を押したあと 決定/登録 F3 を押す)	37

つづく

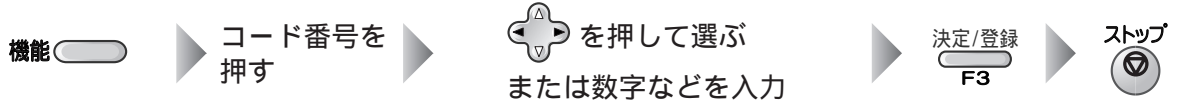
機能登録一覧表（設定のしかた）

機能 ▶ コード番号を押す ▶ ✥ を押して選ぶ または数字などを入力 ▶ ▶

大項目	機能	コード番号	変更・登録できる内容	参照ページ
ファクスの受け方	無鳴動受信★	#114	在宅のとき、呼出音を鳴らさずにファクスを受ける しない／常時／タイマー ●「タイマー」にしたとき、切替時間を設定する	49
	エコノミー受信★	#090	ファクス受信のとき、縮小率92%でプリントするか、縮小しないかを選ぶ あり(1)（縮小率92%でプリントする）／ あり(2)（等倍でプリントする。相手の原稿によって、下部がA4記録紙1枚に収まらなかった場合でも、続きをプリントしない）／ なし（等倍でプリントする。相手の原稿によって、下部がA4記録紙1枚に収まらなかった場合、続きを2ページ目にプリントする）	47
ファクスの設定	ファクス親切案内★	#020	ファクスの送受信の結果の音声を流すか、流さないかを選ぶ あり（流す）／なし（流さない）	45 46
	海外送信モード	#023	海外へうまく送れないときは、「1回」を選ぶ 1回／なし	45
	Fネット★	#105	NTTのFネットを利用するか、しないかを選ぶ あり（利用する）／なし（利用しない） ●本機をホームテレホンに接続するときは、「あり」に設定してください（☞ 添付の「困ったときには」）	51
	ファクスメモリー消去	#106	メモリー代行受信（☞ 47ページ）したファクス、ファクス転送データ（☞ 78ページ）をすべて消去する （手順：コード番号を押したあと 決定/登録 F3 ✱ と押す）	—
留守番電話の設定	暗証番号★	#006	外出先から留守番電話を操作するための暗証番号を登録する	55
	用件録音時間★	#030	1件当たりの録音時間を選ぶ 2分／最大	52
	留守電リモート繰り返し再生★	#127	リモート操作のとき、用件を再生する回数を選ぶ 繰り返し／1回	56
	用件転送★	#142	録音された用件を外出先の電話に転送するか、しないかを選ぶ する（転送する）／しない（転送しない） ●「する」に設定したとき、転送先の電話番号を登録する	57
	自作応答録音	#147	自分の声で応答メッセージを録音する	54
	自作応答消去	#148	自分の声で録音した応答メッセージを消去する（固定応答メッセージに戻る）	54

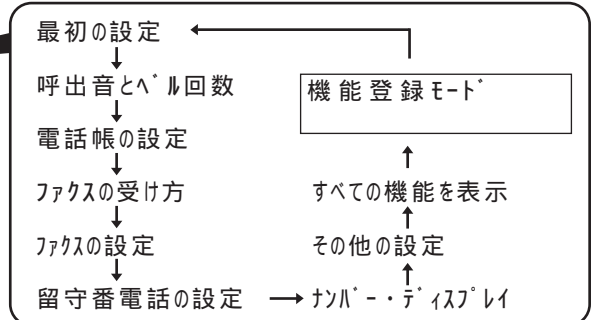
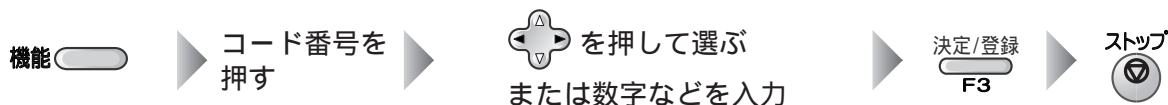
親機の機能を変える

›››つづき

機能登録一覧表（設定のしかた）

機能 ▶ コード番号を押す ▶ ◁▷ を押して選ぶ または数字などを入力 ▶ 決定/登録 F3 ▶ ストップ

大項目	機　能	コード番号	変更・登録できる内容	参照ページ
ナンバー・ディスプレイ	**ナンバー・ディスプレイ★**	#①③③	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、「自動」または「あり」を選び、利用をやめるとき「なし」を選ぶ 自動／あり／なし	58
	キャッチホン・ディスプレイ★	#①③⑦	キャッチホン・ディスプレイサービスを使うとき、「あり」を選び、利用をやめるとき「なし」を選ぶ あり／なし	58
	着信鳴り分け★	#①③⑤	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音と液晶ディスプレイのバックライト色を変える ●電話帳のグループ（1～9）、非通知、公衆電話、表示圏外（表示できない相手）の電話ごとに設定できる	63
	非通知着信拒否★	#①⑧④	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、非通知の電話やファクスを受けるか、受けないかを選ぶ する（受けない）／しない（受ける）	62
	公衆電話着信拒否★	#①⑧⑥	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、公衆電話を受けるか、受けないかを選ぶ する（受けない）／しない（受ける）	62
	迷惑電話着信拒否★	#①③⑥	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、迷惑電話やファクスを受けるか、受けないかを選ぶ あり（受けない）／なし（受ける） ●「あり」に設定したとき、拒否する電話番号を登録する	61

ディスプレイを見ながら機能を探して選ぶこともできます

1. 機能 を押す
2. ◁▷ を押して機能の大項目を選ぶ　［最初の設定］
3. 決定/登録 F3 を押す
4. ◁▷ を押して変更・登録する機能を選ぶ
5. ◁▷、決定/登録 F3 などを押して変更・登録する
6. 終わったら、ストップ を押す

機能登録一覧表（設定のしかた）

コード番号を押す
大項目	機能	コード番号	変更・登録できる内容	参照ページ
その他の設定	**フィルム残量表示★**	＃098	インクフィルムの残量のめやすを表示するか、しないかを選ぶ ●別売品の長さ35mのインクフィルムの残量を表示します。付属のお試し用インクフィルムでは、長さが短いため、正しく表示されません あり（表示する）／［なし］（表示しない）	18
	キー確認音★	＃058	ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ ［あり］（出す）／なし（出さない）	―
	簡単取り次ぎ★	＃068	電話のまわしかたを、3者通話から電話をまわすようにするか、しないかを選ぶ あり（3者通話からまわす）／［なし］	28 29 31
	モデムダイヤルイン★	＃131	モデムダイヤルインサービスの使いかたを選ぶ TEL/FAX／親/子／［なし］ ●「TEL/FAX」または「親/子」に設定したとき、電話番号の下4ケタをそれぞれ登録する	66
	バックライト★	＃134	親機の液晶ディスプレイの色（バックライト色）を選ぶ ［自動］／スカイブルー／マスカット／ナチュラル／ブルームーン／レモンライム／グレープ／アプリコット	87
	分割コピー★	＃091	原稿の下部がプリントされなかったときに、続きを次のページにプリントするか、そのページで中断するかを選ぶ あり（次のページにまたがってプリント）／ ［なし］（そのページで中断してプリント）	―
	ドアホン設定★	＃160	［自動］／なし ●ドアホンを使わなくなったときは「なし」を選ぶ	94
	ドアホンワープ★	＃162	外出先でドアホンを受けるか、受けないかを選ぶ ［なし］／留守／あり ●「留守」または「あり」に設定したとき、転送先の電話番号を登録する	95
すべての機能を表示	1. 機能 を押す 2. 右記の表示になるまで を押し、決定/登録 F3 を押す 3. を押す ➡ **82～85ページのすべての機能を表示する**			

親機の機能を変える

日付・時刻を合わせる

日付・時刻がずれているときは、合わせてください。
（1ヵ月に約60秒ずれることがあります）

1 機能 **を押し、** # 0 0 1 **を押す**

2 **年･月･日･時刻**（24時間式）**を入力する**

2003年 10月 01日
15：45

例）2003年10月1日15時45分
2 0 0 3 1 0 0 1 1 5 4 5 と押す

● **まちがえたとき**
→ を押してカーソルを合わせ、入れ直す

3 決定/登録 F3 **を押す**

4 ストップ **を押す**

あなたの名前（表示用）を登録する

登録した名前は、相手が当社のファクスを利用しているときのみ、相手のディスプレイに表示されます。（一部、表示されないこともあります）名前を知られたくないときは、登録しないでください。

● **登録した名前は、ナンバー・ディスプレイサービスで「非通知」にしていても（☞ 59ページ）相手のディスプレイに表示されます。**

1 機能 **を押し、** # 0 0 3 **を押す**

2 **名前を入力し**(半角16文字まで)、決定/登録 F3 **を押す**

名前(表示用)?
オノミカ

● 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
● **ひらがな・漢字は入力できません**
● **まちがえたとき** → クリアー F1 を押す

3 ストップ **を押す**

あなたの名前（印刷用）を登録する

登録した名前は、ファクス送信の際、相手の受信用紙にプリントされます。名前を知られたくないときは、登録しないでください。

● **登録した名前は、ナンバー・ディスプレイサービスで「非通知」にしていても（☞ 59ページ）相手の受信用紙に印刷されます。**

1 機能 **を押し、** # 0 0 2 **を押す**

2 **名前を入力し**
(全角15文字／半角30文字まで)、
決定/登録 F3 **を押す**

小野みか
>_

● 文字入力のしかた（☞ 32ページ）
● **まちがえたとき** → クリアー F1 を押す

3 ストップ **を押す**

あなたの電話番号を登録する

登録した電話番号は、ファクス送信の際、相手の受信用紙にプリントされます。電話番号を知られたくないときは、登録しないでください。

● **登録した電話番号は、ナンバー・ディスプレイサービスで「非通知」にしていても（☞ 59ページ）相手の受信用紙に印刷されます。**
また、通信中に相手のディスプレイに表示されることがあります。

1 機能 **を押し、** # 0 0 4 **を押す**

2 **電話番号を入力し**（20ケタまで）、決定/登録 F3 **を押す**

● **まちがえたとき** → クリアー F1 を押す

3 ストップ **を押す**

手動で電話の回線種別を設定する

回線種別を自動設定できないときは、プッシュ回線か、ダイヤル回線かを手動で設定してください。

1 機能 を押し、# 0 7 9 を押す

2 ◁▷ を押して回線種別を選び、

決定/登録 F3 を押す

回線種別=プッシュ
選択は[◀▶]を押す

「プッシュ」：プッシュ回線
「20」：ダイヤル回線 速度20 pps
「10」：ダイヤル回線 速度10 pps
「自動」：自動設定（お買い上げ時の設定）

3 「プッシュ」「20」「10」のいずれかを選んだときは ストップ を押す

● 「自動」を選んだときは、自動設定を開始する

回線種別がわからないとき

「プッシュ」で登録する
↓ 電話がかからないとき
「20」で登録する
↓ 電話がかからないとき
「10」で登録する
↓ 電話がかからないとき
NTT窓口（☎116）にお問い合わせください

バックライト色を変更する

液晶ディスプレイの色（バックライト色）を選べます。（お買い上げ時の設定：自動）

1 機能 を押し、# 1 3 4 を押す

2 ◁▷ を押して色を選び、

決定/登録 F3 を押す

バックライト=スカイブルー
選択は[◀▶]を押す

➡ 選んだ色にバックライト色が変わる

3 ストップ を押す

お知らせ

● **「自動」にすると、**通常はスカイブルーになり、操作内容によって色が変わります。
・留守番電話→レモンライム ・Eメールの送受信→マスカット
・ファクスの送受信→ブルームーン ・エラー発生時→アプリコット
● **「自動」以外の色にすると、**選ばれている色（1色）に固定されます。操作内容によって色は変わりません。
● 色の名称はバックライト選択時のめやすであり、本体のバックライトからイメージした愛称を採用しています。

Eメール登録リストをプリントする

Eメールアドレス帳（☞ 75ページ）・ドメイン名（☞ 76ページ）・定型文（☞ 76ページ）の内容をプリントします。

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで ◁▷ を押し、

決定/登録 F3 を押す

登録リスト印刷

➡ プリントする

3 終わったら、ストップ を押す

Eメールアドレス帳をすべて消去する

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで ◁▷ を押し、

決定/登録 F3 を押す

アドレス帳全消去

3 ✳ を押す

4 ストップ を押す

受信文書の引用をやめる

返信するとき（☞ 77ページ）に受信した文書の引用をやめることができます。

1 機能 を押し、Eメール を押す

2 下記の表示になるまで ◁▷ を押す

引用=する
選択は[◀▶]を押す

3 ◁▷ を押して「しない」を選び、

決定/登録 F3 を押す

4 ストップ を押す

呼出音を変更する

外から電話がかかってきたときの呼出音を選べます。（内線からの呼出音は、変更できません）
（お買い上げ時の設定：ベル「1」）

	呼出音の番号		内容
ベル	（親機）ダイヤルボタン ①～⑤	（子機）ダイヤルボタン ①～⑤	5種類のベルがあります
メロディ	①	①	愛の挨拶
	②	②	花のワルツ
	③	③	カノン
	④	④	G線上のアリア

© 2003 M-ZoNE

親機

1 機能 **を押し、# 0 5 4 を押す**

2 **を押して「ベル」または「メロディ」を選び、** 決定/登録 F3 **を押す**

呼 出 音 =ﾒﾛﾃﾞｨ
選 択 は[◀▶]を押 す

3 **呼出音の番号を入力し、** 決定/登録 F3 **を押す**

例）「メロディ」のとき

ﾒﾛﾃﾞｨ=1
[1-4]を押 す

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる

4 ストップ **を押す**

子機

1 機能 F1 **を押し、下記の表示になるまで** **を押す**

ｵﾌﾌｯｸ応 答
呼 出 音 設 定
ｷｰ 確 認 音

2 決定 F1 変更 F1 **と押す**

3 **を押して「ベル」または「メロディ」を選び、** 決定 F1 **を押す**

4 **呼出音の番号を入力し、** 登録 F1 **を押す**

➡ 呼出音の番号を入力すると、選んだベルやメロディが流れる

5 **を押す**

音量を調節する

呼出音や相手の声が聞きとりにくいときは、音の大きさを変えることができます。

親機

押すごとに**音量を大きくする**

押すごとに**音量を小さくする**

調節できるもの	調節できるとき	調節範囲
呼出音量	電話をかけていないとき	8段階、呼出音「切」
受話音量	通話中	3段階
スピーカー音量	スピーカーホン を押したとき	8段階、「切」
	留守番電話の再生中	

呼出音を鳴らさないとき

を「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続ける

呼 出 音 量
小 [切] 大

呼 出 音 [切]

- 内線からの呼び出しは、最小の呼出音量で鳴ります

■ **解除するには** ➡ 音量/変換 を押す

子機

押すごとに**音量を大きくする**

押すごとに**音量を小さくする**

調節できるもの	調節できるとき	調節範囲
呼出音量	電話をかけていないとき	3段階、呼出音「切」
受話音量	通話中	3段階
スピーカー音量	スピーカーホン を押したとき	2段階
	留守番電話の再生中	

呼出音を鳴らさないとき

を「ピピッ ピピッ」と鳴るまで押し続ける

呼 出 音 量
[切]

⬇

子 機 1
呼 出 音 切

- 内線からの呼び出しは、最小の呼出音量で鳴ります

■ **解除するには** ➡ 音量/変換 を押す

子機の機能を変える

使いかたに合わせて機能を変更・登録できます。
お買い上げ時は、［　］のついている内容に設定されています。

機能登録一覧表（設定のしかた）

機能F1 ▶ を押して機能を選ぶ ▶ 決定F1 ▶ を押して項目を選ぶ または F1 、文字入力など ▶ F1 ▶

機　能	変更・登録できる内容	参照ページ
子機の名前	子機に名前を付ける	90
クイック通話	電話をかけるとき、充電台から子機を取るだけでかけられるようにするか（クイック通話）、充電台から子機を取り、外線を押してから電話をかけられるようにするかを選ぶ あり（クイック通話にする）／［なし］（クイック通話にしない）	—
オフフック応答	電話を受けるとき、充電台から取るだけで受けるようにするか（オフフック応答）、外線や内線を押して電話を受けるようにするかを選ぶ ［あり］（オフフック応答にする）／なし（オフフック応答にしない）	—
呼出音設定	子機の呼出音を選ぶ ベル　　：［1］／2／3／4／5 メロディ：1／2／3／4	88
キー確認音	ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ ［あり］（出す）／なし（出さない）	—
エニーキーアンサー	電話を受けるとき、子機で切、十字キー以外のどのキーを押しても、電話を受けるようにするか（エニーキーアンサー）、しないかを選ぶ ［あり］（エニーキーアンサーにする）／なし（エニーキーアンサーにしない） ●「なし」に設定したときは、外線またはスピーカーホンを押して電話を受ける	—
着信鳴り分け	ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音を変える ●電話帳のグループ（1～9）、非通知、公衆電話、表示圏外（表示できない相手）の電話ごとに設定できる	64
電話帳転送	子機の電話帳の内容を親機に転送する （親機から子機への転送もできます）	41 40
電話帳消去	子機の電話帳の内容をすべて消去する	—

子機に名前を付ける

あなたの好きな名前を子機に登録できます。

1 機能 F1 **を押し、下記の表示になるまで** ◁▷ **を押す**

電話帳消去
子機の名前
ｸｲｯｸ通話

2 決定 F1 **を押す**

子機の名前
未登録

名前が登録されているときは、その名前を表示する

3 変更 F1 **を押す**

4 **名前を入力し**（全角6文字／半角12文字まで）**、** 登録 F1 **を押す**

名前？
恵子▮

● 文字入力のしかた（☞ 32ページ）

● まちがえたとき➡ 内線 クリアー を押す

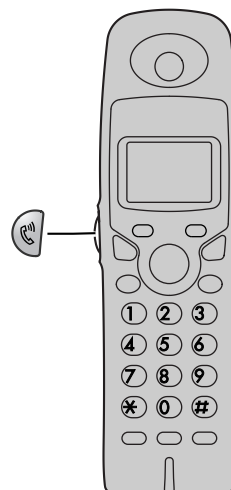
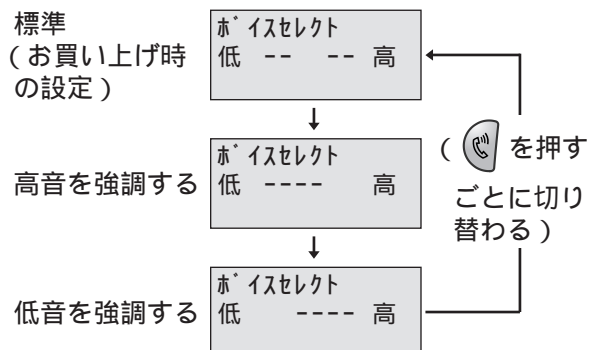
5 切 **を押す**

お知らせ

● 名前を登録すると、子機のディスプレイに登録した名前が表示されます。

子機1
恵子

子機の音質を調節する（ボイスセレクト）

外線通話中、ボイスセレクトボタンを押すと、受話音質を変えることができます。（3段階）

お知らせ

● スピーカーホンでの通話・内線通話・ドアホン通話は、調節できません。
● 一度設定すると、次に設定するまで変わりません。
● 親機では、ボイスセレクトは使えません。

子機を増やす（増設・減設）

下記の別売の子機を増やせます。（別売品 ☞ 裏表紙「増設子機」、2003年6月現在）
品番：KX-FKN510-W（付属の子機と同じ性能、仕様です）

- KX-PW601DL（付属の子機が1台）の場合………あと**3台**増設が可能です。
  KX-PW601DW（付属の子機が2台）の場合………あと**2台**増設が可能です。
- **子機を増やすには、お使いの親機への登録（増設）が必要です。**
  下記の「親機に登録する（増設）」の操作で登録できます。
  詳しくは、増設子機に添付の「取扱説明書」をよくお読みください。
- 登録した子機の使用をやめるときは、下記の「登録を解除する（減設）」を行ってください。

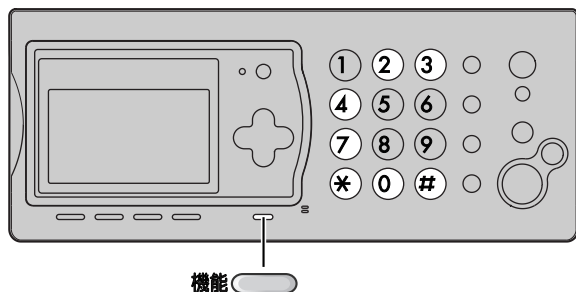
親機に登録する（増設）

親　機

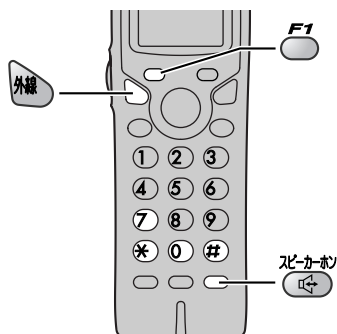
親機の操作に続けて、子機の登録操作を2分以内で行ってください。

1 機能 を押し、# 7 0 0 0 * を押す

2 2 # を押す

3 増設する内線番号を押す
- 2台目の子機のときは 2 を押す
- 3台目の子機のときは 3 を押す
- 4台目の子機のときは 4 を押す

子　機

4 機能 F1 を押し、# 7 0 0 0 * を押す
➡ 外線 点灯、スピーカーホン 点灯

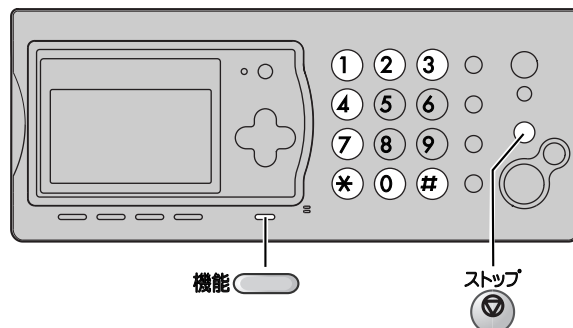
5 登録 F1 を押す

登録を解除する（減設）

親　機

1 機能 を押し、# 7 0 0 0 * を押す

2 1 # を押す

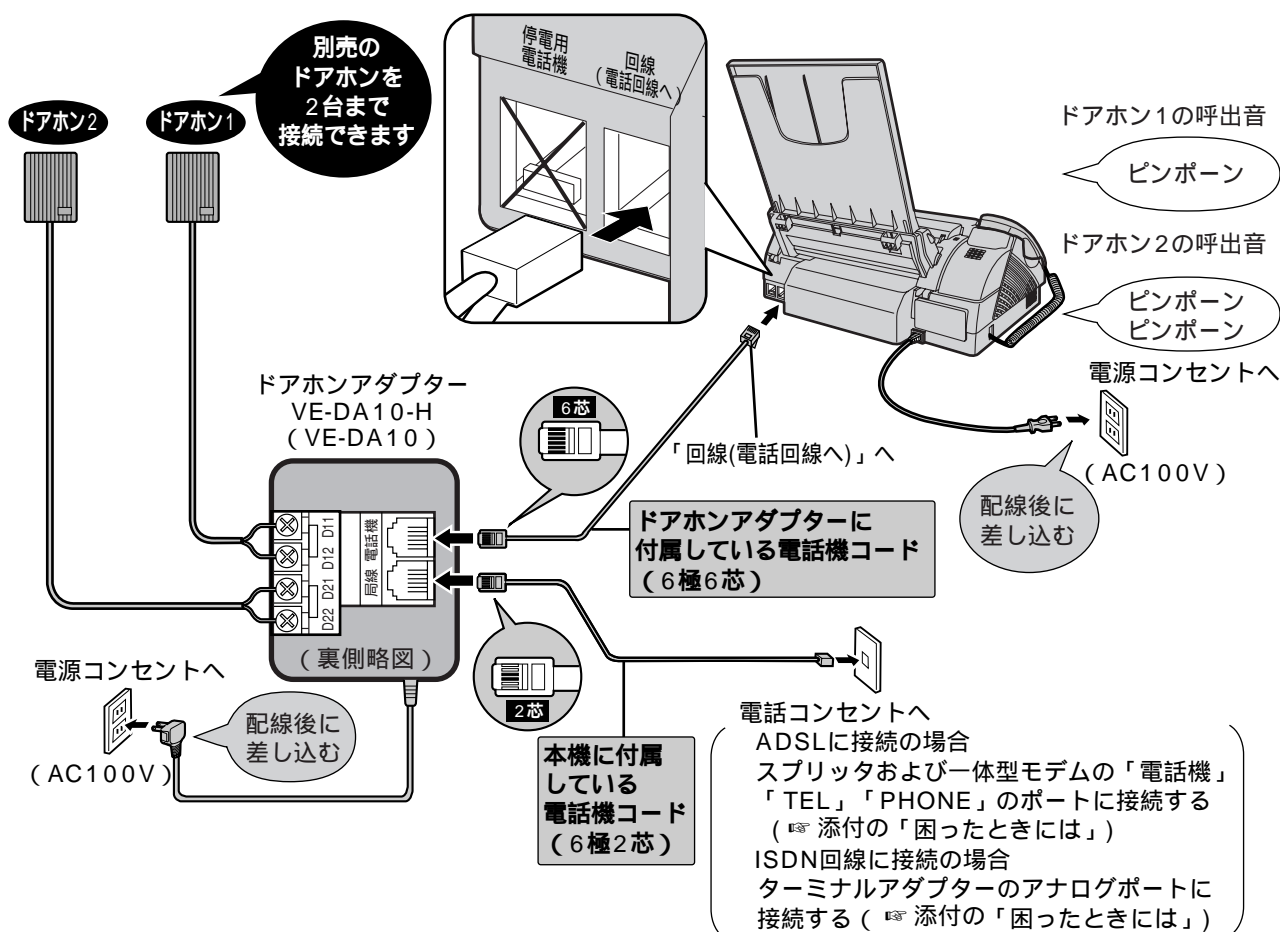
3 減設する内線番号（1 ～ 4）を押す

4 ストップ を押す

お願い

- **登録を解除（減設）した子機は、電池パックを外してください。**
  （誤動作の原因になります）

ドアホンを接続するとき

別売のドアホンアダプター「VE-DA10-H（VE-DA10）」が必要です。
ドアホン取付工事と接続方法については、ドアホンアダプター「VE-DA10-H（VE-DA10）」の説明書をお読みください。

ドアホンの接続が終わったら、ドアホンを押して、親機または子機が「ピンポーン」と鳴ることを確認してください。接続後、一度もドアホンを押していない場合は、そのドアホンに呼びかけることができません。

■ **ホームテレホンに接続するとき** ➡ ドアホン機能は使えません。
■ **ドアホンを使わなくなったとき** ➡ 94ページ「ドアホンを使わなくなったとき」

本機には以下の当社指定のドアホン・テレビドアホンを接続してください（2003年 6月現在）

■ **ドアホン**（★マーク付きの品番は、生産完了品であることを表します）

当社製

品番：VB-3363★　VB-3364★　VB-3365★　VB-3366★　VF-521★　VF-522★
VF-523D★　VF-523DA★　VF-523U★　VL-568★　VL-568D★　VL-568DA★
VL-568G★　VL-568K★　VL-586P★　VL-582★　VL-582A★　VL-583★
VL-584D★　VL-585D★　VL-586F★　VL-594★　VL-568KA　VL-568R
VL-568S　VL-568U　VL-580D　VL-581D　VL-592　VL-593
VL-594A

■ **テレビドアホン**（★マーク付きの品番は、生産完了品であることを表します）

当社製

品番：VL-V140KP-T★　VL-V140K-H★　VL-V150KP-T★　VL-V150X-T★
VL-V160X-T★　VL-V160KP-T★　VL-V161AKP-K　VL-V161X-T★
VL-V161KP-T★　VL-V180KP-K★

松下寿電子工業（株）製

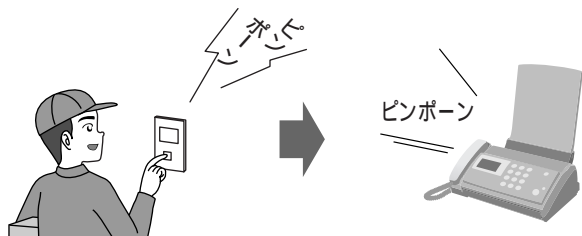
品番：HA-S101BK-T★　HA-S101B-T★　HA-S18BK-T★　HA-S18B-T★
HA-S60B-T★　HA-S60BK-T★　HA-S70BK-T★
HA-S61BK-T　HA-S61B-T　HA-S103BK-T　HA-S103B-T
HA-S201BK-T　HA-S71BK-T

ドアホンを使う

ドアホン接続後は、ドアホンアダプターの説明書ではなく本書に従ってお使いください。

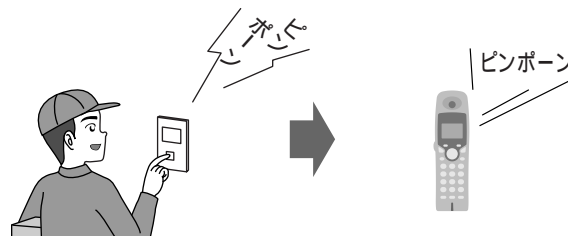
来客があると

親　機

1　呼出音が鳴る

2　受話器を取り、来客と話す

3　終わったら、受話器を戻す

子　機

1　呼出音が鳴る

2　内線 を押し、来客と話す

（または充電台から子機を取る）

3　終わったら、切 を押す

■**本機からドアホンに呼びかけたいとき**

あらかじめ、ドアホン1の内線番号は「8」、ドアホン2の内線番号は「9」に設定されています。

➡ **親機で呼びかけるには**

1.受話器を取り、内線 を押す。

2.ドアホンの内線番号（8 または 9 ）を押し、呼びかける。

➡ **子機で呼びかけるには**

1.内線 を押す。

2.ドアホンの内線番号（8 または 9 ）を押し、呼びかける。

■**ドアホン通話中に外から電話がかかってきたとき（呼出音が聞こえたとき）**

➡ **親機で話すには**

1.受話器を戻す。
（ドアホンとの通話を終わらせる）

2.受話器を取る。（外の相手と話せる）

➡ **子機で話すには**

1.切 を押す。
（ドアホンとの通話を終わらせる）

2.外線 を押す。（外の相手と話せる）

お知らせ

- ドアホンと親機・子機間の3者通話はできません。
- ドアホンと親機との通話は、子機にはまわせません。
- ドアホンと子機との通話は、親機や別の子機にはまわせません。
- コピー中にドアホンは受けられます。（子機の呼出音は鳴りません）
- ファクスの送受信中は親機で「ピンポーン」と鳴りますが、ドアホンの相手との通話はできません。
（子機の呼出音は鳴りません）
- 留守セットにしていても、来客者の声は録音できません。

ドアホンを使う

通話中にドアホンが鳴ったら

内線通話や子機間通話は終わらせて、ドアホンに出てください。
外線通話中は、外線を保留してドアホンに出ることもできます。

親　機

1 通話中に呼出音が鳴る

2 通話を終わらせ、受話器を戻す

➡ 通話が切れる

3 受話器を取り、来客と話す

子　機

1 通話中に呼出音が鳴る

2 通話を終わらせ、［切］を押す

➡ 通話が切れる

3 ［内線］を押し、来客と話す

■外線通話を保留したままドアホンと話すとき

➡ **親機で話すには**

1.呼出音が鳴ったら、［内線］を押す。
（来客と話せる）

2.外線通話に戻るには［内線］［保留］と押す。

➡ **子機で話すには**

1.呼出音が鳴ったら、［内線］を押す。
（来客と話せる）

2.外線通話に戻るには［外線］を押す。

お知らせ

● ドアホンと親機・子機間の3者通話はできません。

ドアホンを使わなくなったとき

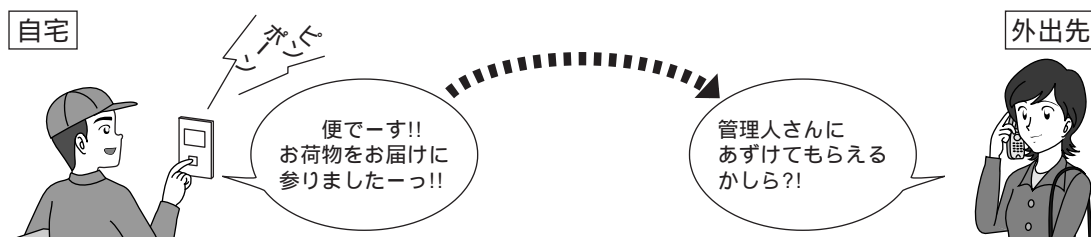
1 ［機能］を押し、［#］［1］［6］［0］を押す

2 ［◀▶］を押して「なし」を選び、［決定/登録 F3］を押す

ﾄﾞｱﾎﾝ設定 =なし 選択は[◀▶]を押す

3 ［ストップ］を押す

外出先でドアホンを受ける（ドアホンワープ）

ドアホンからの呼び出しを外出先の電話や携帯電話・PHS などに転送できます。
● 電話回線がプッシュ回線の場合、約15秒後に転送され、通話できます。
（ダイヤル回線は転送に時間がかかるため、お勧めできません）

転送先の電話番号を登録する

1 機能 を押し、# 1 6 2 を押す

2 ◁▷ を押して「留守」または「あり」を選び、決定/登録 F3 を押す

ドアホンワープ＝留守 選択は[◀▶]を押す

「なし」：転送しない
「留守」：留守セットしているときだけ転送する
「あり」：すべて転送する

3 転送先の電話番号を入力し（24ケタまで）、決定/登録 F3 を押す

転送先＝0987654█.

● まちがえたとき ➡ クリアー F1 を押す

4 ストップ を押す

■ドアホンワープを解除するには
➡ 手順2で「なし」を選ぶ。

■転送先の電話番号を変更するには
➡ 手順3で クリアー F1 を押し、電話番号を入れ直す。

転送先でドアホンを受けるには

1 ドアホンから呼び出しがあると、登録された電話番号に本機から電話がかかる
● 約50秒以内に転送先の電話に出ないときは、電話が切れる

2 転送先で電話を受ける

こちらはドアホンワープです。 # を2回押してください。

● 自宅で親機や子機がドアホンに応答すると、「お家の方が応答しました。電話を切ります。」とメッセージが流れ、電話が切れる

3 # # と押し、来客と話す
● 約30秒以内に # # を押さないと、電話が切れる

4 終わったら、✳ # と押して電話を切る

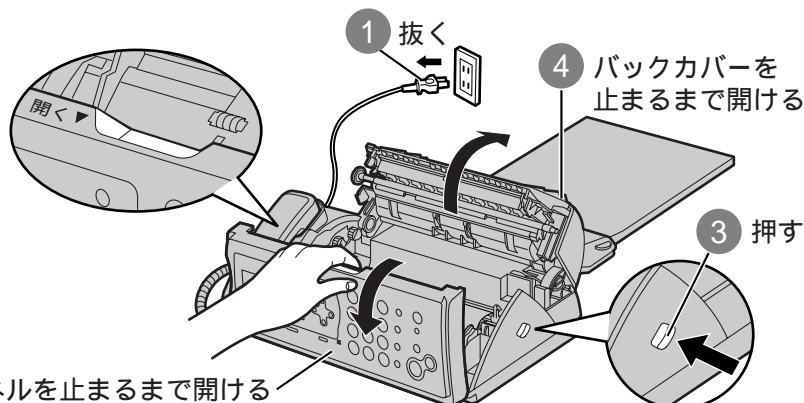
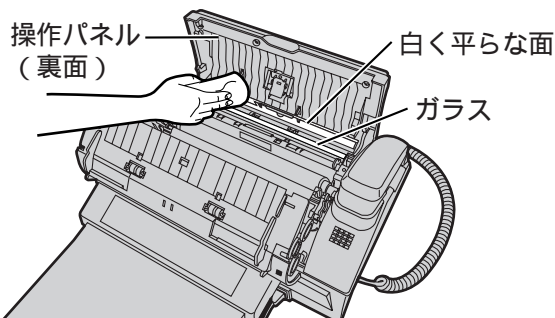
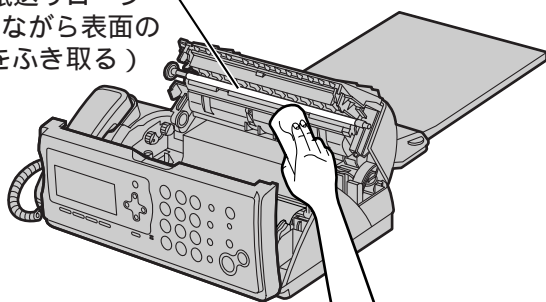
お知らせ

● ドアホンワープをすると、転送するたびに転送先までの通話料金がかかります。
● 転送先の電話番号に、フリーダイヤルは使用できません。（転送先から操作することはできません）
● **ISDN回線に接続するとき**
➡ 相手の応答時に極性反転するアナログポートをご使用ください。
（ドアホンとの通話ができないためです。設定や操作については各メーカーにお問い合わせください）
● ドアホンと転送先で通話中にキャッチホンが入ると、ドアホンからキャッチホンの呼出音が聞こえます。
● 親機・子機で通話中や、親機使用中の場合はドアホンワープはできません。
● 「ドアホン1着信中」⟷「ドアホンワープ中」の交互表示中に、ご自宅で親機または子機が応答する場合、スピーカーホンは使えません。

記録紙や相手の受信用紙に、白や黒い線が入るとき

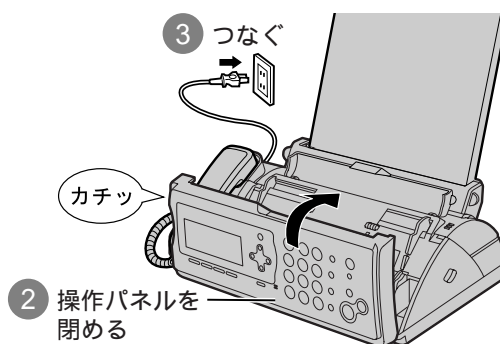
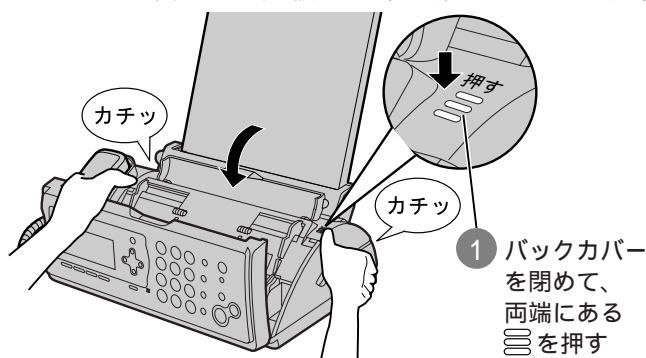
操作パネル裏面の原稿読取部（ガラスや白く平らな面 ☞ 下記手順2）・記録紙送りローラーに修正液やインクなどの汚れがつくと白や黒い線の原因になりますので、汚れが取れるまでふいてください。

1 電源コードを抜き、操作パネル・バックカバーを開ける

● 電源コードを抜いても、登録した内容・応答メッセージ・用件は消えません

2 ガラス・白く平らな面・記録紙送りローラーをふく

柔らかい布に水を含ませ、固くしぼったあと、汚れをていねいにふき取る

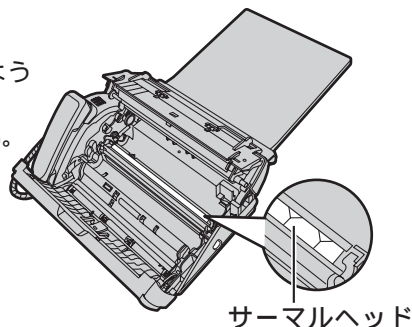
● ガラスと白く平らな面の汚れが取れないときは、ファクス原稿読取部クリーナー（別売品／品番：KX-AN132）でふいてください（記録紙送りローラーには使わないでください）

3 バックカバー・操作パネルを閉め、電源コードをつなぐ

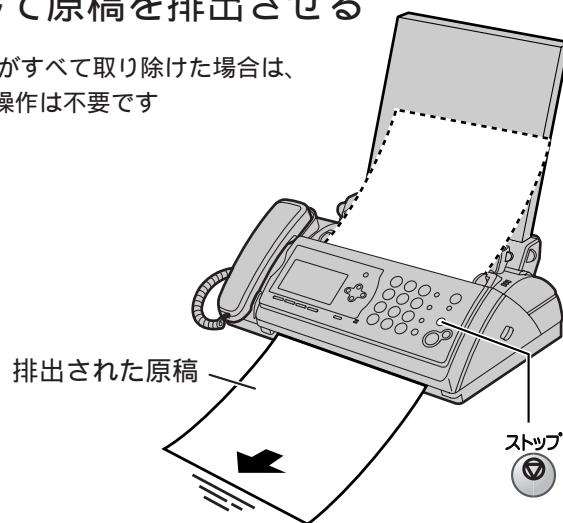
● お買い上げ時の設定では、電源コードをつなぐと、電話の回線種別の設定を自動的に行います（ ☞ 8ページ）

お願い

● ガラス（ ☞ 上記）やサーマルヘッド部分（ ☞ 右記）には、指でさわらないようご注意ください。（汚れなどにより、白や黒い線の原因になります）
● お手入れ後はコピーして、白や黒い線が入っていないことを確認してください。
● お手入れ後もコピーした記録紙に白や黒い線が入るときは、販売店にご相談ください。

お知らせ

● お手入れ後も受信用紙が汚れるときは、通信相手の問題も考えられます。相手の原稿またはファクスの読取部が汚れていないか確認してください。

原稿が詰まったとき

1 ストップ を押して原稿を排出させる

● 詰まった原稿がすべて取り除けた場合は、手順2からの操作は不要です

2 原稿が排出されないときは、操作パネルを開けて、詰まった原稿を取り除く

3 操作パネルを閉める

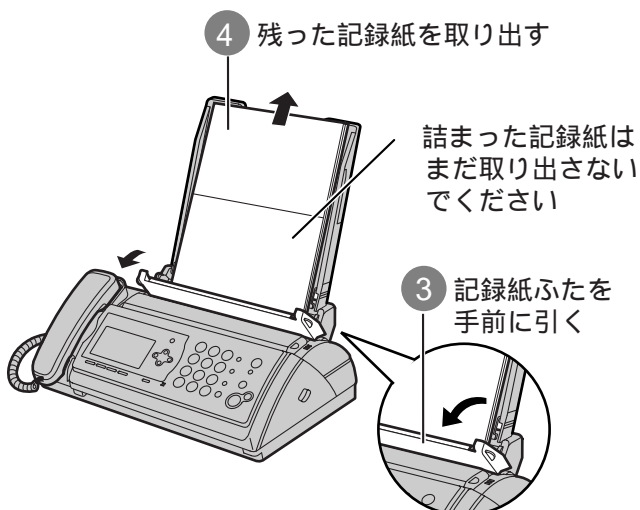
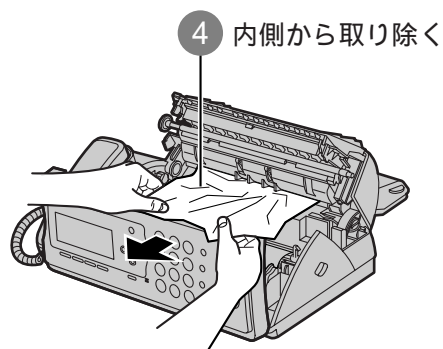
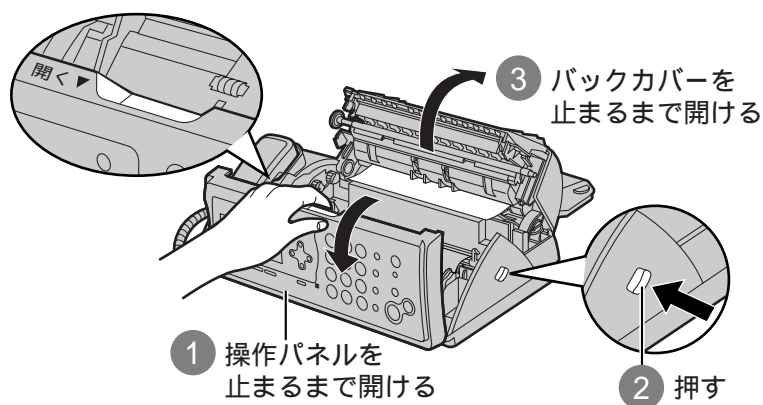
記録紙が詰まったとき

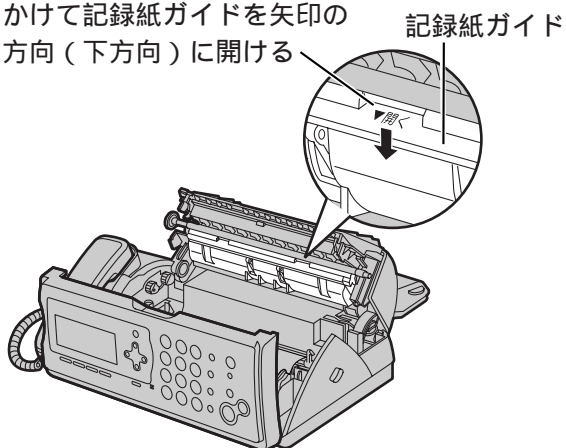
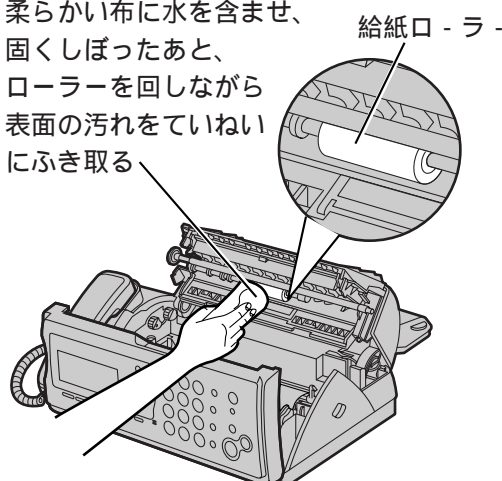
記録紙を入れる部分（給紙ローラー）に、ほこりやゴミが付着すると、記録紙が詰まる場合があります。

詰まった記録紙を取り除いたあと、給紙ローラーの汚れをふき取ってください。

1 電源コードを抜き、記録紙を取り出す

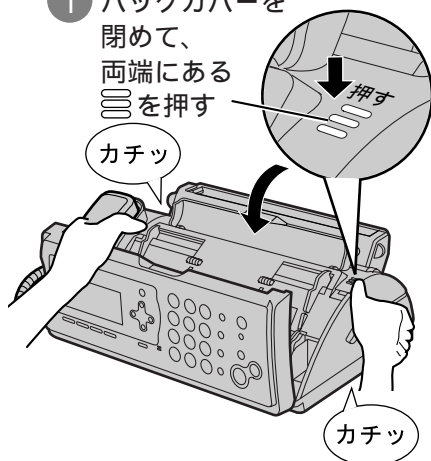
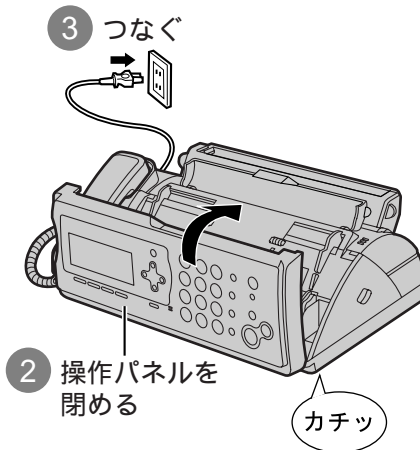
● 電源コードを抜いても、登録した内容・応答メッセージ・用件は消えません

2 記録紙トレーを外す

3 操作パネル・バックカバーを開け、詰まった記録紙を内側から取り除く

4 記録紙ガイドを開け、給紙ローラーをふく

❶ 緑文字の「▼ 開く」部に指をかけて記録紙ガイドを矢印の方向（下方向）に開ける

❷ 柔らかい布に水を含ませ、固くしぼったあと、ローラーを回しながら表面の汚れをていねいにふき取る

5 バックカバー・操作パネルを閉め、電源コードをつなぐ

● お買い上げ時の設定では、電源コードをつなぐと、電話の回線種別の設定を自動的に行います（☞ 8ページ）

❶ バックカバーを閉めて、両端にある ☰ を押す

❸ つなぐ

❷ 操作パネルを閉める

■ バックカバーを閉めて

インクフィルム交換しましたか
はい=＊ いいえ=#

が表示されたとき

➡ ㊯ を押す。

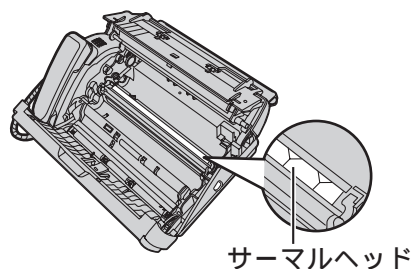
（インクフィルムの残量表示は継続されます）

● インクフィルムの残量表示を設定しているときに表示されます。
（☞ 85ページ）

6 記録紙トレーを取り付け、記録紙をセットする

（☞ 7ページの手順1の❷からの操作をする）

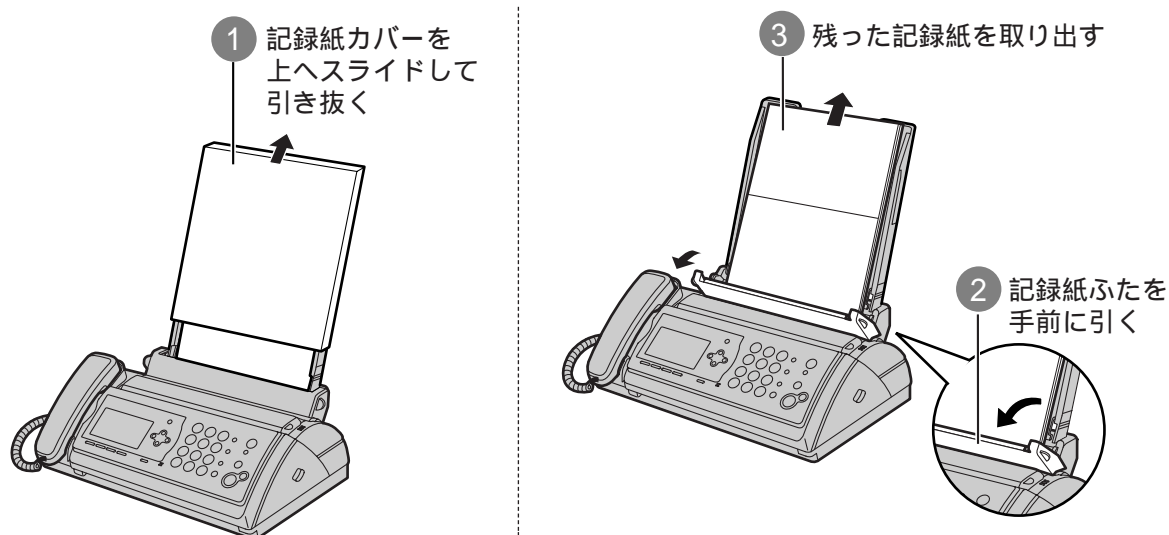
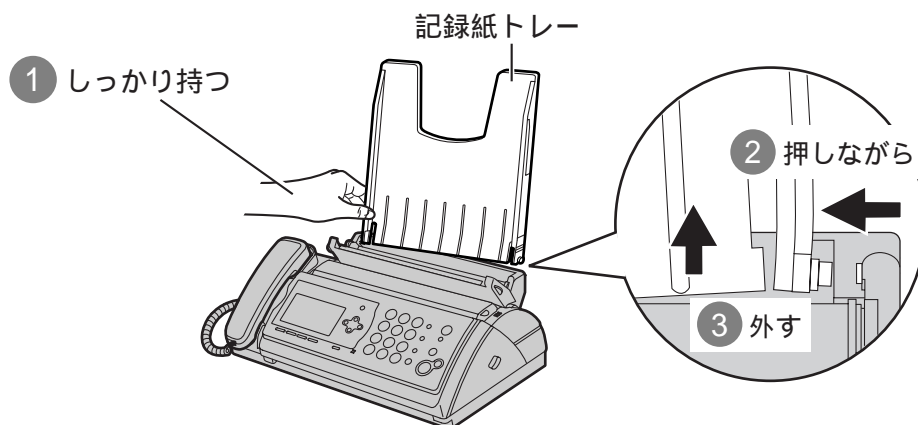
お願い

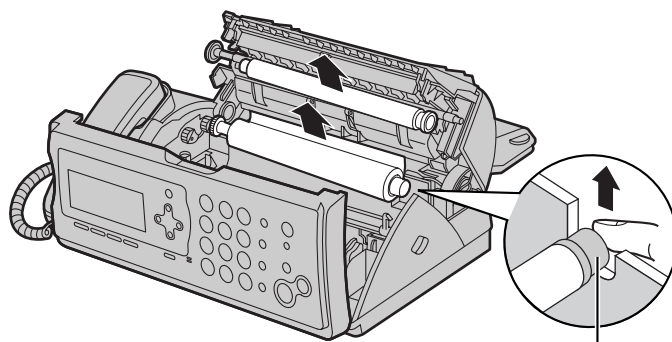
● サーマルヘッド部分には、さわらないようご注意ください。
（汚れなどにより、白や黒い線の原因になります）

インクフィルムを交換するとき

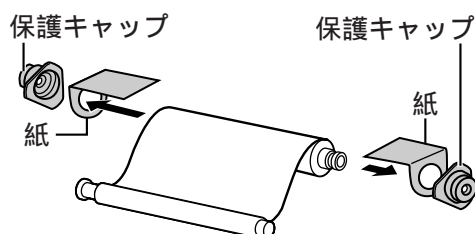
インクフィルムは、別売品の品番：KX-FAN142をお買い求めください。
プリント途中の記録紙を取り除いてから、交換します。

- KX-FAN140やKX-FAN141はお使いいただけません。ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。
- 別売品以外のインクフィルムを使うと、記録品質への悪影響や動作上の不具合、製品の故障の原因になります。

1 記録紙を取り出す

2 記録紙トレーを外す

3 操作パネル・バックカバーを開ける （☞ 6ページの手順1）

4 使用済みのインクフィルムと軸を取り外す

5 新しいインクフィルムを取り付ける（☞ 6ページの手順2～3）

● 取り付ける前に左右の保護キャップと紙を取り外してください

■インクフィルムの残量を表示させたいとき

➡ 交換終了後に「フィルム残量表示」の設定をする。（☞ 85ページ）

● 設定すると、バックカバーを開閉するたびに

インクフィルム交換しましたか はい=＊ いいえ=#

が表示されます。

➡ 交換したときは (＊)、交換していないときは (#) を押す。

6 記録紙トレーを取り付け、記録紙をセットする

（☞ 7ページの手順1の 2 からの操作をする）

インクフィルムの廃棄について

● **廃棄の際には、はさみで切るなどして、情報の保護にお気をつけください。**
インクフィルムには、プリントした内容が白抜きで残ります。

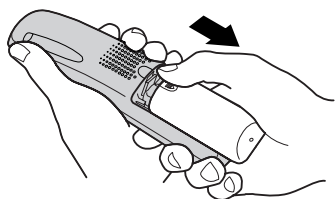
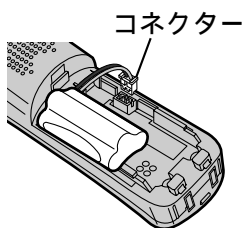
● **インクフィルムは使い捨てです。ご使用済みのインクフィルムは「プラスチック製品」として地域条例に基づいて廃棄してください。**

お知らせ

● 別売品のインクフィルムは、長さ約35mです。（A4サイズで約100枚プリントできます）

子機の電池パックを交換するとき

電池パックは消耗品です。約10時間充電しても通話数分後に電池残量表示が点滅したら、新しい電池パックと交換してください。

1 電池カバーを開ける

2 古い電池パックを外す

3 新しい電池パックを入れて充電する

（☞ 9ページの手順2～3）

➡ **何も表示されなかったり、▭ だけが表示されます。**
（数分間、充電台に置いたままにすると、「充電中」が表示されます）

お願い

● 必ず指定の電池パック（別売品／品番：**KX-FAN50**、仕様：ニッケル水素電池、DC 3.6 V、600 mAh）をお使いください。ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

Ni-MH

● この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。

● ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

● 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

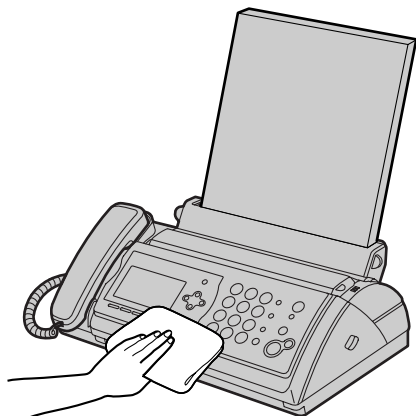
● リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
- 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
- (社) 電池工業会小形二次電池再資源化推進センター および充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局
  (社) 電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/

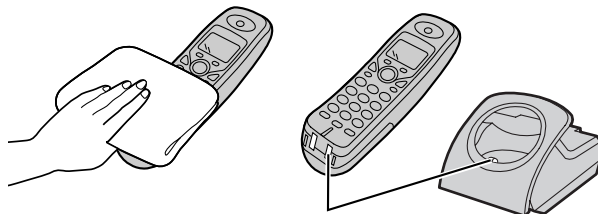
● リサイクル時のお願い
- 電池パックはショートしないようにしてください。火災・感電の原因になります。
- ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池パックを分解しないでください。

お手入れ

お手入れするときは、電源コード、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

親　　機

柔らかい布に水を含ませ、固くしぼってふく

子機・充電台

乾いた布でからぶきする

充電端子は月に一度、乾いた布でからぶきする

充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります

お願い

● アルコール類、みがき粉、粉せっけん、ベンジン、シンナー、ワックス、石油、熱湯は使わないでください。
また、殺虫剤、ガラスクリーナー、ヘアスプレーなどをかけないでください。（変色、変質の恐れがあります）

仕様

親　機

項目	内容
電源	AC100 V（50 Hz/60 Hz）
消費電力	待機時　約 1.2 W（Fネットの設定が「なし」の場合） 最大時　約 130 W（真っ黒の原稿をコピーするとき） コピー時　約 20 W 送信時　約 16 W 受信時　約 22 W
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約140×331×237 mm（突起部除く） 約365×331×268 mm（記録紙トレー取付時、突起部除く）
質量	約3.4 kg（お試し用インクフィルム10 m 装着時）
使用環境	温度5 ℃～35 ℃ 湿度45 %～85 %
適用回線	電話回線（ダイヤル回線、プッシュ回線） ファクシミリ通信網、新電電（NCC）回線
直流抵抗値	320 Ω※1
形式	送受信兼用　G3機
原稿サイズ	定型サイズ：A4～A5 最大：幅216 mm × 長さ600 mm 最小：幅128 mm × 長さ128 mm
有効読取幅	208 mm（A4）
有効記録幅	202 mm（A4普通紙）
電送時間※2	約15秒（独自モード）
通信速度	9600／7200／4800／2400 bps 自動切替（フォールバック機能）
写真（ハーフトーン）	64階調
走査線密度	主走査：8ドット／mm 副走査：7.7本／mm（小さい） 3.85本／mm（ふつう）
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
データ圧縮方式	モディファイドハフマン（MH）、独自
記録紙サイズ	A4カット紙：210 mm × 297 mm
留守番電話	応答メッセージ：デジタル録音方式 オリジナル（約16秒）、固定内蔵 留守番録音：デジタル録音方式 合計録音時間：最大約18分※3

子　機

項目	内容
電源	専用ニッケル・水素蓄電池 （専用ニッケル水素電池） （品番：KX-FAN50） （DC 3.6 V）（600 mAh）
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約161×47×39 mm
質量	約140 g (電池パック含む)
使用環境	温度5 ℃～35 ℃ 湿度45 %～85 %
形式	小電力タイプ
使用時間	連続通話時間：約7時間※4 待受時間：約180時間※4
充電時間	約10時間
使用可能距離	約100 m／見通し距離

子機用充電台

項目	内容
電源	ACアダプター （品番：PFAP1009） AC100 V（50 Hz/60 Hz） （DC 7.5 V）（100 mA）
消費電力	待機時　約 0.6 W 充電時　約 1.5 W
外形寸法 （高さ×幅×奥行）	約64×80×90 mm
質量	約80 g
使用環境	温度5 ℃～35 ℃ 湿度45 %～85 %

メモリー容量のめやす

留守番電話などを録音できる時間（音声情報）	ファクスなどを受信できる枚数（画像情報）
音声情報のみの場合、最大約18分まで録音できます※3 **●画像情報を保存しているとき** ➡ 約18分より短くなります	**画像情報のみの場合、**最大約46枚まで保存できます※5 **●音声情報を保存しているとき** ➡ 約46枚より少なくなります

- **写真原稿や文字の多い原稿の場合は、保存できる枚数が上記より極端に少なくなることがあります。**
  （例）A4サイズの新聞を画質「ふつう」で受信したとき
  ➡ 約6枚
- 次の場合はメモリー残量がなくなり、「音声情報」や「画像情報」が記憶・保存できません。
  - 録音件数が50件になったとき
  - ファクスを46枚受信したとき

※1 直流抵抗値が300 Ωを超えておりますので、電話をかけることができない場合は、販売店にご相談ください。
※2 電送時間： A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本／mm）で高速モード（9600 bps）で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。
※3 録音に無音状態が含まれると、録音できる時間は長くなります。
※4 10時間以上充電した状態で、使用環境温度が20 ℃のとき
※5 A4サイズ700字程度の原稿を標準的画質（8×3.85本／mm）で受信したときの枚数です。

よくある質問を取り出す（ファクス情報サービス）

取り扱い方法やご不明な点などの情報を、ファクスで取り出せます。（1回の操作で4件まで）

■ **受付時間：24時間　年中無休**

この内容について予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ!
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ!

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし電池パックは、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパーソナルファクスの補修用性能部品を、製造打ち切り後5年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

添付の「困ったときには」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	パーソナルファクス
品　番	KX-PW601DL KX-PW601DW
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

- 停電などの外部要因により、ファクス送・受信、Eメール送・受信、録音、通話および料金管理などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX　フリーダイヤル　0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

フリーダイヤル （通話料金無料）
0120-365989
に電話をかける

➡ **音声案内に従ってダイヤルする**

（ダイヤル回線をご利用の場合は、＊（トーン）を押してからダイヤルしてください）

➡ **コード番号をダイヤルする**

●まず、「9800」を押して本機のお問い合わせコード番号の一覧表を取り出してください

➡ **ファクスで情報が送られてきます**

ナショナル／パナソニック

修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

• お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
• 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北 海 道 地 区

窓口	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東 北 地 区

窓口	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首 都 圏 地 区

窓口	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中 部 地 区

窓口	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近 畿 地 区

窓口	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中 国 地 区

窓口	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四 国 地 区

窓口	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九 州 地 区

窓口	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

窓口	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0103

さくいん

「別冊」と記載されているものは、添付の「困ったときには」をご覧ください。

A～Z 行

あ 行

か 行

さ 行

た 行

な　行

は　行

ま　行

や　行

ら　行

わ　行

別売品（ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください）

価格は2003年6月現在のものです。

品　　名	品　　番	希望小売価格（税別）
増 設 子 機	KX-FKN510-W（ホワイト）※	20,000円
インクフィルム（35m）	KX-FAN142	1,250円
普通紙ファクス用記録紙（A4カット紙1包250枚）	KX-FAN150A4	525円
コードレス子機用電池パック 松下テクニカルサービス(株)扱い	KX-FAN50	2,200円
キャリアシート	KX-A130(A4用)	450円
ファクス原稿読取部クリーナー 松下テクニカルサービス(株)扱い	KX-AN132	500円
ドアホンアダプター	VE-DA10-H	10,000円

※ 付属の子機と同じ性能、仕様です。

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検 長年ご使用のパーソナルファクスの点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコードが熱を持っている。
- 記録紙や送信原稿がたびたびつまる。
- 時刻表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず**販売店に点検**をご依頼ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　　）　　－

おたっくすEメールお客様メモ

お客様の Eメールアドレス	p◯◯◯◯◯◯◯◯@fem.dion.ne.jp
セキュリティID	◯◯◯◯

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
テレコムカンパニー
〒812-8531　福岡市博多区美野島4丁目1番62号

PFQX1829ZB FS0503KM1063